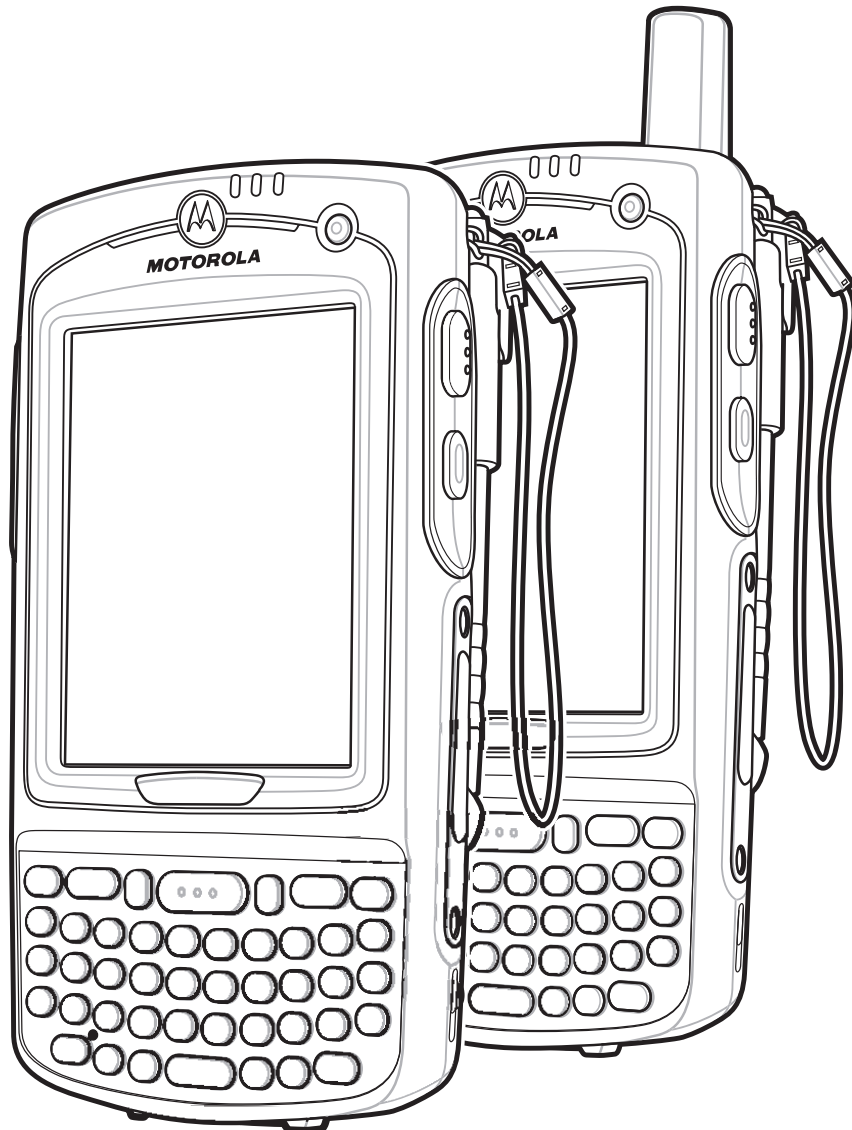




MC75A エンタープライズ PDA ユーザー ガイド



MC75A エンタープライズ PDA ユーザー ガイド

72E-133503-01JA

改訂版 A

2010 年 3 月

© 2010 by Motorola, Inc. All rights reserved.

Motorola の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電気的あるいは機械的な手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約 (ライセンス プログラム) に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェアに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Motorola の同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Motorola の書面による許可なしにネットワークでを使用することを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Motorola の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Motorola は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

Motorola は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Motorola, Inc. の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Motorola 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

MOTOROLA、Stylized M ロゴ、Symbol、および Symbol ロゴは、米国特許商標局に登録されています。Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。Microsoft、Windows、および ActiveSync は、Microsoft Corporation の登録商標または商標です。その他すべての製品名とサービス名は、該当する各所有者が権利を有しています。

Motorola, Inc.
One Motorola Plaza
Holtsville, New York 11742-1300
<http://www.motorola.com/enterprisemobility>

改訂版履歴

元のマニュアルに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2010 年 3 月	初期リリース

目次

改訂版履歴	iii
-------------	-----

このガイドについて

はじめに	xiii
マニュアル セット	xiii
構成	xiv
ソフトウェア バージョン	xiv
章の説明	xvii
表記規則	xviii
関連文書	xviii
サービスに関する情報	xviii

第 1 章: ご使用の前に

はじめに	1-1
パッケージの開梱	1-2
ご使用の前に	1-3
SIM カードの取り付け	1-3
メイン バッテリーの取り付け	1-5
バッテリーの充電	1-6
メイン バッテリーとメモリ バックアップ バッテリーの充電	1-6
予備バッテリーの充電	1-7
充電時の温度	1-7
MC75A の電源の入れ方	1-7
スクリーンの調整	1-7
バッテリーの状態の確認	1-8
microSD (Micro Secure Digital) カード	1-8
ハンドストラップの調整	1-9
メイン バッテリーの交換	1-9
バッテリーの管理	10
電力設定の変更	1-10
バックライトの設定の変更	1-10
キーパッドのバックライトの設定の変更	1-11
無線通信をオフにする方法	1-11

第 2 章: MC75A の使用方法

はじめに	2-1
ホーム画面	2-1
ステータス バー	2-2
[Today] (今日) 画面	2-4
クラシック [Today] (今日) 画面	2-5
ソフト キー バー	2-7
[Start] (スタート) 画面	2-7
Settings (設定) フォルダ	2-10
音量の調節	2-12
バッテリー ステータス表示	2-12
バッテリー確保オプション	2-13
メイン バッテリーの温度通知	2-14
LED インジケータ	2-15
MC75A のリセット	2-16
ウォーム ブートの実行	2-16
コールド ブートの実行	2-16
MC75A のウェイクアップ	2-17
MC75A のロック	2-18
パスワード ロック	2-18
機能ボタン	2-20
スタイラス	2-21
データの入力	2-21
インタラクティブなセンサー テクノロジ	2-22
パワー マネージメント	2-22
ディスプレイの向き	2-22
自由落下検出	2-23
写真の撮影	2-23
ビデオの録画	2-24
写真やビデオの表示	2-24
IrDA の使用	2-24
赤外線接続	2-25
IR 接続を使用したファイル交換	2-25

第 3 章: データ収集

はじめに	3-1
レーザ スキャン	3-1
スキャン操作に関する考慮事項	3-1
バーコード スキャナ	3-2
イメージング	3-3
動作モード	3-3
イメージャー スキャン	3-3
カラー デジタル カメラ	3-4
デジタル カメラによるスキャン	3-4

第 4 章：電話の使用

はじめに	4-1
電話キーパッドへのアクセス	4-1
電話のオン/オフの切り替え	4-2
音声モード	4-3
有線ヘッドセットの使用	4-3
Bluetooth ヘッドセットの使用	4-4
音量の調節	4-5
電話をかける	4-5
電話ダイヤラの使用	4-5
連絡先の使用	4-6
通話履歴の使用	4-6
短縮ダイヤルの使用	4-7
緊急通話をかける	4-7
電話に応答する	4-8
着信機能	4-8
スマート ダイヤル	4-9
通話のミュート	4-10
メモの作成	4-10
短縮ダイヤルの使用	4-11
短縮ダイヤル エントリの追加	4-11
短縮ダイヤル エントリの編集	4-13
短縮ダイヤル エントリの削除	4-14
通話履歴の使用	4-14
通話履歴の管理	4-14
[Call History] (通話履歴) の表示の変更	4-14
通話カウンタのリセット	4-15
すべての通話履歴項目の削除	4-16
通話ステータスの表示	4-17
[Call History] (通話履歴) メニューの使用	4-17
MC75A6 での通話の切り替え	4-18
MC75A8 での通話の切り替え	4-19
MC75A6 での会議通話	4-20
MC75A8 での 3 者通話	4-21
テキスト メッセージ	4-22
テキスト メッセージの表示	4-22
テキスト メッセージの送信	4-24
デュアル回線 SIM の使用	4-25

第 5 章：GPS ナビゲーションの使用

はじめに	5-1
ソフトウェアのインストール	5-1
MC75A GPS のセットアップ	5-1
操作	5-2
microSD カード上の GPS マップ	5-2
GPS 使用中の電話への応答	5-2
車両に乗っているときに GPS 信号が失われた場合	5-2
アシスト GPS	5-3

第 6 章: Bluetooth の使用

はじめに	6-1
適応型周波数ホッピング	6-1
セキュリティ	6-2
Bluetooth の設定	6-3
Bluetooth の電源の状態	6-4
コールド ブート	6-4
ウォーム ブート	6-4
サスペンド	6-4
再開	6-4
Microsoft Bluetooth スタックの使用方法	6-5
Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え	6-5
Bluetooth の有効化	6-5
Bluetooth の無効化	6-5
Bluetooth デバイスの検出	6-6
使用可能なサービス	6-8
Object Push Services via Beam (ビームによるオブジェクト プッシュ サービス)	6-8
Internet Sharing (インターネット共有)	6-9
Hands-free Services (ハンズフリー サービス)	6-10
Serial Port Service (シリアル ポート サービス)	6-11
シリアル ポートサービスを使用した ActiveSync	6-12
Phone Book Access Profile サービス	6-13
Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)	6-14
HID デバイスの接続	6-14
A2DP/AVRCP Service (A2DP/AVRCP サービス)	6-14
Bluetooth StoneStreet One Bluetooth スタックの使用方法	6-15
Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え	6-15
Bluetooth の無効化	6-15
Bluetooth の有効化	6-15
モード	6-16
Wizard Mode (ウィザード モード)	6-16
Explorer Mode (エクスプローラ モード)	6-16
Bluetooth デバイスの検出	6-17
使用可能なサービス	6-19
File Transfer Service (ファイル転送サービス)	6-19
アクセス ポイントを使用したインターネットへの接続	6-21
Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)	6-22
Object Exchange Push Services (オブジェクト交換プッシュ サービス)	6-23
Headset Services (ヘッドセット サービス)	6-27
Hands-free Services (ハンズフリー サービス)	6-27
Serial Port Service (シリアル ポート サービス)	6-28
シリアル ポートサービスを使用した ActiveSync	6-28
Personal Area Network Services (パーソナル エリア ネットワーク サービス)	6-29
IrMC Synchronization Services (IrMC 同期サービス)	6-30
A2DP/AVRCP Service (A2DP/AVRCP サービス)	6-30
HID デバイスの接続	6-31
検出したデバイスとの結合	6-31
Bluetooth の設定	6-34
[Device Info] (デバイス情報) タブ	6-34
[Services] (サービス) タブ	6-34

[Security] (セキュリティ) タブ	6-41
[Discovery] (検出) タブ	6-42
[Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) タブ	6-43
[HID] タブ	6-43
[Profiles] (プロファイル) タブ	6-44
[System Parameters] (システム パラメータ) タブ	6-45
[Miscellaneous] (その他) タブ	6-45

第 7 章: アクセサリ

はじめに	7-1
シングル スロット USB/シリアル クレードル	7-3
MC75A のバッテリーの充電	7-3
予備バッテリーの充電	7-4
バッテリー充電インジケータ	7-4
充電時の温度	7-4
4 スロット イーサネット クレードル	7-5
充電	7-5
バッテリー充電インジケータ	7-6
充電時の温度	7-6
4 スロット 充電専用 クレードル	7-6
充電	7-6
バッテリー充電インジケータ	7-7
充電時の温度	7-7
VCD7X00 車載用 クレードル	7-7
MC75A のバッテリーの充電	7-8
MC75A の取り外し	7-9
予備バッテリーの充電	7-9
バッテリー充電インジケータ	7-10
充電時の温度	7-10
4 スロット バッテリー充電器	11
MC75A バッテリー シムの取り付け	7-11
予備バッテリーの充電	7-12
バッテリー充電インジケータ	7-12
充電時の温度	7-12
磁気ストライプ リーダー (MSR)	13
MSR の取り付けと取り外し	7-13
MSR の使用	7-13
デビット カード リーダー	14
ご使用前に	7-14
機器の設置	7-14
取り外し	7-15
クレジットカードのトランザクション	7-15
デビット カードのトランザクション	7-16
キーパッド	7-17
ディスプレイのメッセージ	7-17
DCR のバッテリー レベルの確認	7-18
チップおよび PIN でのスナップオン ペイメント モジュール	18
機器の設置	7-18
取り外し	7-19
クレジットカードのトランザクション	7-19

デビット カードのトランザクション	7-20
チップおよび PIN のトランザクション	7-20
キーパッド	7-21
ディスプレイのメッセージ	7-22
ヘッドセット	7-22
ケーブル	7-23
バッテリー充電と動作電力	7-24
充電の状態を表す LED 表示	7-24
充電時の温度	7-24

第 8 章: メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに	8-1
MC75A のメンテナンス	8-1
スクリーン保護シートの取り外し	8-2
バッテリーの安全に関するガイドライン	8-2
クリーニング	8-3
必要な材料	8-3
MC75A のクリーニング	8-3
筐体	8-3
ディスプレイ	8-3
スキャナ ウィンドウ	8-3
コネクタ	8-4
クレードルのコネクタのクリーニング	8-4
クリーニングの頻度	8-4
トラブルシューティング	8-5
MC75A	8-5
Bluetooth の接続	8-6
シングル スロット USB/シリアル クレードル	8-7
4 スロット イーサネット クレードル	8-8
車載用クレードル	8-9
4 スロット バッテリー充電器	8-9
ケーブル	8-10
磁気ストライプ リーダー	8-10

付録 A: 技術仕様

MC75A の技術仕様	A-1
MC75A	A-1
MC75A アクセサリの仕様	5
シングル スロット USB/シリアル クレードル	A-5
4 スロット イーサネット クレードル	A-5
4 スロット 充電専用クレードル	A-6
4 スロット バッテリー充電器	A-6
磁気ストライプ リーダー	A-7

付録 B: キーパッド

はじめに	B-1
数字キーパッド構成	B-1
DSD キーパッド構成	B-4
英数字キーパッド構成	B-7
特殊文字キー	B-14

付録 C: Voice Quality Manager

はじめに	C-1
特徴	C-1
VQM の有効化	C-2
音声モード	C-2
音声モードの変更	C-3
音声パケットの優先	C-3
音響エコー キャンセル	C-4
制限	C-4
VQM の無効化	C-4

用語集**索引**

このガイドについて

はじめに

このガイドでは、MC75A エンタープライズ PDA とアクセサリの使用方法について説明します。



注 このガイドで示しているスクリーンとウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際のスクリーンと異なることがあります。

マニュアルセット

MC75A のマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供していて、次のマニュアルで構成されています。

- **MC75A クイック スタート ガイド** - MC75A EDA の主な機能の使用方法について説明しています。
- **MC75A エンタープライズ PDA ユーザー ガイド** - MC75A EDA の使用方法について説明しています。
- **MC75A Enterprise Digital Assistant Integrator Guide** - MC75A EDA とアクセサリの設定方法について説明しています。
- **Microsoft® Windows Mobile 6.0 Applications User Guide for Enterprise Mobility Devices** - Microsoft 社製のアプリケーションの使用方法について説明しています。
- **Enterprise Mobility Application Guide** - Enterprise Mobility 製のサンプル アプリケーションについて説明しています。
- **Enterprise Mobility Developer Kit (EMDK) Help File** - アプリケーション開発用の API 情報について説明しています。

構成

このガイドは、以下のモデルを対象としています。

構成	無線通信	ディスプレイ	メモリ	データ収集	オペレーティングシステム	キーパッド
MC75A0	WPAN: Bluetooth WLAN: 802.11a/b/g	3.5 インチ VGA カラー	256 MB RAM/ 1 GB フラッシュ	1D レーザ スキャナ、2D イメージャーまたはカメラ	Windows Mobile 6.5 Classic	数字、QWERTY、AZERTY または QWERTZ キーパッド
MC75A6	WPAN: Bluetooth WLAN: 802.11a/b/g WWAN: HSDPA GPS: SiRF III	3.5 インチ VGA カラー	256 MB RAM/ 1 GB フラッシュ	1D レーザ スキャナ、2D イメージャーまたはカメラ	Windows Mobile 6.5 Professional	数字、DSD または QWERTY、AZERTY または QWERTZ キーパッド
MC75A8	WPAN: Bluetooth WLAN: 802.11a/b/g WWAN: EVDO GPS: SiRF III	3.5 インチ VGA カラー	256 MB RAM/ 1 GB フラッシュ	1D レーザ スキャナ、2D イメージャーまたはカメラ	Windows Mobile 6.5 Professional	数字、DSD または QWERTY、AZERTY または QWERTZ キーパッド

ソフトウェア バージョン

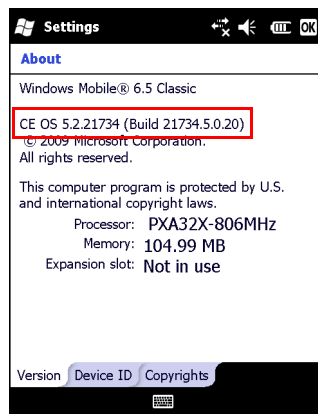
このガイドでは、さまざまなソフトウェア構成について取り上げ、次のオペレーティング システムまたはソフトウェアのバージョンについて言及しています。

- Adaptation Kit Update (AKU) バージョン
- OEM バージョン
- Phone バージョン
- BTExplorer バージョン
- Fusion バージョン
- Phone バージョン。

AKU バージョン

Adaptation Kit Update (AKU) のバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[Start] (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) フォルダ > **About** (バージョン情報) アイコン > **[Version]** (バージョン) タブをタップします。



2 行目に、オペレーティング システムのバージョン番号とビルド番号が表示されます。ビルド番号の最後の部分が AKU 番号を表しています。たとえば、「Build 18552.0.7.5」は、デバイスで AKU バージョン **0.7.5** が実行されていることを示しています。

OEM バージョン

OEM ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[Start] (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) フォルダ > **System Info** (システム情報) アイコン > **[System]** (システム) タブをタップします。



BTExplorer ソフトウェア



注 BTExplorer のバージョン情報を表示するには、StoneStreet One Bluetooth スタックが有効になっている必要があります。詳細については、『MC75A Enterprise Digital Assistant Integrator Guide』を参照してください。

BTExplorer ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

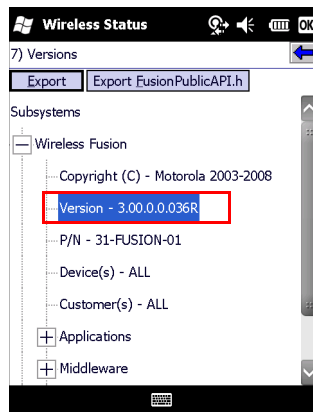
[Start] (スタート) > **BTExplorer** アイコン > [Show BTExplorer] (BTExplorer を表示) > [Menu] (メニュー) > [About] (バージョン情報) をタップします。



Fusion ソフトウェア

Fusion ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[Start] (スタート) > **Wireless Companion** アイコン > **Wireless Status** (無線状態) アイコン > [Versions] (バージョン) をタップします。



Phone ソフトウェア

Phone ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[Start] (スタート) > **[Phone]** (電話) > **[Menu]** (メニュー) > **[Options]** (オプション) > **[Phone Info]** (電話情報) または **[Version Information]** (バージョン情報) タブをタップします。



MC75A6



MC75A8

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **第 1 章の「ご使用の前に」** - MC75A を初めて使用する際の手順について説明します。
- **第 2 章の「MC75A の使用方法」** - 電源の入れ方、MC75A のリセット方法、データの入力やキャプチャ方法など、MC75A の基本的な使用方法について説明します。
- **第 3 章の「データ収集」** - MC75A でレーザ スキャナ、イメージャーまたはカメラを使用したデータ収集の詳細について説明します。
- **第 4 章の「電話の使用」** - MC75A の電話機能の基本的な使用方法について説明します。
- **第 5 章の「GPS ナビゲーションの使用」** - MC75A の GPS ナビゲーション機能について説明します。
- **第 6 章の「Bluetooth の使用」** - MC75A の Bluetooth 機能について説明します。
- **第 7 章の「アクセサリ」** - 取り付け可能なアクセサリと、アクセサリを MC75A で使用する方法について説明します。
- **第 8 章の「メンテナンスとトラブルシューティング」** - MC75A のクリーニングと保管方法、および MC75A の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。
- **付録 A「技術仕様」** - MC75A の技術仕様について説明します。
- **付録 B「キーパッド」** - キーパッドのレイアウトと操作について説明します。
- **付録 C「Voice Quality Manager」** - Voice Quality Manager ソフトウェアの使用法の概要について説明します。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- EDA とは、Motorola MC75A シリーズのモバイル コンピュータを指します。
- 斜体は、次の項目の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - スクリーン上のアイコン
- 太字は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - キーボード上のキー名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (•) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要はあるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

関連文書

- MC75A クイック スタート ガイド (p/n 72-127677-xx)
- MC75A Windows Mobile 6 Regulatory Guide (p/n 72-130201-xx)
- MC75A Enterprise Digital Assistant Integrator Guide (p/n 72E-133624-xx)
- Microsoft® Applications for Mobile 6 User Guide (p/n 72E-108299-xx)
- Enterprise Mobility Application Guide (p/n 72E-68901-xx)
- Enterprise Mobility Developer Kits (EMDK) は、<http://www.motorola.com/enterprisemobility/support> から入手可能です。
- 最新の ActiveSync ソフトウェアは、<http://www.microsoft.com> から入手可能です。

本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、<http://www.motorola.com/enterprisemobility/manuals> から入手可能です。

サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、地域担当の Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) にお問い合わせください。お問い合わせ先は、<http://www.motorola.com/enterprisemobility/contactsupport> に記載されています。

Enterprise Mobility Support (エンタープライズ モビリティ サポート) へのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

Motorola では、サポート契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) が問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Motorola は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した輸送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切に輸送すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用のエンタープライズ モビリティ ビジネス製品を Motorola ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第1章 ご使用前に

はじめに

ここでは、MC75A の各部名称とアクセサリについて列挙し、バッテリーの取り付け方法、充電方法、ストラップの調節方法、および MC75A の電源の入れ方について説明します。

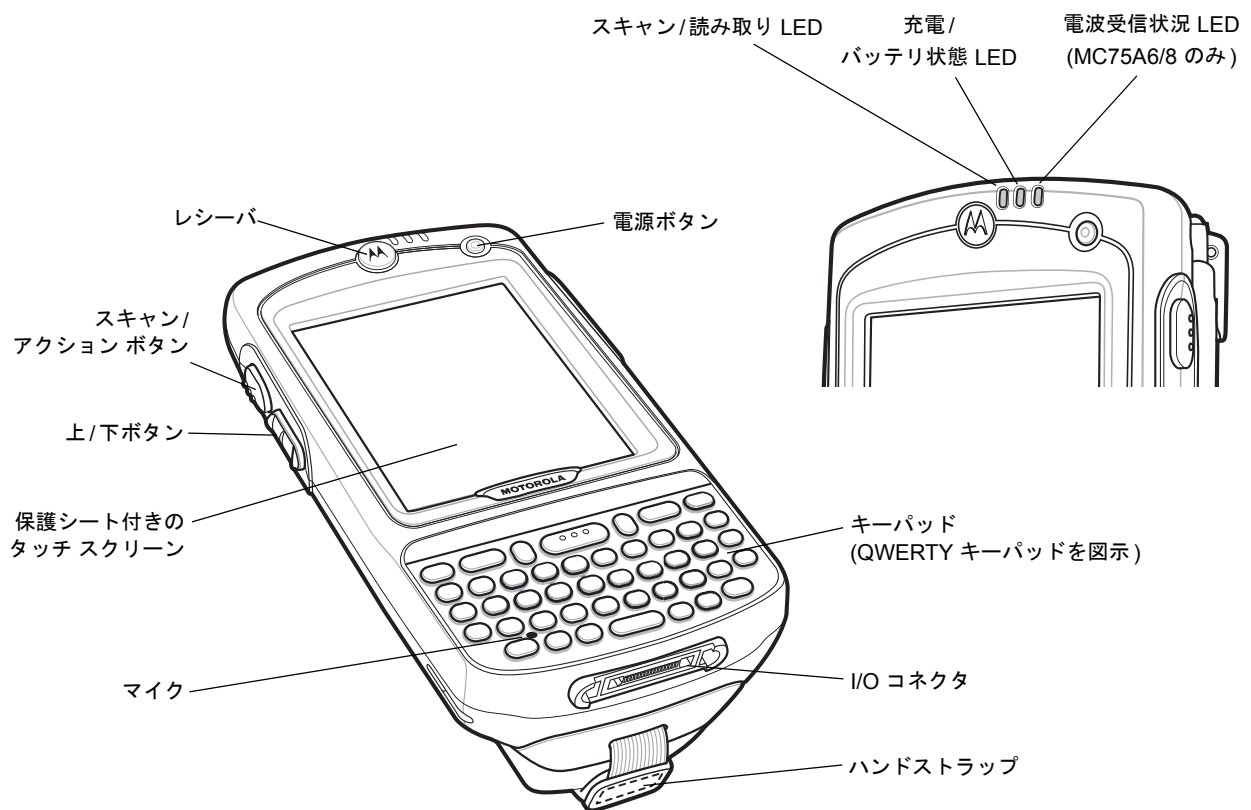


図 1-1 MC75A 正面図

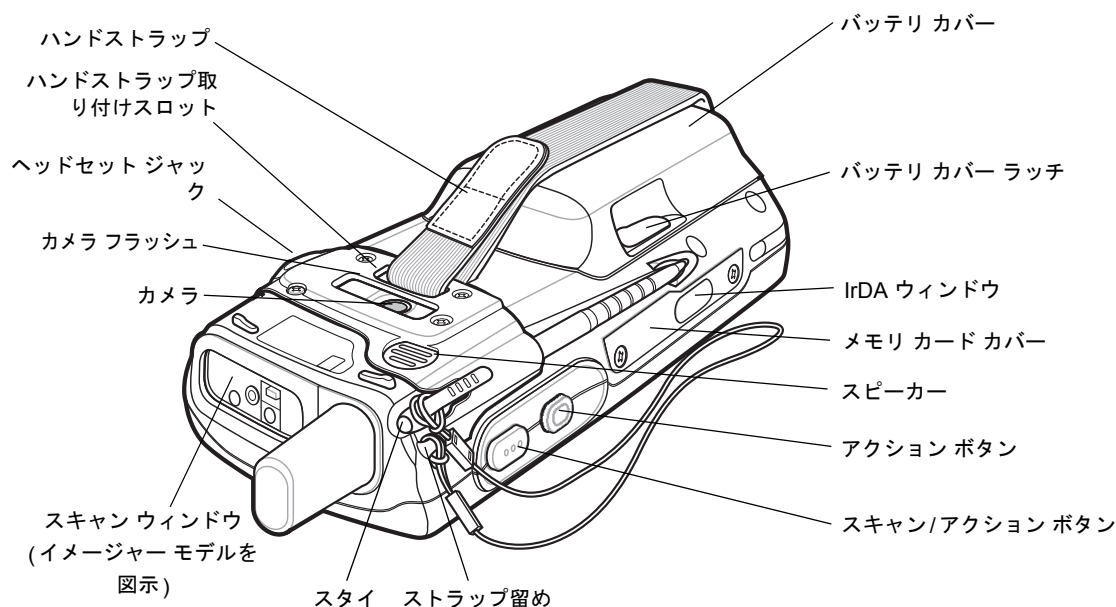


図 1-2 MC75A 背面図

パッケージの開梱

MC75A を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

次のものが含まれていることを確認します。

- MC75A EDA
- リチウム イオン バッテリー
- バッテリー カバー/ストラップ アセンブリ
- ストラップ付きスタイラス
- 保護シート (ディスプレイ ウィンドウに取り付け済み)
- 規制ガイド
- クイック スタート ガイド

破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、直ちに Motorola Enterprise Mobility Support Center (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート センター) にお問い合わせください。連絡先については、**xviii ページ**を参照してください。

ご使用前に

MC75A を初めて使用する際には、次のことを行います。

- SIM カードの取り付け (MC75A6 のみ)
- メイン バッテリーの取り付け
- MC75A の充電
- MC75A の電源投入
- MC75A の設定

SIM カードの取り付け

✓ 注 MC75A6 モデルのみ

GSM 方式の回線を使用するには、SIM (Subscriber Identification Module: 加入者識別モジュール) カードまたはスマート カードを取り付ける必要があります。サービス プロバイダからこのカードを入手して、MC75A に取り付けてください。このカードには、次の情報を保存できます。

- サービス プロバイダのアカウントの詳細
- サービスへのアクセス方法と設定に関する情報
- 連絡先の情報。この情報は MC75A の **Contacts** (連絡先) に移動させることができます。
- 契約したその他のあらゆるサービス

✓ 注 SIM カードの詳細については、サービス プロバイダのマニュアルを参照してください。

SIM カードを取り付けるには、次の手順に従います。

1. SIM カバーをスライドさせてロックを解除します。
2. スタイラスの先端で、SIM カバーを持ち上げます。

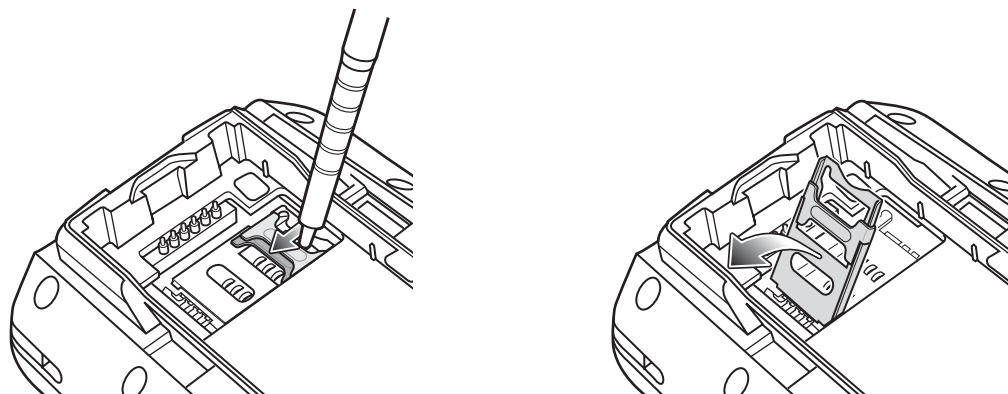


図 1-3 SIM カバーの持ち上げ方

3. 面取りされている側を上向き、接点側を下向きにして SIM カードを挿入します (図 1-4 を参照)。

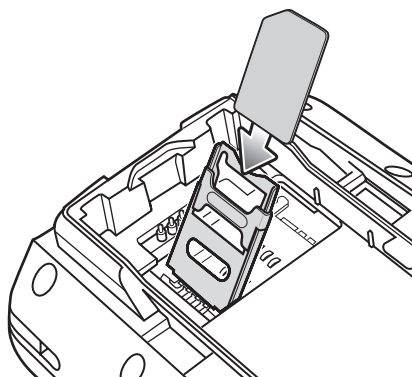


図 1-4 SIM カードの挿入

4. SIM カバーを下げて、スタイラスの先端でスライドさせて所定の位置に固定します。
5. バッテリーの取り付け 詳細については、1-5 ページの「メイン バッテリーの取り付け」を参照してください。
6. MC75A に SIM カードを初めて取り付けした後、または SIM カードを交換した後に、次の手順に従います。
- 赤色の電源ボタンを押します。
 - [Today] (今日) 画面で Antenna (アンテナ) アイコンをタップし、ダイアログ ボックスで **[Wireless Manager]** を選択します。
 - Phone** (電話) がオンになっていることを確認します。
 - 赤色の電源ボタンを押して、MC75A をサスペンド状態にします。
 - ウォーム ブートを実行します。2-16 ページの「MC75A のリセット」を参照してください。
 - 電話をかけて、携帯電話回線を使用できることを確認します。



注 WWAN の有効化と設定の詳細については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。

メインバッテリーの取り付け

- ✓ 注 MC75A には 1950 mAh または 3600 mAh バッテリーのいずれかが同梱されています。また、オプションとして 4800mAh バッテリーを用意しています。

メインバッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

1. MC75A の背面のバッテリー コンパートメントに、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの上側を先に入れます。

- ✓ 注 バッテリーの接点がバッテリー コンパートメントの接点と合うように、正しくバッテリーを入れてください。

2. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー コンパートメントに押し込みます。

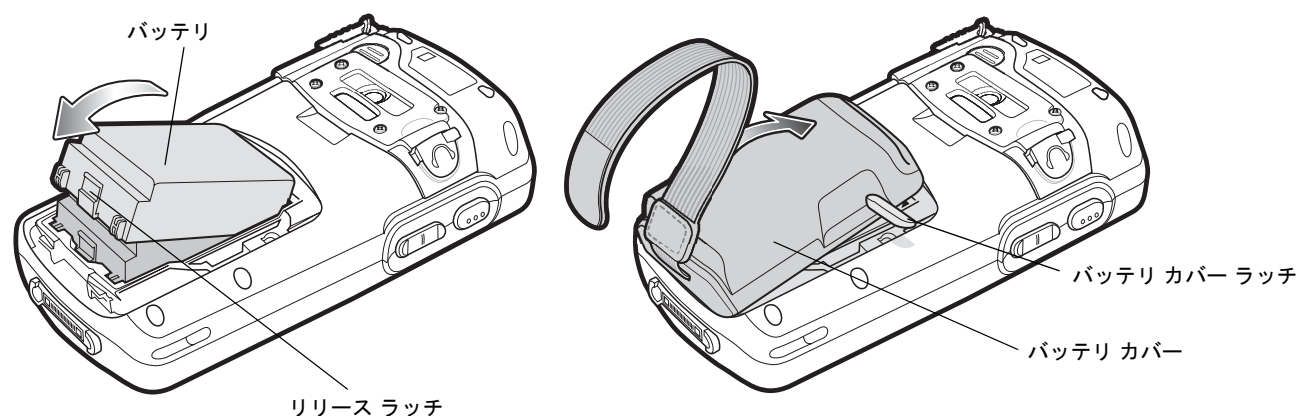


図 1-5 バッテリーの取り付け

3. バッテリー カバー ラッチが開いている状態で、カバーの下側を差し込み、カバーの上側を押します。
4. バッテリー カバーの両側にあるバッテリー カバー ラッチを閉じます。
5. ハンドストラップをハンドストラップ取り付けスロットに差し込み、しっかりと締めて、押して固定します。

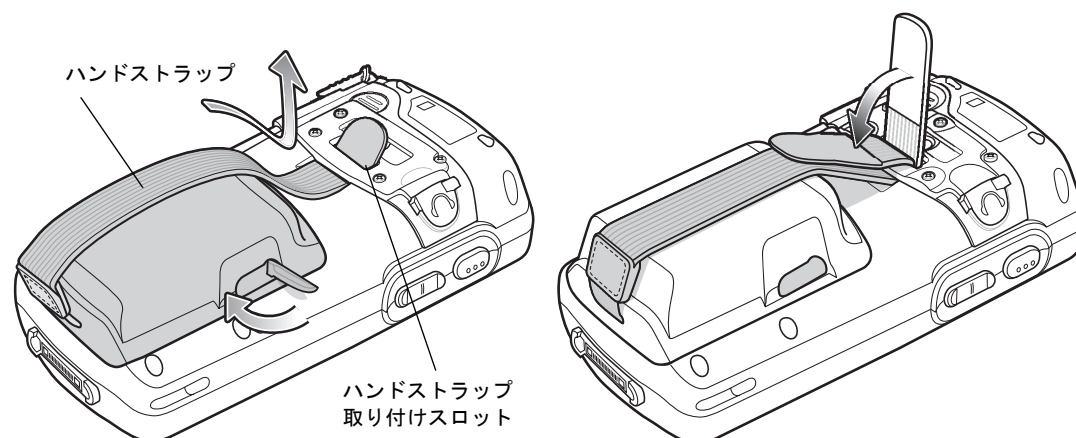


図 1-6 ハンドストラップの取り付け

バッテリーを入れて、バッテリー カバーを取り付けると、MC75A の電源が入ります。

バッテリーの充電



注意 8-2 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

メインバッテリーとメモリ バックアップ バッテリーの充電

MC75A を初めて使用する場合は、充電/バッテリー状態 LED が黄色で点灯し続けるまでメイン バッテリーを充電します (充電の状態を表す LED 表示の意味については、1-7 ページの表 1-2 を参照してください)。MC75A を充電するには、ケーブルまたはクレードルを使って適切な電源に接続してください。MC75A のアクセサリの詳細については、第 7 章の「アクセサリ」を参照してください。

MC75A にはメモリ バックアップ バッテリーが装備されており、このバッテリーは、フル充電されたメイン バッテリーから自動的に充電されず。MC75A を初めて使用する場合は、バックアップ バッテリーがフル充電されるまで約 36 時間かかります。また、メイン バッテリーを数時間取り外して、バックアップ バッテリーが放電した場合も、同じ時間がかかります。MC75A のメイン バッテリーを取り外した場合、メモリ内の RAM データは、バックアップ バッテリーによって少なくとも 15 分間 (室温の場合) 維持されます。MC75A のバッテリー残量が非常に少なくなった場合、メモリ内の RAM データは、メイン バッテリーとバックアップ バッテリーの両方によって少なくとも 48 時間維持されます。

メイン バッテリーを充電するには、充電ケーブルまたはクレードルを使用します。ケーブルおよびクレードルの取り扱い方法および充電手順については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。

- シングル スロット USB/シリアル クレードル
- 4 スロット イーサネット クレードル
- 4 スロット 充電専用クレードル
- 車載用クレードル

メイン バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. MC75A をクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。MC75A が充電を開始します。充電中は、充電/バッテリー状態 LED が黄色で点滅し、フル充電されると黄色で点灯します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、表 1-2 を参照してください。

表 1-1 に、各バッテリーの充電時間を示します。

表 1-1 バッテリー充電時間

バッテリーのサイズ	充電時間
1950 mAh	4 時間以内に充電完了。
3600 mAh	8 時間以内に充電完了。
4800 mAh	10 時間以内に充電完了。

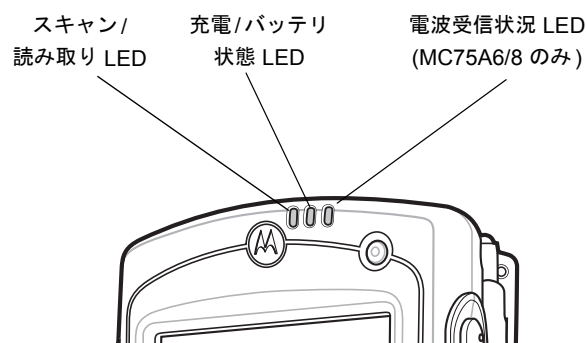


図 1-7 LED インジケータ

表 1-2 充電の状態を表す LED 表示

充電/バッテリーの状態 LED	意味
消灯	MC75A は充電されていません。 MC75A が正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。 充電器/クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (2 秒に 1 回点滅)	MC75A は充電中です。
黄色で点灯	充電完了。 注: MC75A に初めてバッテリーを取り付けたときにバッテリー残量が少なかったり、バッテリーが正しく入っていないと黄色の LED が 1 回点滅します。
黄色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> 温度が低すぎる、または高すぎる。 充電完了までの時間が長すぎる (通常は、8 時間以上)。

予備バッテリーの充電

アクセサリを使用して予備バッテリーを充電する方法については、[第 7 章の「アクセサリ」](#)を参照してください。

充電時の温度


バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC75A によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC75A やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC75A やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[表 1-2](#)を参照してください。

MC75A の電源の入れ方

電源ボタンを押して、MC75A の電源をオンにします。MC75A の電源がオンにならない場合は、ウォーム ブートを実行します。[2-16 ページの「MC75A のリセット」](#)を参照してください。

MC75A の電源を初めてオンにすると、MC75A がフラッシュ ファイル システムを初期化している間、約 1 分間にわたって起動画面が表示され、その後調整ウィンドウが表示されます。これらのウィンドウは、コールド ブート時也表示されます。

 **注** バッテリーを初めて取り付けて MC75A に電源が供給されると、デバイスは自動的に起動し、電源がオンになります。

スクリーンの調整

 **注** 調整画面にアクセスするには、ブルー キー - BKSP キーの順に押すか、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Screen]** (画面) > **[Align Screen]** (スクリーンの調整) ボタンをタップします。

タッチ スクリーンのカーソル位置とスタイラスの先端の位置が揃うようにスクリーンを調整するには、次の手順に従います。

1. MC75A の背面にあるホルダーからスタイラスを外します。
2. 画面をタップすると調整が開始されます。
3. スタイラスの先端で、スクリーンに表示される各ターゲットの中央を短時間押し続けます。
4. ターゲットが移動したら、この動作を繰り返し行います。

バッテリーの状態の確認

MC75A でメイン バッテリーまたはバックアップ バッテリーの充電状態を確認するには、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **Power** (電源) アイコンをタップして、**[Power]** (電源) ウィンドウを表示します。

バッテリー電力を節約するには、**[Advanced]** (詳細) タブをタップして、指定の時間が経過したら MC75A がオフになるように設定します。

microSD (Micro Secure Digital) カード

microSD カードを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。microSD カード用スロットは、MC75A の側面にあります (図 1-8 を参照)。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカーの推奨使用方法に従ってください。



注意 microSD カードを損傷しないように、ESD に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することや作業者を適切に接地することなどが含まれます。

microSD カードを取り付けるには、次の手順に従います。

1. 2つのキャプティブスクリューを緩めて、MC75A の側面のメモリ カード カバーを外します。

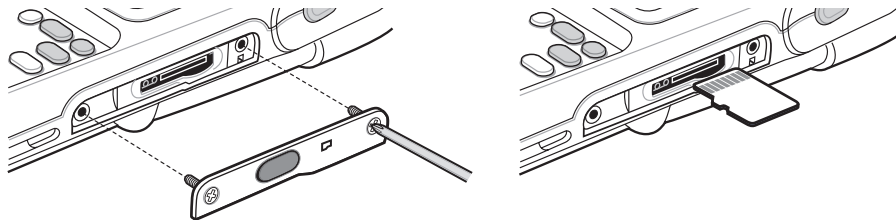


図 1-8 カードの挿入

2. カチッと音がするまで、カードの接触面を上にして挿入します。
3. メモリ カード カバーを取り付けて、スクリューを締めます。

microSD カードを取り外すには、次の手順に従います。

1. 2つのキャプティブスクリューを緩めて、メモリ カード カバーを外します。

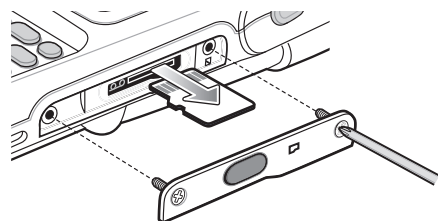


図 1-9 カードの取り外し

2. カードを軽く押して離し、カードをイジェクトさせます。
3. カード スロットからカードを取り出します。
4. メモリ カード カバーを取り付けて、スクリューを締めます。

ハンドストラップの調整

MC75A ハンドストラップは、バッテリー カバーの下部に取り付けられています。ハンドストラップを調整することで、長時間に及ぶ操作も快適にこなすことができます。ハンドストラップを調整するには、次の手順に従います。

1. ハンドストラップ スロットを通してハンドストラップを取り付けます。
2. 両側を押して固定します (図 1-10 を参照)。

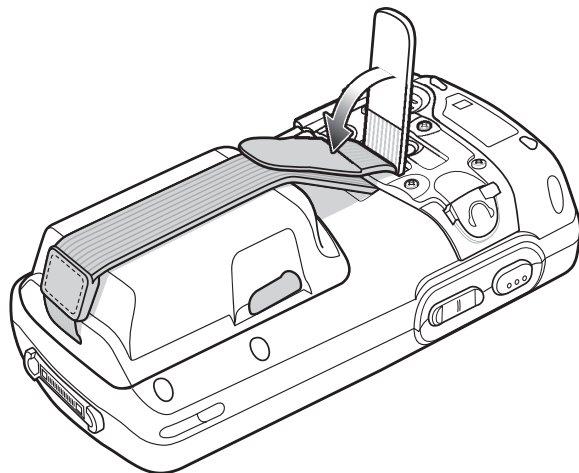


図 1-10 ハンドストラップの調整

メインバッテリーの交換

1. MC75A がサスペンド モードの場合、赤色の電源ボタンを押して、ウェイクアップします。
2. 赤色の電源ボタンを押して、MC75A をサスペンド状態にします。
3. 赤色の読み取り LED がオンになり次にオフになるのを待ちます。
4. バッテリー カバーの両側にあるバッテリー カバー ラッチを開きます。

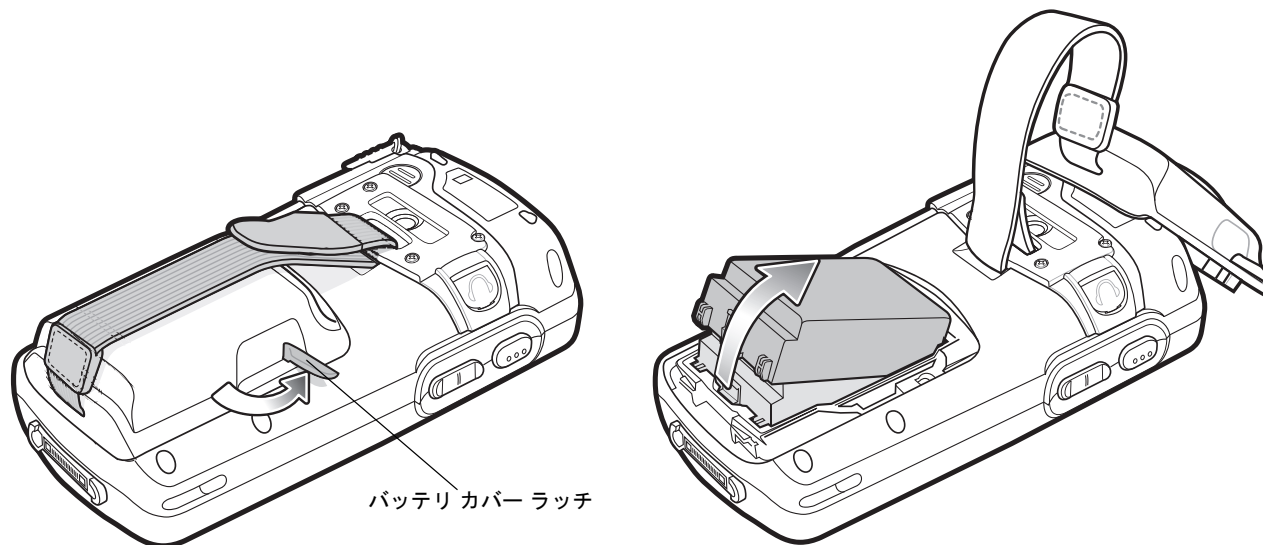


図 1-11 バッテリー カバーの取り外し

5. バッテリー カバーの上部を持ち上げて、取り外します。
6. バッテリー下部のバッテリー リリース ラッチを押してバッテリーのロックを解除し、バッテリーをコンパートメントから取り出します。
7. MC75A の背面のバッテリー コンパートメントに、交換用のバッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの上側を先に入れます。
8. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー コンパートメントに押し込みます。

✓ **注** バッテリーの接点がバッテリー コンパートメントの接点と合うように、正しくバッテリーを入れてください。

9. バッテリー カバー ラッチが開いている状態で、カバーの下側を差し込み、カバーの上側を押します。
10. バッテリー カバーの両側にあるバッテリー カバー ラッチを閉じます。
11. 赤色の電源ボタンを押して、MC75A の電源をオンにします。

バッテリーの管理

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

✓ **注** 工場出荷時の設定では、MC75A の WWAN および WLAN 無線通信はオンに設定されています。

- MC75A を使用しないときは、常に AC 電源に接続しておきます。
- アイドル状態で一定時間経過したら電源がオフになるように MC75A を設定します。
- アイドル状態で一定時間経過したらバックライトがオフになるように MC75 を設定します。
- 無線機能を使用していないときには、すべての無線機能をオフにします。
- 充電中は MC75A の電源をオフにします。これにより、充電時間を短縮できます。
- MC75A が裏返して置かれた場合にディスプレイをオフにするかサスペンド状態になるように IST を設定します。

電力設定の変更

アイドル状態で一定時間経過したら電源がオフになるように MC75A を設定するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) タブ > **Power** (電源) アイコン > **[Advanced]** (詳細) タブをタップします。
2. **[On battery power: Turn off device if not used for]** (バッテリー使用時: 電源を切るまでのアイドル時間) チェック ボックスをオンにして、ドロップダウン リストから値を選択します。
3. **[OK]** を選択します。

バックライトの設定の変更

バックライトの設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) タブ > **Backlight** (バックライト) アイコン > **[Battery Power]** (バッテリー電源) タブをタップします。
2. **[Disable backlight if device is not used for]** (バックライトをオフにするまでのアイドル時間) チェック ボックスをオンにして、ドロップダウン リストから値を選択します。
3. **[Brightness]** (輝度) タブを選択します。
4. **[Disable backlight]** (バックライトを無効にする) チェック ボックスをタップして、ディスプレイのバックライトをオフにするか、スライダを使用してバックライトの値を低くします。
5. **[OK]** を選択します。

キーパッドのバックライトの設定の変更

キーパッドのバックライトの設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) タブ > **Keylight** (キーライト) アイコン > **[Battery Power]** (バッテリー電源) タブをタップします。
2. **[On battery power: Disable keylight if device is not used for]** (バッテリー使用時: キーライトをオフにするまでのアイドル時間) チェック ボックスをオンにして、ドロップダウン リストから値を選択します。
3. **[Advanced]** (詳細) タブを選択します。
4. **[Disable keylight]** (キーライトを無効にする) チェック ボックスをタップして、キーパッドのバックライトをオフにします。
5. **[OK]** を選択します。

無線通信をオフにする方法

Windows Mobile 6 デバイスには、デバイスのすべての無線機能を 1 か所で有効にしたり、無効にしたり、設定したりすることができる **Wireless Manager** が搭載されています。

Wireless Manager を開くには、**Connectivity** (接続) アイコンをタップするか、**[Today]** (今日) 画面で **[Wireless Manager]** をタップします。

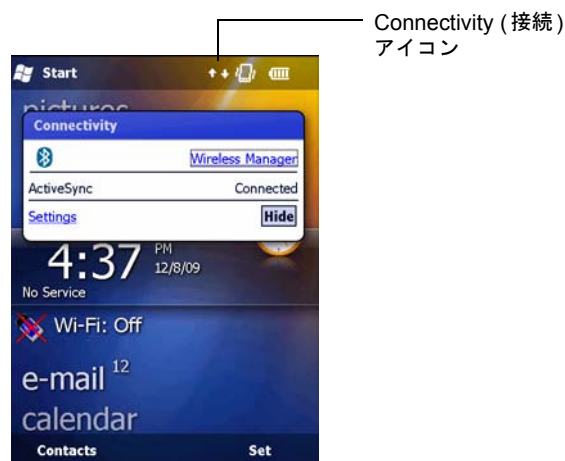


図 1-12 Wireless Manager の開き方

[Wireless Manager] を選択します。



図 1-13 [Wireless Manager] ウィンドウ



注 無線接続のオプションは、構成によって異なります。

無線接続を有効または無効にするには、目的のボタンをタップします。

すべての無線接続を有効または無効にするには、**[All]** (すべて) ボタンをタップします。

接続の設定を行うには、**[Menu]** (メニュー) をタップします。

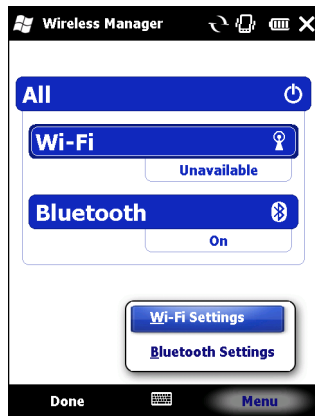


図 1-14 Wireless Manager の **[Menu]** (メニュー) の項目

第 2 章 MC75A の使用方法

はじめに

ここでは、MC75A のボタン、ステータス アイコン、コントロールについて説明します。また、電源の入れ方、MC75A のリセット方法、データの入力やキャプチャ方法など、MC75A の基本的な使用方法についても説明します。

MC75A の工場出荷時のデフォルトの無線通信状態は、次のように設定されています。

- 無線 LAN - オン
- Bluetooth - オフ
- 電話 - オン

ホーム画面

ホーム画面の上部にはステータス バーがあり、中央には **[Today]** (今日) 画面、下部にはソフト キーがあります。それぞれの説明は次のとおりです。



図 2-1 ホーム画面

ステータス バー

画面の上部のステータス バーには、表 2-1 に示しているステータス アイコンが表示されます。

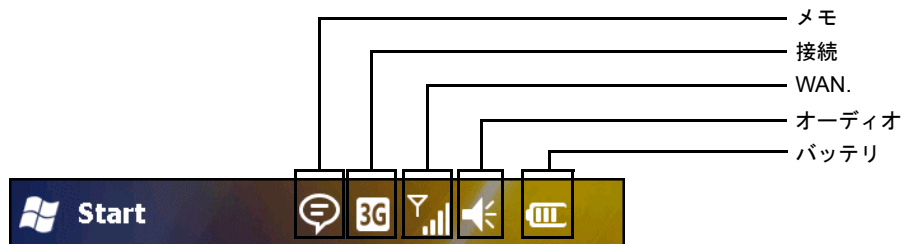


表 2-1 ステータス アイコン

アイコン	説明
メモ	
	バックアップ バッテリーの残量が少なくなっています。
	1 つまたは複数のインスタント メッセージを受信したことを示します。
	1 つまたは複数の電子メール/テキスト メッセージを受信したことを示します。
	1 つまたは複数のボイス メッセージを受信したことを示します。
	スピーカ オン。
	表示しきれない通知アイコンがあります。このアイコンをタップすると、残りのアイコンが表示されます。
	今後のカレンダー イベントの通知を示します。
接続	
	接続がアクティブです。
	接続が非アクティブです。
	同期中です。
	Wi-Fi を使用できます。
	Wi-Fi 使用中です。
	HSDPA を使用できます。(MC75A6)
	3G を使用できます。(MC75A6)
	GPRS を使用できます。(MC75A6)
	EGPRS を使用できます。(MC75A6)
	1xRTT を使用できます。(MC75A8)
	EVDO Rev.0 を使用できます。(MC75A8)
	EVDO Rev.A を使用できます。(MC75A8)
	休止状態 - 1x または EVDO 接続中にデータ転送が行われていません。(MC75A8)
	不在着信。
WAN.	

表 2-1 ステータス アイコン (続き)

アイコン	説明
	SIM カードが装着されていない状態でダイヤルしました。
	音声通話中。
	通話を転送しました。
	通話保留中。
	アンテナ/信号アイコン: 無線オン/信号良好。
	アンテナ/信号アイコン: 無線オフ。
	アンテナ/信号アイコン: サービスなし、または検索中。
	HSDPA 接続中。(MC75A6)
	HSDPA 使用中。(MC75A6)
	3G 接続中。(MC75A6)
	3G 使用中。(MC75A6)
	GPRS 接続中。(MC75A6)
	GPRS 使用中。(MC75A6)
	EGPRS 接続中。(MC75A6)
	EGPRS 使用中。(MC75A6)
	EVDO 接続中。(MC75A8)
	EVDO 使用中。(MC75A8)
	ローミング中。
	SIM カード未装着。(MC75A6)
オーディオ	
	すべてのサウンド オン。
	すべてのサウンド オフ。
	バイプレータ オン。
バッテリー	
	メイン バッテリー充電中。
	メイン バッテリーがフル充電されている。
	メイン バッテリーの充電残量が多い。
	メイン バッテリーの充電残量が中程度。
	メイン バッテリーの充電残量が少ない。
	メイン バッテリーの充電残量が非常に少ない。

[Today] (今日) 画面

[Today] (今日) 画面はスクロール可能で、この画面にはアプリケーションの一覧および情報ステータス バーがあります。情報ステータス バーでは、その下のアプリケーションが強調表示され、追加情報が表示されます。

指で画面に触れてそのままの状態を維持し、[Today] (今日) 画面を上下に移動させます。アプリケーション名が情報ステータス バーの下に移動すると、そのアプリケーションに関連する情報がバーに表示されます。



図 2-2 [Today] (今日) 画面の移動

また、情報ステータス バーに触れてそのままの状態を維持し、アプリケーション名の上で上下させることもできます。指を離すと、情報ステータス バーとアプリケーション名が画面中央になります。



図 2-3 情報ステータス バーの移動



図 2.4 情報バーの例

[Today] (今日) 画面をカスタマイズするには、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > Today (今日) アイコンをタップします。背景をカスタマイズするには [Appearance] (デザイン) タブを使用し、表示形式を変更するには [Items] (項目) タブを使用します。

クラシック [Today] (今日) 画面

ユーザーは、[Today] (今日) 画面を Windows Mobile 6.1 で使用されるクラシック レイアウトに変更できます。

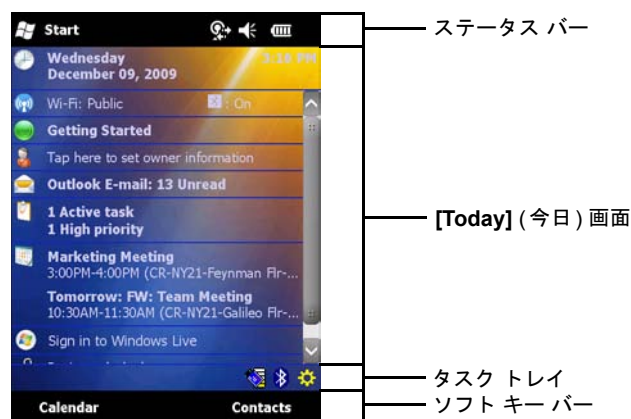


図 2.5 クラシック [Today] (今日) 画面

クラシック ビューに変更するには、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **Today** (今日) アイコン > **[Items]** (項目) タブの順にタップします。

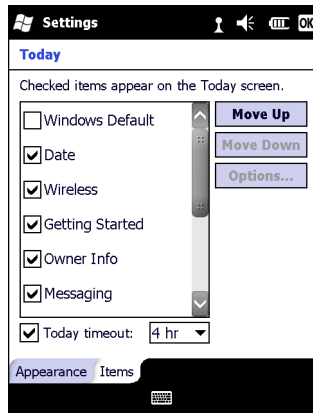


図 2-6 **[Today]** (今日) 画面の設定

[Windows Default] (Windows デフォルト) チェックボックスの選択を解除し、他のチェックボックスを選択します。

[OK] をタップします。

✓ **注** タスク バーはクラシック ビューでのみ表示されます。

画面下部のタスク バーには、表 2-2 に示しているタスクトレイアイコンが表示されます。

表 2-2 タスクトレイアイコン

アイコン	名前	説明
	無線接続ステータス	WLAN 信号強度を示します。
	Bluetooth 有効	Bluetooth 無線がオンになっています。(StoneStreet One Bluetooth スタックが有効になると利用できます。)
	Bluetooth 無効	Bluetooth 無線がオフになっています。(StoneStreet One Bluetooth スタックが有効になると利用できます。)
	Bluetooth の接続	Bluetooth 無線が、別の Bluetooth デバイスに接続されています。(StoneStreet One Bluetooth スタックが有効になると利用できます。)
	ActiveSync	MC75A とホスト コンピュータ間のシリアル接続が有効です。
	IST	インタラクティブな感知機能を設定するときに使用します。

ソフトキーバー

ソフトキーバーは画面下部にあり、これには2つのソフトキーボタンがあります。これらのボタンは、アクションおよびコンテキストメニューを表示し、アプリケーションごとに動的に変化します。たとえば、連絡先リストビューでは、ソフトキーは **[New]** (新規) と **[Menu]** (メニュー) です。ユーザーが編集ビューで新しい連絡先の作成を開始すると、ソフトキーは **[Done]** (完了) と **[Menu]** (メニュー) に変化します。

[Start] (スタート) 画面

[Start] (スタート) 画面には、ユーザーが利用できるアプリケーションとフォルダが一覧表示されます。表 2-3 に、**[Start]** (スタート) 画面で一覧表示されるデフォルトのプログラムおよびフォルダを示します。



図 2-7 [Start] (スタート) 画面

表 2-3 [Start] (スタート) 画面のプログラムおよびフォルダ

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Today (今日)	[Start] (スタート) メニューを閉じ、[Today] (今日) 画面を表示します。		E-mail (電子メール)	E-mail (電子メール) を送信します。
	Text (テキスト)	SMS テキストメッセージを送信します。		[Contacts] (連絡先)	友人および同僚を管理します。
	Calendar (カレンダー)	予定を管理したり、会議出席依頼を作成します。		Internet Explorer	Web サイトや WAP サイトを参照したり、インターネットから新しいプログラムやファイルをダウンロードします。
	Settings (設定)	設定フォルダを開きます。 2-10 ページの「Settings (設定) フォルダ」 を参照してください。		Pictures & Videos (画像とビデオ)	画像、アニメーション GIF、ビデオ ファイルを表示および管理します。
	Getting Started (ご使用の前に)	Getting Started (ご使用の前に) アプリケーションを起動します。		Windows Media	オーディオ ファイルとビデオ ファイルを再生します。
	Messenger	モバイルバージョンの Windows Live Messenger を使用します。		Marketplace (マーケットプレイス)	マーケットプレイスからアプリケーションを購入します。

表 2-3 [Start] (スタート) 画面のプログラムおよびフォルダ (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Phone (電話)	Phone (電話) をかける、電話を受ける、通話を切り替える、会議通話を設定します。		Microsoft My Phone	MC75A の連絡先、カレンダー、タスク、テキストメッセージ、音楽、写真、ビデオ、ドキュメントを Microsoft My Phone アカウントと同期します。
	Windows Live	このモバイル バージョンの Windows Live™ を使用して、Web で情報を検索します。		MSN Weather (MSN 天気予報)	地域の天気予報を確認します。
	Games (ゲーム)	ゲームをプレイします。		MSN Money (MSN マネー)	ファイナンスを管理します。
	Notes (メモ)	手書きのメモやタイプしたメモ、図、および音声録音を作成します。		Calculator (電卓)	加算、減算、乗算、除算などの基本的な演算および計算を行います。
	Tasks (タスク)	タスクを管理します。		File Explorer (ファイル エクスプローラ)	デバイス上のファイルを整理および管理します。
	ActiveSync	MC75A とホスト コンピュータまたは Exchange Server 間で情報を同期します。		Office Mobile	モバイル デバイスで Microsoft® Office アプリケーション スイートのすべてのアプリケーションを使用できます。 Excel Mobile OneNote Mobile PowerPoint Mobile Word Mobile
	Internet Sharing (インターネット共有)	MC75A のデータ接続を使用して、ノートブック コンピュータをインターネットに接続します。		Task Manager (タスク マネージャ)	メモリおよび CPU の割り当てを表示し、プロセスを停止します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。
	Search Phone (電話の検索)	MC75A 上の連絡先、データ、その他の情報を検索します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。		Wireless Companion Folder (Wireless Companion フォルダ)	Wireless Companion フォルダを開きます。
	Help (ヘルプ)	現在の画面またはプログラムのヘルプトピックを表示します。		AirBEAM Client	特別に設計されたソフトウェア パッケージをホスト サーバーと MC75A 間で転送できます。詳細については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。
	BT Information (BT に関する情報)	Bluetooth 無線に関する情報を表示し、Bluetooth アドレス バーコードを生成します。		BTScanner CtlPanel	COM ポートを Bluetooth スキャナとともに使用する設定を行います。
	BTE Explorer	BTE Explorer を使用して Bluetooth 接続を管理します。StoneStreet One Bluetooth スタックが有効な場合のみ利用できます。		Remote Desktop (リモート デスクトップ)	Windows NT サーバー環境のコンピュータにログオンして、そのコンピュータで使用可能なすべてのプログラムを MC75A から使用します。







表 2-3 [Start] (スタート) 画面のプログラムおよびフォルダ (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Modem Link (モデム リンク)	MC75A モデムとして使用できるように有効にします。		SMS Staging	SMS Staging メッセージを遮断し、元のステー징 プロファイルに再構築します。
	MSP Agent	MSP Agent と通信して、監視情報および資産情報を収集し、MC75A の構成、プロビジョニング、トラブルシューティングを行えるようにします。詳細については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。		Rapid Deployment Client	Mobility Services Platform Console FTP サーバーから MC75A ソフトウェアをダウンロードすることができます。詳細については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。
	SIM Toolkit (SIM ツールキット)	SIM カードに保存されている連絡先を管理します。SIM の内容を MC75A の Contacts (連絡先) にコピーします。		Search Widget (検索ウィジェット)	Microsoft アプリケーションを MC75A にインストールします。
	DEMO (デモ)	DEMO (デモ) アプリケーションを起動します。このアイコンは、DEMO (デモ) アプリケーションがインストールされた後に表示されます。			








Settings (設定) フォルダ

表 2-4 に、MC75A にあらかじめインストールされている設定アプリケーションを示します。**Settings** (設定) フォルダを開くには、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) の順にタップします。

表 2-4 Setting (設定) フォルダの設定アプリケーション

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Clock & Alarms (時計とアラーム)	デバイスの時計を自分の地域の日時に設定したり、出張時に出張先の日時に設定します。また、指定した曜日の時間にアラームを設定します。		Power (電源)	バッテリー残量を確認したり、バッテリー電力を節約するためにディスプレイをオフにするタイムアウトを設定します。
	Lock (ロック)	MC75A のパスワードを設定します。		Sounds & Notifications (サウンドと通知)	イベントや通知などのサウンドを有効にしたり、各イベントの通知の種類を設定します。
	Connections Folder (接続フォルダ)	接続アプリケーション (下記参照) が含まれます。		Today (今日)	[Today] (今日) 画面のデザインおよびそこに表示される情報をカスタマイズします。
	Personal Folder (個人フォルダ)	個人アプリケーション (下記参照) が含まれます。		Microsoft My Phone	MC75A の連絡先、カレンダー、タスク、テキストメッセージ、音楽、写真、ビデオ、ドキュメントを Microsoft My Phone アカウントと同期します。
	System Folder (システムフォルダ)	システム アプリケーション (下記参照) が含まれます。			

Connections Folder (接続フォルダ)

	Beam (ビーム)	受光 IrDA ビームを受信するように MC75A を設定します。		Connections (接続)	電話のダイヤルアップ、GPRS、Bluetooth など、1 つまたは複数の種類のモデム接続を設定して、デバイスがインターネットやブレイバート ローカル ネットワークにアクセスできるようにします。
	Bluetooth	Bluetooth アプリケーションを開き、MC75A を可視モードに設定し、範囲内の他の Bluetooth デバイスをスキャンします。		Domain Enroll (ドメインへの登録)	デバイス管理およびセキュリティのため、AD ドメイン メンバーに登録します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。
	Wi-Fi	無線ネットワーク接続をセットアップしたり、設定をカスタマイズします。		USB to PC (USB - PC)	拡張ネットワーク接続を有効または無効にします。
	Wireless Manager	MC75A の無線通信を有効または無効にしたり、Wi-Fi、Bluetooth の設定をカスタマイズします。			

Personal Folder (個人フォルダ)

	Buttons (ボタン)	Buttons (ボタン) にプログラムを割り当てます。		Owner Information (オーナー情報)	個人情報を MC75A に入力します。
---	---------------	------------------------------	---	----------------------------	---------------------

表 2-4 Setting (設定) フォルダの設定アプリケーション (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Input (入力)	各入力方法のオプションを設定します。		Phone (電話)	Phone (電話) の設定を行います。
System Folder (システム フォルダ)					
	About (バージョン情報)	Windows Mobile® のバージョンや MC75A に搭載されているプロセッサの種類などの基本的な情報を表示します。		Certificates (証明書)	MC75A にインストールされている証明書に関する情報を表示します。
	Backlight (バックライト)	ディスプレイのバックライトのタイムアウトを設定したり、輝度を調整します。		Customer Feedback (カスタマ フィードバック)	Windows Mobile 6 ソフトウェアに関するフィードバックを送信します。
	Error Reporting (エラー報告)	デバイスのエラー報告機能を有効または無効にします。この機能を有効にして、プログラムエラーが発生すると、プログラムとコンピュータの状態に関する技術データがテキスト ファイルに記録され、Microsoft のテクニカル サポートに送信するように選択した場合はそれが送信されます。		Encryption (暗号化)	ストレージ カード上のファイルを暗号化できます。暗号化されたファイルは、自分のデバイスでのみ読み取ることができます。
	External GPS (外部 GPS)	必要に応じて、適切な GPS 通信ポートを設定します。デバイス上に GPS データにアクセスするプログラムがある場合、または GPS レシーバをデバイスに接続する場合に、この設定を行う必要があります。		HAC Settings (HAC 設定)	電話の HAC 機能を制御します。
	GPS Setup (GPS のセットアップ)	GPS SUPL 情報を表示します。		IST Settings (IST 設定)	インタラクティブなセンサー テクノロジーを構成するための適切な設定を行います。
	Managed Programs (管理プログラム)	Mobile Device Manager を使用して MC75A にインストールされたプログラムを表示します。		Keylight (キーライト)	キーボードのバックライトのタイムアウトを設定します。
	Memory (メモリ)	デバイスのメモリ割り当てステータスとメモリ カードの情報を確認したり、現在実行中のプログラムを停止します。		Regional Settings (地域)	数字、通貨、日付、時刻の表示形式など、MC75A で使用する地域設定を行います。
	Phone Info (電話情報)	電話情報を表示します。		Remove Programs (プログラムの削除)	MC75A にインストールしたプログラムを削除します。
	System Info (システム情報)	MC75A のソフトウェアおよびハードウェア情報を表示します。		Screen (スクリーン)	スクリーンの向きを変更したり、スクリーンを調整したり、スクリーンのテキストのサイズを変更します。
	Task Manager (タスク マネージャ)	プログラムの実行を停止します。		Trigger Settings (トリガ設定)	MC75A によるスナップオントリガ ハンドルの使用を有効にします。

音量の調節

ナビゲーション バーの **Speaker** (スピーカ) アイコンを使用して、システムの音量を調節するには、

1. **Speaker** (スピーカ) アイコンをタップします。**[Volume]** (音量) ダイアログ ボックスが表示されます。



図 2-8 [Volume] (音量) ダイアログ ボックス

2. スライド バーをタップして移動し、音量を調節します。
3. **[On]** (オン) または **[Off]** (オフ) ラジオ ボタンを選択して、音量のオン/オフを切り替えます。

[Sounds & Notifications] (サウンドと通知) ウィンドウまたは MC75A の側面の上/下ボタンを使用してシステムの音量を調節することもできます。

バッテリー ステータス表示

Battery (バッテリー) アイコンは、ナビゲーション バーに表示され、バッテリー電力の残量を示します。メイン バッテリーまたはバックアップ バッテリーの残量が定義済みのレベルを下回ると、アイコンによりステータスが示され、メイン バッテリーまたはバックアップ バッテリーのステータスを示すバッテリー ダイアログ ボックスが表示されます。

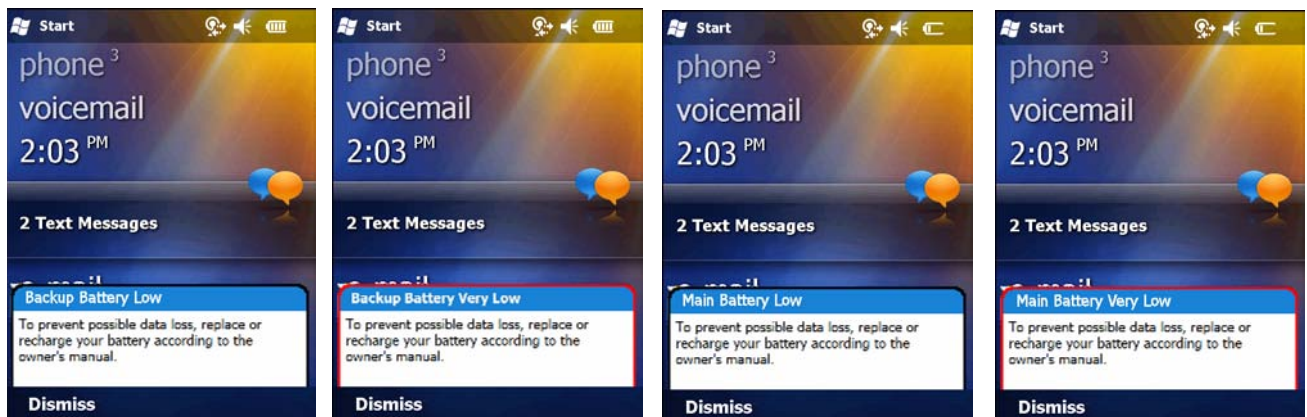


図 2-9 バッテリー ステータス ダイアログ ボックス

[Today] (今日) 画面が表示されている場合、**Battery** (バッテリー) アイコンは常にナビゲーション バーに表示されます。このアイコンは、バッテリー電力の残量を示します。メッセージは、**[Dismiss]** (消去) ボタンを押すまで表示されます。



図 2-10 タイトル バー上の Battery (バッテリー) アイコン

[Power] (電源) ウィンドウでバッテリーのステータスを確認することもできます。

バッテリー確保オプション

バッテリーの残量がしきい値に達すると、MC75A はシャットダウンします。このしきい値は変更できますが、データを維持することが可能な時間に影響を与えます。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **Power** (電源) アイコン > **[RunTime]** (ランタイム) タブをタップします。警告メッセージが表示されます。



図 2-11 警告メッセージ

2. 警告メッセージを読んで、**[OK]** をタップします。

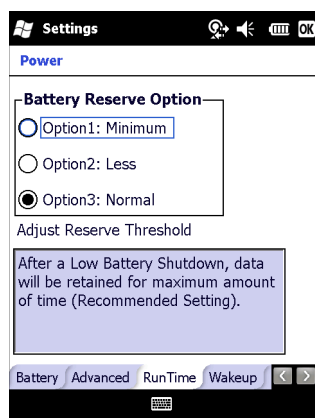


図 2-12 [RunTime] (ランタイム) タブ

3. いずれかの**バッテリー確保オプション**を選択します。
 - **Option 1: Minimum** (オプション 1: 最少) - バッテリー残量低下によるシャットダウンの後、データは最少時間維持されます。データが失われないように直ちにバッテリーを交換する必要があります。
 - **Option 2: Less** (オプション 2: 小) - バッテリー残量低下によるシャットダウンの後、データは標準時間よりも少ない時間維持されます。
 - **Option 3: Normal** (オプション 3: 標準) - バッテリー残量低下によるシャットダウンの後、データは標準時間維持されます。
4. **[OK]** をタップします。

メイン バッテリーの温度通知

温度通知システムは、バッテリーの内部温度が特定の温度しきい値を超えたときに 3 つのレベルの通知を表示します。

- **レベル 1: Temperature Watch** (温度監視) - このレベルは、メイン バッテリーの残量が少なくなったときの警告と似ています。バッテリー温度が最初のしきい値レベルに達したことを示します。適切な動作温度の環境に移動する必要があります。
- **レベル 2: Temperature Warning** (温度警告) - このレベルは、メイン バッテリーの残量が非常に少なくなったときの警告と似ています。バッテリー温度が 2 番目のしきい値レベルに達したことを示します。MC75A の使用を停止する必要があります。
- **レベル 3: Temperature Error** (温度エラー) - バッテリーが使用不能な温度しきい値に達したことを示し、直ちに MC75A をサスペンドします。このレベルでは、画面に通知は表示されません。



図 2-13 [Main Battery Temperature Watch] (メイン バッテリー温度監視) ダイアログ ボックス



図 2-14 [Main Battery Temperature Warning] (メイン バッテリー温度警告) ダイアログ ボックス



注 [Temperature Warning] (温度警告) ダイアログ ボックスは、[Hide] (非表示) をタップするまで表示され続けます。

LED インジケータ

MC75A には、3 つの LED インジケータがあります。スキャン/読み取り LED は、バーコードのスキャンのステータスを示します。充電/バッテリー状態 LED は、バッテリーの残量と状態を示します。3 番目の LED は、プログラム可能なアプリケーションです。

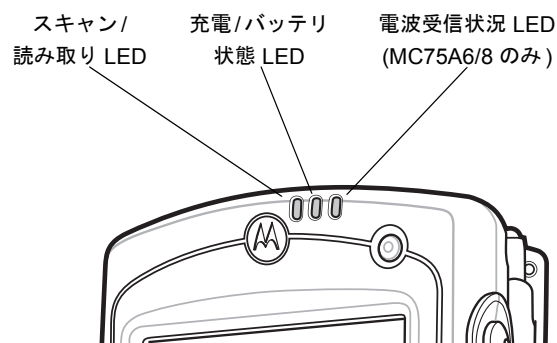


図 2-15 LED インジケータ

表 2-5 LED インジケータ

LED の状態	意味
スキャン/読み取り LED	
緑色の点灯	読み取り/収集が正常に完了しました。
赤色の点灯	レーザは有効になっており、スキャン/イメージングを実行中です。
赤色の点滅	MC75A がサスペンドモードになります。
消灯	無効。
充電/バッテリー状態 LED	
黄色でゆっくり点滅	MC75A 内のメインバッテリーを充電中です。
黄色で点灯	MC75A 内のメインバッテリーがフル充電されました。
黄色で速く点滅	充電エラー。
消灯	充電なし。
黄色で 1 回点滅 (電源ボタンを押したとき)	バッテリーが完全に放電しています。
黄色で点滅 (電源ボタンを押したとき)	バッテリーが過熱状態になっています。
電波受信状況 LED	
緑色でゆっくり点滅	WAN 無線通信がオン。
消灯	WAN 無線通信がオフ。



注 スキャン/読み取りについては、[第 3 章の「データ収集」](#)を参照してください。WAN 無線通信の状態と設定については、[第 4 章の「電話の使用」](#)を参照するか、『MC75A Enterprise Digital Assistant Integrator Guide』を参照してください。

MC75A のリセット

ウォーム ブートとコールド ブートの 2 つのリセット機能があります。ウォーム ブートは、実行中の全プログラムを終了して MC75A を再起動します。コールド ブートも MC75A を再起動しますが、この場合はクロックもリセットされます。フラッシュ メモリやメモリ カードに保存したデータは失われません。

MC75A が正常に機能していない場合は、まずウォーム ブートを実行します。それでも MC75A が応答しない場合は、コールド ブートを実行します。

ウォーム ブートの実行

電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。MC75A が起動を開始したら、電源ボタンを放します。

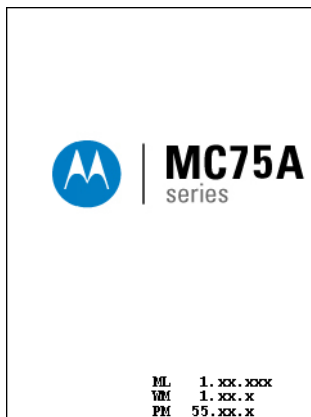


図 2-16 ウォーム ブート起動画面

コールド ブートの実行

コールド ブートを実行するには、電源ボタン、[1] キー、および [9] キーを同時に押します。



図 2-17 コールド ブート起動画面

MC75A のウェイクアップ

ウェイクアップ条件によって、モバイル コンピュータがサスペンド モードになった後に、それをウェイクアップする操作を定義します。モバイル コンピュータは、電源ボタンを押した場合に、または **[Control Panel]** (コントロール パネル) のタイムアウト設定によって自動的に、サスペンド モードになります。これらの設定は変更可能です。示されている工場出荷時のデフォルト設定は、変更/更新されることがあります。

表 2-6 ウェイクアップのデフォルト設定

ウェイクアップの条件	電源ボタン	自動タイムアウト
AC 電源が供給された。	ウェイクアップしない	可
モバイル コンピュータをクレードルにセットした。	ウェイクアップしない	可
モバイル コンピュータをクレードルから取り外した。	ウェイクアップしない	可
モバイル コンピュータを USB デバイスに接続した。	ウェイクアップしない	可
モバイル コンピュータを USB デバイスから切断した。	ウェイクアップしない	可
キーを押した。	ウェイクアップしない	可
スキャン トリガを押した。	ウェイクアップしない	可
スクリーンをタッチした。	ウェイクアップしない	ウェイクアップしない
オーディオ ジャック	ウェイクアップしない	ウェイクアップしない
オーディオ ボタン	ウェイクアップしない	ウェイクアップしない
Bluetooth 通信	可	可
電話の着信	可	可
移動中	ウェイクアップしない	可

MC75A のロック

デバイス ロック機能を使用して、デバイスが使用されないようにします。ロックすると、MC75A はスクリーンまたはキーパッドでの入力に応答しなくなります。

MC75A をロックするには、**[Start]** (スタート) > **[Lock]** (ロック) をタップします。**[Lock]** (ロック) 画面が表示されます。

MC75A のロックを解除するには、**[Lock]** (ロック) ボタンを左から右にスライドします。



図 2-18 **[Unlock]** (ロック解除) デバイス ウィンドウ

MC75A がパスワードでロックされている場合は、パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

パスワード ロック

[Password] (パスワード) ウィンドウでパスワードを設定し、MC75A への不正なアクセスを防止します。

- ✓ **注** ネットワークに接続できるよう設定されている場合は、強力な（解読されにくい）パスワードを設定してネットワークのセキュリティを保護します。パスワード解読ツールは日々向上しており、パスワードの解読に使用されるコンピュータはかつてないほど性能がよくなっています。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **Lock** (ロック) アイコン > **[Password]** (パスワード) タブをタップします。

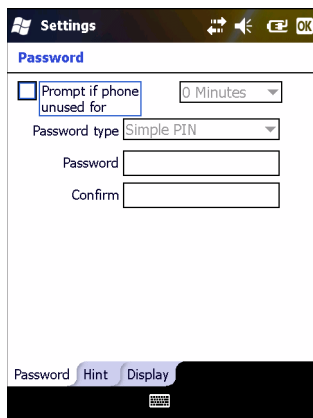


図 2-19 **[Password]** (パスワード) ウィンドウ - **[Password]** (パスワード) タブ

2. **[Prompt if device unused for]** (パスワード入力が必要になるまでの時間) チェックボックスをオンにして、パスワード保護を有効にします。
3. アイドル状態からパスワード保護を有効にするまでの時間をドロップダウン リストから選択します。

4. **[Password type:]** (パスワード タイプ:) ドロップダウン リストから、**[Simple PIN]** (数字の簡易パスワード) または **[Strong alphanumeric]** (強力な英数字のパスワード) のいずれかを選択します。
5. 簡易パスワードの場合は、4 桁のパスワードを **[Password]** (パスワード) フィールドに入力します。
強力なパスワードの場合は、
 - a. **[Password:]** (パスワード:) フィールドに 7 文字のパスワードを入力します。強力なパスワードは 7 文字以上で、大文字、小文字、数字、句読点から 3 種類以上を含める必要があります。
 - b. **[Confirm:]** (確認:) フィールドにパスワードを再入力します。
6. **[OK]** をタップします。
7. パスワードを思い出すためのヒントを設定するには、**[Hint]** (ヒント) タブをタップします。
8. テキスト ボックスにパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
9. **[OK]** をタップします。

一定時間使用されていなかった MC75A にアクセスしようすると、**[Password]** (パスワード) ウィンドウが表示されます。このウィンドウは、MC75A がクレードルまたは通信ケーブル経由でホスト コンピュータに接続されるときにも表示されます。



図 2-20 **[Enter Password]** (パスワードの入力) ウィンドウ

ロックを解除するパスワードを入力します。

[Unlock] (ロック解除) ボタンをタップしてデバイスのロックを解除して **[Today]** (今日) 画面に移動するか、**[Contact]** (連絡先) ボタンをタップしてデバイスのロックを解除して **[Contacts]** (連絡先) ウィンドウに移動するか、**[Email]** (電子メール) ボタンをタップしてデバイスのロックを解除し、**[Messaging]** (メッセージング) ウィンドウに移動します。

機能ボタン

- ✓ 注 MC75A がロックされている場合でも、緊急通話は行えます。詳細については、4-7 ページの「緊急通話をかける」を参照してください。

MC75A のボタンは、特定の機能を実行します。

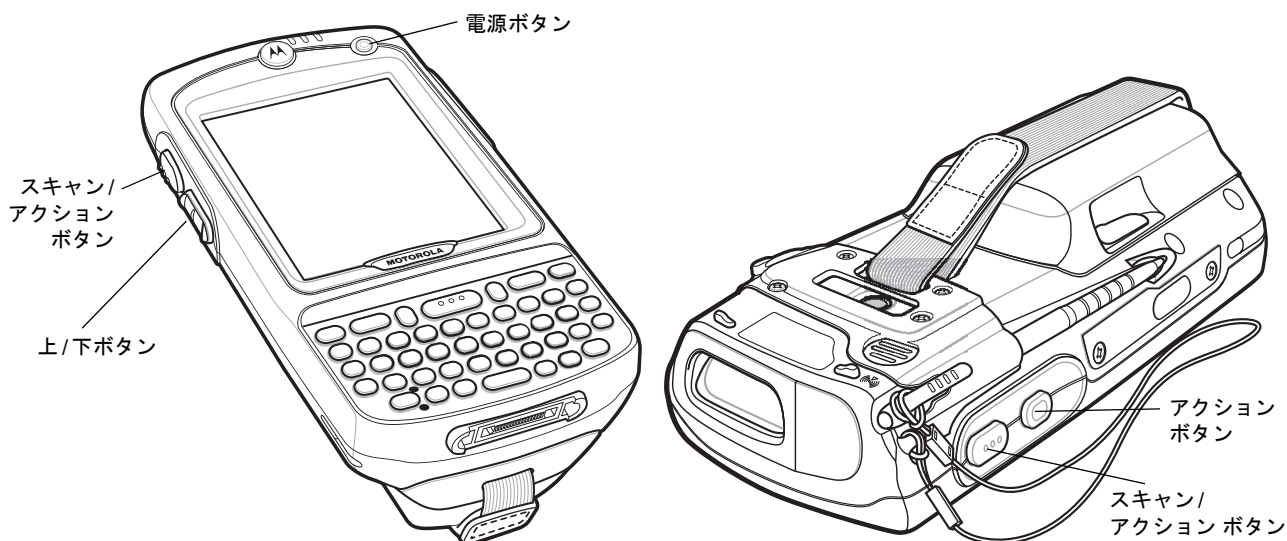


図 2-21 機能ボタン

- 電源: 赤色の電源ボタンを押すと、MC75A の画面のオン/オフが切り替わります。画面がオフになっている場合、MC75A はサスペンドモードになっています。詳細については、1-7 ページの「MC75A の電源の入れ方」を参照してください。電源ボタンは、ウォームブートまたはコールドブートを実行して MC75A をリセットする際にも使用します。2-16 ページの「MC75A のリセット」を参照してください。
- スキャン/アクション: バーコードをスキャンしたり、画像をキャプチャする場合に押します。第 3 章の「データ収集」を参照してください。
または、アプリケーションを開いたり、機能を実行する場合に押します。開くアプリケーションの設定方法については、『Microsoft® Applications for Mobile 6 User Guide』を参照してください。
- 上/下: MC75A の音量を調節する場合に押します。
- アクション: アプリケーションを開いたり、機能を実行する場合に押します。開くアプリケーションの設定方法については、『Microsoft® Applications for Mobile 6 User Guide』を参照してください。

スタイラス

MC75A のスタイラスを使用して、項目を選択したり、情報を入力します。スタイラスはマウスと同様に機能します。

- **タップ:** オプション ボタンを押したり、メニュー項目を開くには、スタイラスでスクリーンを 1 回タッチします。
- **タップして押し続ける:** ある項目で実行可能な操作の一覧を表示するには、スタイラスでその項目をタップして押し続けます。表示されるポップアップ メニューで、実行する操作をタップします。
- **ドラッグ:** テキストや画像を選択するには、スタイラスでスクリーンをタップして、スタイラスを押したままドラッグします。複数の項目を選択するには、リストにドラッグします。

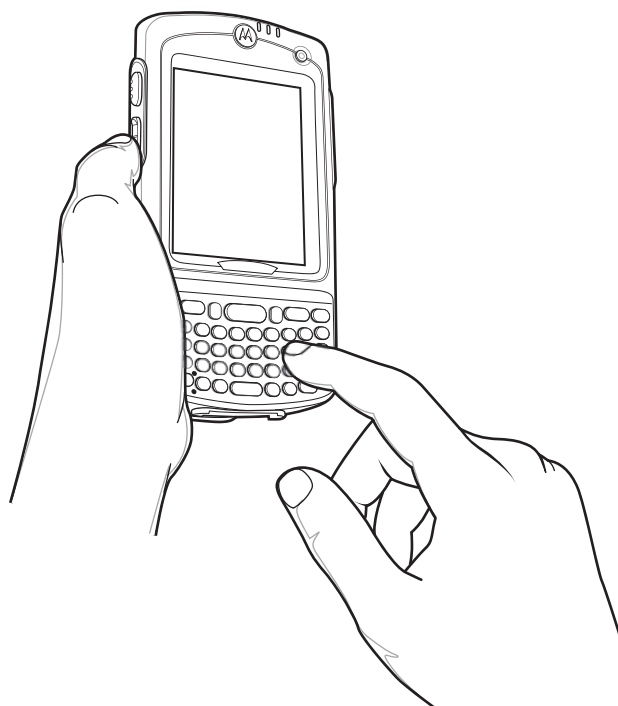
✓ **注** スクリーン上に書く際には、スタイラスのスプリング付きの先端を使用し、スクリーンをタップする際には、スタイラスの後端を使用してください。電源ボタンとキーパッドのボタンは、指で押してください。



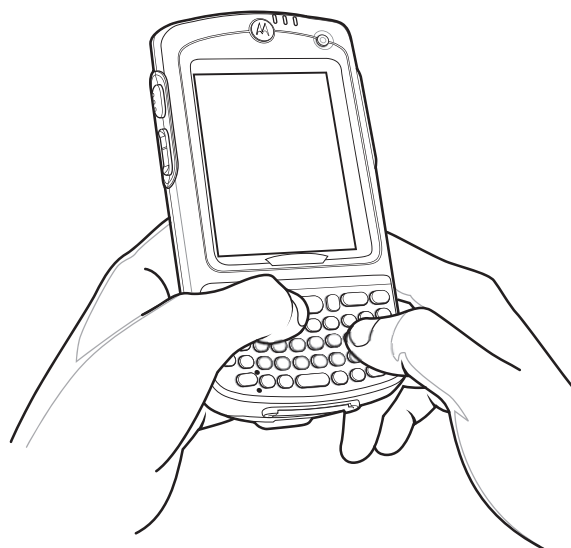
注意 画面を傷めないように、Motorola 製のスタイラス以外は使用しないでください。

データの入力

キーパッドでデータを入力する際には、片手または両手で入力します (図 2-22 を参照)。



片手での操作



両手での操作

図 2-22 キーパッドでのデータの入力

インタラクティブなセンサー テクノロジ

ここでは、MC75A でのインタラクティブなセンサー テクノロジ (IST) 機能の使用方法について説明します。

IST は以下の機能をサポートしています。

- パワー マネージメント – IST を設定しバックライトのオン/オフ スイッチを制御して電源を管理したり、動きや向きを監視して MC75A のサスペンド モードを制御します。
- ディスプレイの向き – MC75A の向きに応じてスクリーンの向きをランドスケープまたはポートレイトに切り替えます。
- 自由落下検出 – 自由落下の期間を監視して、落下の時間とタイプを記録します。

パワー マネージメント

MC75A の向きと動きを感知するデータは、MC75A の使用状況のインジケータとして使用したり、バッテリー残量の監視に使用したりできます。たとえば、ユーザーがスクリーンを下向きに置くジェスチャに応じて、バックライトのオン/オフ機能を制御したり、サスペンド状態にしたりするように、IST を構成できます。また、この機能を使用して、移動中でも MC75A をアクティブにし、使用中にサスペンド モードになったりしないようにすることができます。

ディスプレイの向き

スクリーンは、MC75A の物理的な向きに応じて、自動的にポートレイトとランドスケープの間を回転させることができます。たとえば、MC75A を 90° 反時計回りに回転させると、IST はディスプレイが正しく表示されるようにディスプレイを反時計回りに 90° 回転させます。

この機能は、スクリーンの角度を監視し、変更に対応するようにディスプレイを回転させることにより実現しています。IST では、スクリーンは 90° の倍数でのみ回転します。

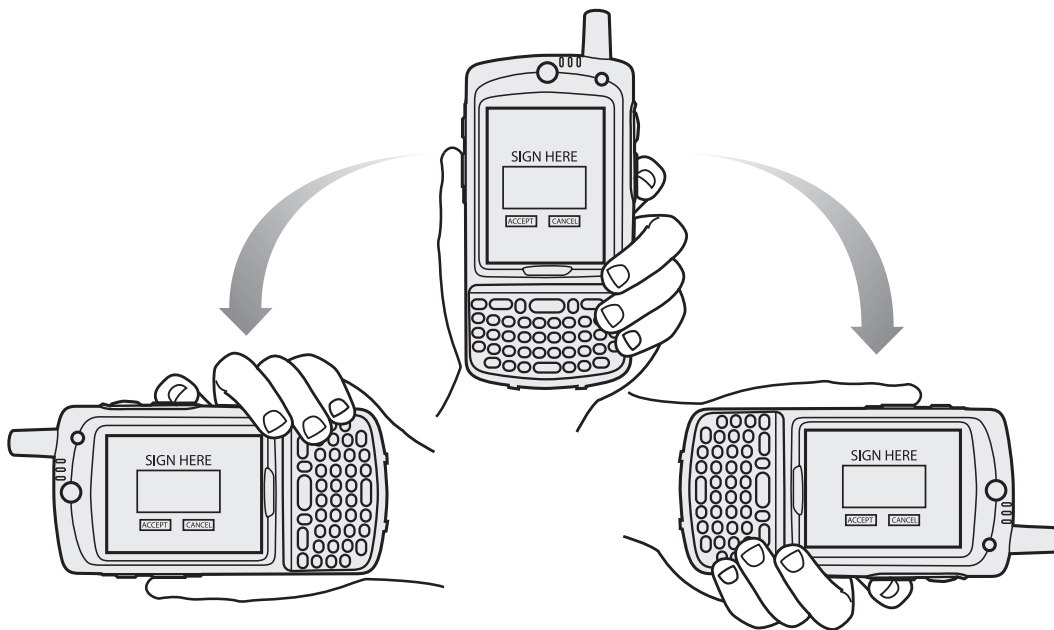


図 2-23 ディスプレイの向き

自由落下検出

IST は、MC75A にかかる重力を現在の位置に応じて継続的に監視します。MC75A が自由落下すると、IST は重力がかかっていないことを検出します。1 メートル近くの落下に相当する 450 ミリ秒を超える自由落下を検出した場合、そのイベントのデータを記録します。このデータは、乱用または誤用の可能性を示すインジケータとして使用できます。

IST には、自由落下のイベントを記録するログ機能が備わっています。このログには、日時と自由落下の時間の長さが記録されます。

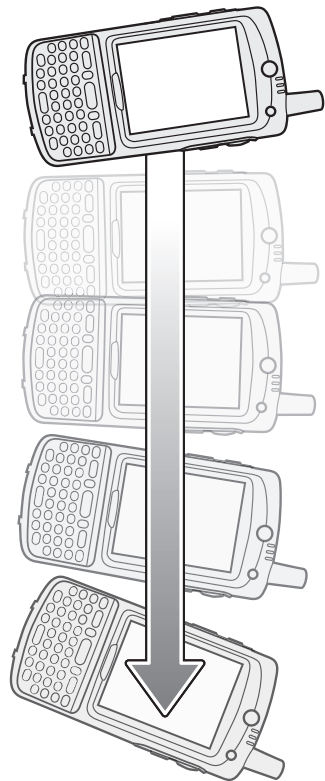


図 2-24 自由落下検出

写真の撮影

写真を撮影するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **Pictures & Videos** (画像とビデオ) アイコンをタップします。
2. コマンド バーで **[Camera]** (カメラ) をタップします。
3. ビュー ファインダーで画像を確認して、必要に応じて調整します。
4. **Enter** キーを押して、写真を撮影します。カメラのフラッシュが点灯するか、シャッター音ができるまでそのままの状態 MC75A を持ち続けます。

ビデオの録画

ビデオ クリップを録画するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **Pictures & Videos** (画像とビデオ) アイコンをタップします。
2. コマンド バーで **[Camera]** (カメラ) をタップします。
3. **[Menu]** (メニュー) > **[Video]** (ビデオ) をタップして、ビデオ撮影モードを設定します。

録画可能な時間が画面に表示されます。

✓ 注 デフォルトでは、ビデオの録画時間は 30 秒に設定されています。

4. **Enter** キーを押して録画を開始します。
もう一度 **Enter** ボタンを押すと録画が終了します。

写真やビデオの表示

✓ 注 写真やビデオの詳細については、『Microsoft Applications User Guide for Mobile 6』(p/n 72E-108299-xx) を参照してください。

写真やビデオ クリップを表示するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **Pictures & Videos** (画像とビデオ) アイコンをタップします。
2. 表示する画像またはビデオ クリップをタップします。

IrDA の使用

Microsoft Windows Mobile プログラム (Messaging を除く) の Picture & Videos (画像とビデオ) では、赤外線または Bluetooth のいずれかを使用してファイルを交換できます。

✓ 注 また、**[File Explorer]** (ファイル エクスプローラ) ウィンドウからファイル (フォルダは不可) を送信することもできます。送信する項目をタップして押し続け、ポップアップ メニューで **[Beam File]** (ファイルをビームする) をタップします。

他の IrDA デバイスとファイルを交換する前に、ビーム機能を有効にしてください。

ビーム機能を有効にするには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **Connections** (接続) フォルダ > **Beam** (ビーム) アイコンをタップします。

2. **[Receive all incoming beams]** (すべての着信ビームを受信します) チェック ボックスをタップします。

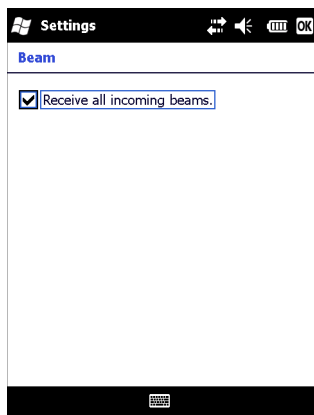


図 2-25 ビーム ウィンドウ

3. **[OK]** をタップします。

赤外線接続

赤外線を使用して、MC75A と近くにある他の IrDA デバイス間でファイル交換を行うことができます。

IR 接続を使用したファイル交換

MC75A と他のデバイスの IrDA 機能が有効になっていることを確認します。

IrDA 接続経由でファイルを送信するには、次の手順に従います。

1. 送信する項目を作成したプログラムに切り替えて、リストで項目を選択します。

✓ **注** IrDA ウィンドウを遮らないでください。

2. MC75A の IrDA ポートを IrDA デバイスのポートに近づけて、遮るものがないようにしてポートを揃えます。

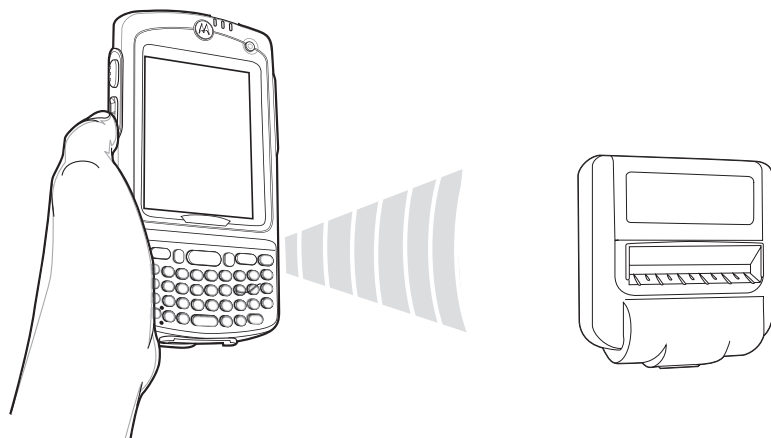


図 2-26 MC75A と IrDA デバイスの整列

3. 項目をタップして押し続け、ポップアップ メニューで **[Beam [type of item]]** ([項目の種類] をビーム) をタップします。
4. ファイルの送信先のデバイスをタップします。

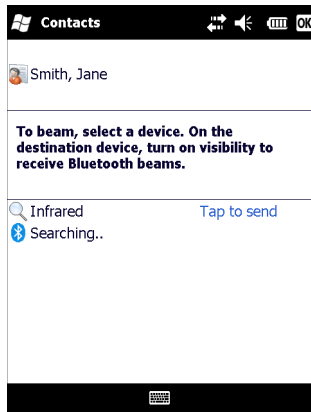


図 2-27 連絡先の送信

IrDA 接続経由でファイルを受信するには、次の手順に従います。

1. MC75A の IrDA ポートを他の IrDA デバイスのポートに近づけて、遮るものがないようにしてポートを揃えます。
2. 他のデバイスで、MC75A にファイルを送信します。



図 2-28 ファイルの受信

3. [Receiving Data] (データを受信中) ダイアログ ボックスが表示されたら、[Yes] (はい) をタップします。

第3章 データ収集

はじめに

MC75A には、次の 3 種類のデータ収集オプションがあります。

- レーザ スキャン
- イメージング
- カラー デジタル カメラ



注 データ収集を実行するには、スキャン対応アプリケーションが MC75A にインストールされている必要があります。サンプルのスキャン アプリケーションを Motorola Support サイト (<http://support.symbol.com>) からダウンロードすることができます。

レーザ スキャン

統合レーザ スキャナ搭載の MC75A は、次の機能を備えています。

- 最も一般的な 1-D コードを含む、各種バーコード シンボルの読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な照準機能。

スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能ないくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- 範囲

スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。

範囲内でスキャンすることで、すばやく信頼性の高い読み取りを実行できます。近すぎたり遠すぎると、正しく読み取ることができません。スキャナ近づけたり遠ざけて、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。

- 角度
スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。
- 大きなシンボルの場合は、MC75A を離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合は、MC75A を近づけてください。

✓ **注** スキャン手順は、アプリケーションと MC75A の構成によって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が上記とは異なる場合があります。

バーコードスキャナ

1. スキャン対応アプリケーションが MC75A にインストールされていることを確認します。

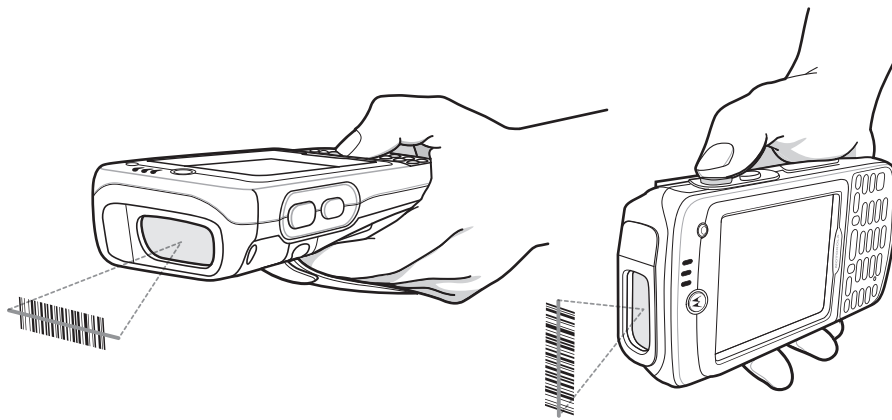


図 3-1 リニア スキャン

2. スキャン ボタンを押し続けます。レーザー光が MC75A の先端から照射されます。赤色のスキャン光線がバーコード全体をカバーしていることを確認します。スキャン/読み取り LED が赤色で点灯し、スキャン中であることを示します。その後、緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

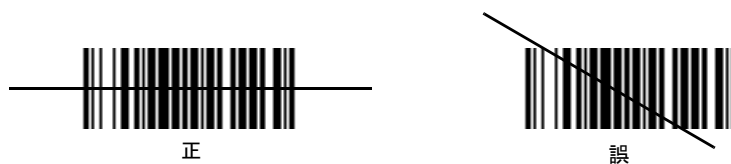


図 3-2 リニア スキャナの照準パターン

3. スキャン ボタンを放します。

イメージング

統合イメージャー搭載の MC75A は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニアコード、ポスタルコード、PDF417コード、2Dマトリックスコードを含む、各種バーコードシンボルの無指向読み取り。
- 画像を収集して、各種画像処理アプリケーションで処理するためにホストにダウンロードする機能。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能レーザ照準機能。

イメージャーは、デジタルカメラの技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

動作モード

統合イメージャー搭載の MC75A は、次の 3 つの動作モードをサポートしています。各モードは、トリガを引くか、スキャンボタンを押して有効にします。

- 読み取りモード: このモードでは MC75A は、読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。トリガを引いている間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャーはこのモードのままになります。



注 ピックリストモードを有効にするには、<http://support.symbol.com> から Control Panel (コントロールパネル) アプレットをダウンロードしてください。ピックリストは、API コマンドを使用してアプリケーション内で設定することもできます。

- ピックリストモード: このモードでは、MC75A の読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合に、選択的にバーコードを読み取ることができます。選択的に読み取るには、目的のバーコードに照準の十字を合わせて、そのバーコードのみを読み取ります。この機能は、複数のバーコードが含まれているピックリストや、複数のタイプ (1D または 2D) のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。
- 画像読み取りモード: このモードは、MC75A の読み取り幅内にある画像を読み取るのに使用します。この機能は、署名を収集したり、損傷した箱の画像などを収集するのに便利です。

イメージャー スキャン

1. スキャン対応アプリケーションが MC75A にインストールされていることを確認します。

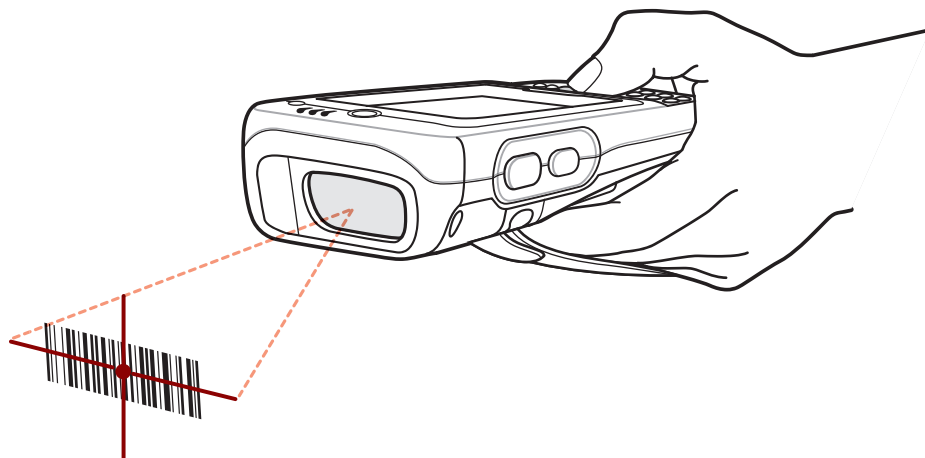


図 3-3 イメージャー スキャン

2. スキャン ボタンを押し続けます。照準を合わせるための赤色のレーザ照準パターンがオンになります。照準パターンのブラケット内の領域にバーコードが納まっていることを確認します。スキャン/読み取り LED が赤色で点灯し、スキャン中であることを示します。その後、緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。MC75A がピックリストモードの場合、十字の照準がバーコードに当たるまでイメージャーはバーコードを読み取りません。

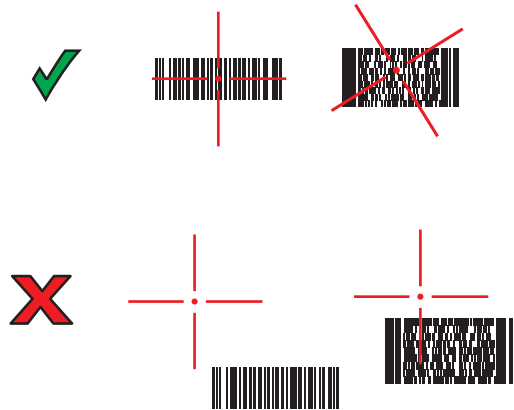


図 3-4 イメージャーの照準パターン

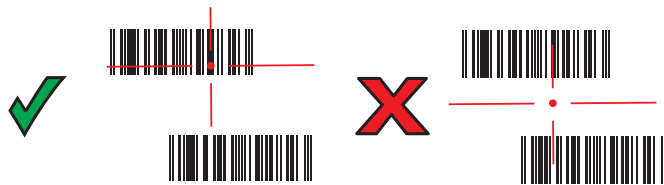


図 3-5 複数のバーコードがある場合のピック リスト モード

3. スキャン ボタンを放します。



注 イメージャーの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、デジタル写真 (画像) を撮影する手順が繰り返されます。

カラー デジタル カメラ

統合カラー デジタル カメラ搭載の MC75A は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコードシンボルの無指向読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能照準機能。

デジタル カメラによるスキャン

1. スキャン対応アプリケーションが MC75A にインストールされていることを確認します。
2. MC75A の背面にあるカメラのレンズをバーコードに向けます。
3. スキャン ボタンを押し続けます。ディスプレイ ウィンドウにプレビュー ウィンドウが表示され、中央に赤い照準が表示されます。スキャン/読み取り LED が赤色で点灯し、スキャン中であることを示します。

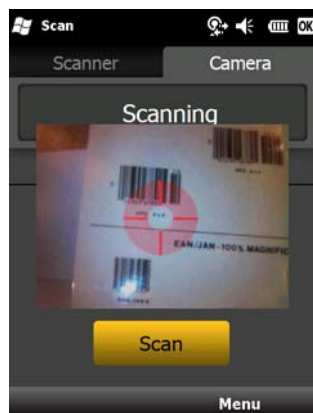


図 3-6 プレビュー ウィンドウを備えたサンプルのスキャン アプリケーション

4. スキャンするバーコードに赤色の照準が当たるように MC75A を動かします。MC75A がバーコードを読み取れるようになると、照準が緑色に変わります。

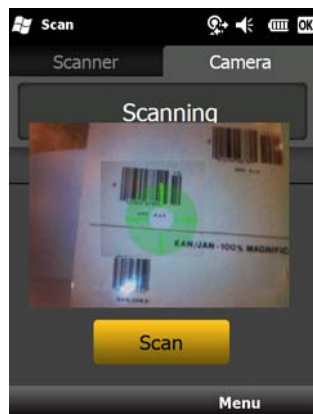


図 3-7 デジタル カメラによるスキャン

5. スキャン ボタンを放します。スキャン/読み取り LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

✓ **注** カメラ デコード機能は、デフォルトでバーコードの読み取り時に自動的にデコードするように設定されています。この機能は、デコードが正常に行われた場合に緑色の照準を表示してバーコードが正しくデコードされ、スキャン ボタンを離すように示すようにプログラムできます。

第 4 章 電話の使用

はじめに

MC75A を使用して、電話をかけたり、短縮番号を設定したり、通話を管理したり、テキストメッセージを送信したりすることができます。また、無線サービス プロバイダによっては、音声メール、通話転送、発信者 ID などのサービスが提供されていることもあります。

また、統合されている電話機能を使用して、ISP や企業ネットワークに接続して、Web を閲覧したり電子メールを読むこともできます。インターネットや企業ネットワークには、セルラー回線を使用して High-Speed Downlink Packet Access (HSDPA) (MC75A6) または Evolution Data-Optimized (EvDO) (MC75A8) で接続するか、モバイル オペレータによって指定されたモデムを使用して接続します。MC75A の電話機能の詳細、および電話機能の設定を変更してカスタマイズする方法については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。

電話キーパッドへのアクセス

✓ 注 キーパッドは、キャリア、サービス、電話の状態によって異なります。たとえば、アクティブな通話を保留にするには、通話を保留にして [Swap] (切り替え) を選択します (4-20 ページの「MC75A6 での会議通話」を参照してください)。

使用しているプログラムにかかわらず、キーパッドにアクセスできます。MC75A 上のアプリケーションは、通話中も使用できます。



図 4-1 電話キーパッド

電話キーパッドにアクセスするには、**[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押します。

MC75A がサスペンド モードになっているときに電話を受けるには、電話の無線をオンのままにしておき、任意のキーでウェイクアップするように MC75A を設定します。

電話のオン/オフの切り替え

Windows Mobile 6 デバイスには **Wireless Manager** が搭載されていて、これを使用して簡単に電話のオン/オフを切り替えることができます。

Wireless Manager を開くには、**Connectivity** (接続) アイコンをタップします。

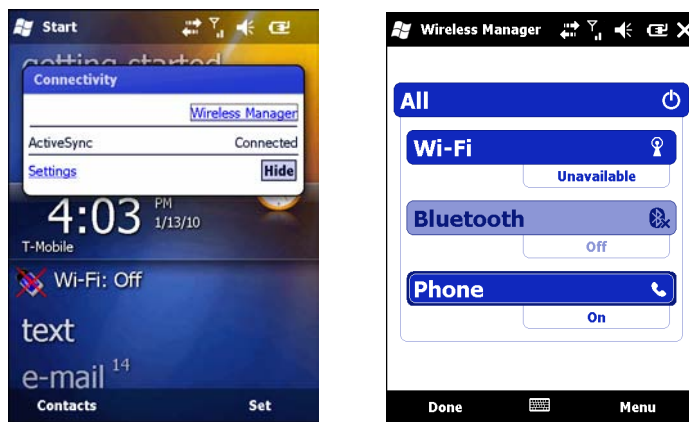


図 4-2 Wireless Manager の開き方

[Wireless Manager] を選択します。**[Wireless Manager]** ウィンドウが表示されます。

電話のオン/オフを切り替えるには、青色の **[Phone]** (電話) バーをタップします。

接続の設定を行うには、**[Menu]** (メニュー) > **[Phone Settings]** (電話の設定) をタップします。

✓ **注** デバイスがサスペンド モードになっているときに電話を受けるには、電話をオンのままにしておきます。

音声モード

MC75A は、3つの通話音声モードを備えています。

- ハンドセット モード: MC75A の前面上部にあるスピーカから音声が出力され、MC75A をハンドセットとして使用できます。これがデフォルトのモードです。
- スピーカ モード: MC75A をスピーカホンのように使用できます。このモードにするには、**[Speaker On]** (スピーカ オン) ボタンをタップします。ハンドセット モードに戻すには、**[Speaker Off]** (スピーカ オフ) ボタンをタップします。
- ヘッドセット モード: 有線ヘッドセットまたは Bluetooth ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

MC75A のデフォルトのモードは、ハンドセット モードです。有線ヘッドセットを MC75A のオーディオ コネクタに差し込むか、MC75 で Bluetooth ヘッドセットを使用できるように構成されている場合、イヤホンとスピーカがミュートになり、音声はヘッドセットから出力されます。

✓ **注** Bluetooth ヘッドセットを使用して通話しているときには、モバイル コンピュータはサスペンド モードになりません。



ハンドセット モード



スピーカ モード



ヘッドセット モード

図 4-3 音声モード

有線ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、ステレオ ヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットのジャックを MC75A の側面にあるオーディオ コネクタに差し込みます。ヘッドセットを装着する前に、MC75A の音量を適切に調節します。ヘッドセットのジャックをプラグに差し込むと、スピーカはミュートになります。

最高音質を得るためにも、2.5mm ジャック ヘッドセットを使用することをお勧めします。第 7 章の「アクセサリ」を参照してください。

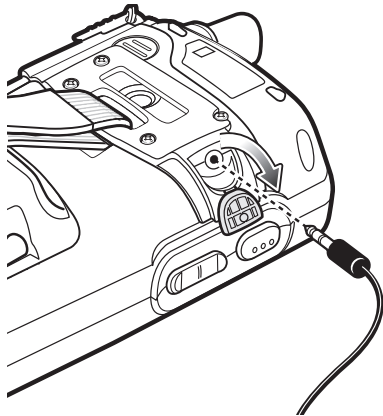


図 4.4 ヘッドセットの使用

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。Bluetooth ヘッドセットを MC75A に接続する方法については、[第 6 章の「Bluetooth の使用」](#)を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、MC75A の音量を適切に調節します。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカはミュートになります。

Headset (ヘッドセット) プロファイルではなく、Bluetooth Hands-free (Bluetooth ハンズフリー) プロファイルを使用して通話することをお勧めします。詳細については、[第 6 章の「Bluetooth の使用」](#)を参照してください。



注 Bluetooth ヘッドセットを使用して通話しているときには、MC75A の電源ボタンは無効になり、サスペンド モードになりません。通話が終了すると、電源ボタンが有効になります。

Bluetooth ヘッドセットの接続が確立されると、次のダイアログ ボックスが表示されます。



図 4-5 [WWAN Bluetooth Audio Notification] (WWAN Bluetooth 音声通知) ダイアログ ボックス

音量の調節

通話していないときの呼び出し音、および通話中の音声の音量を調節するには、Volume Control Slider (音量調節スライダ) またはキーパッドのキーを使用します。



図 4-6 Phone Volume Slider (電話音量調節スライダ)

音量を調節するには、タイトルバーの **Speaker** (スピーカ) アイコンをタップします。スライダを上下に動かして、音量を調節します。

- ✓ **注** 通話音量は、通話中に調節してください。通話していないときに音量を調節すると、呼び出し音および通知音の音量が変わります。

電話をかける

- ✓ **注** MC75A がロックされている場合、または SIM カードが装着されていない場合でも、緊急通話は可能です。詳細については、[4-7 ページの「緊急通話をかける」](#)を参照してください。

MC75A では、電話ダイヤラ、連絡先、短縮ダイヤル、および通話履歴から電話をかけることができます。

電話ダイヤラの使用

電話キーパッドを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、電話番号をタップします。
3. **[Talk]** (通話) をタップします。
4. ダイヤル操作を終了したり通話を終了するには、**[End]** (終了) をタップします。

- ✓ **注** また、MC75A のキーパッドの電話キーを使用してダイヤルしたり (緑色の電話キー)、通話を終了する (赤色の電話キー) こともできます。

電話番号を間違えて入力した場合は、**[Delete]** (削除) キーをタップして、カーソルの後ろにある番号を 1 つずつ消去できます。電話番号全体を消去するには、**[Delete]** (削除) キーをタップして押したままにします。

連絡先の使用

連絡先を使用することで、電話番号を探したり入力することなく電話をかけることができます。

連絡先から電話をかけるには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Contacts]** (連絡先) をタップします。
2. 連絡先のリストで、連絡先の名前をタップして押し続けます。



図 4-7 連絡先メニュー

3. **[Call Work]** (仕事)、**[Call Home]** (自宅)、または **[Call Mobile]** (携帯電話) をタップします。

✓ **注** 未設定の連絡先から電話をかけるには、電話番号を入力します。連絡先の詳細については、デバイスのヘルプを参照してください。

通話履歴の使用

通話履歴を使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。

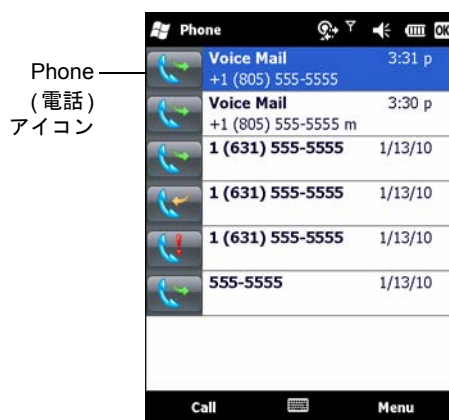


図 4-8 **[Call History]** (通話履歴) ウィンドウ

3. 番号の横にある Phone (電話) アイコンをタップすると、ダイヤル操作が開始され、電話キーパッドに戻ります。
4. ダイヤル操作を終了したり通話を終了するには、**[End]** (終了) をタップするか、MC75A のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

短縮ダイヤルの使用

短縮ダイヤルを使用して、短縮ダイヤルに登録されている相手に電話をかけることができます。

短縮ダイヤルを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、連絡先に割り当てられている短縮ダイヤル番号をタップして押し続けます (1 桁の短縮ダイヤル番号にダイヤルするには、短縮ダイヤル番号をタップして押し続けます。2 桁の短縮ダイヤル番号にダイヤルするには、1 桁目をタップし、2 桁目をタップして押し続けます)。

または

[Phone] (電話) キーパッドで、**Speed Dial** (短縮ダイヤル) をタップして、リスト内の目的の連絡先の短縮ダイヤル番号をタップします。



図 4-9 短縮ダイヤル連絡先リスト

3. ダイヤル操作を終了したり通話を終了するには、**[End]** (終了) をタップするか、MC75A のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

緊急通話をかける

サービス プロバイダは、あらゆる状況下で通話することが可能な 1 つまたは複数の緊急電話番号 (911 や 999 など) を用意しています。この番号には、電話がロックされている場合や SIM カードが装着されていない場合 (MC75A6) でも通話することができます。サービス プロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードに設定することができます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用するには、電話に SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービス プロバイダにお問い合わせください。SIM カードの取り付け手順については、[1-3 ページの「SIM カードの取り付け」](#)を参照してください。

英数字キーパッドにロックされている場合は、オレンジキーを 2 回押して、キーパッドを数字モードに切り替えて、緊急番号を入力します。



注 緊急番号は、国によって異なります。一部の地域で電話機にあらかじめ設定されている緊急番号が使用できないことがあります。また、ネットワーク、環境、または干渉の問題により、緊急通話が行えないこともあります。

電話に応答する

着信すると、MC75A にダイアログ ボックスが表示されます。呼び出し音が鳴るように設定されている場合は、呼び出し音が鳴ります。着信に応答するか無視します。

着信に応答するには、**[Phone - Incoming]** (電話 - 着信) ダイアログ ボックスの **[Answer]** (応答) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押します。

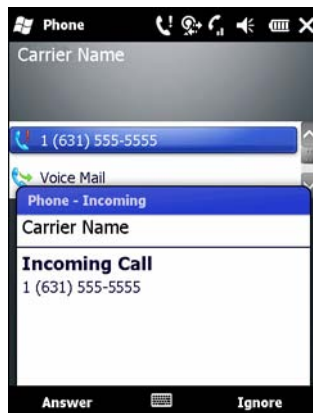


図 4-10 着信

着信を無視するには、**[Ignore]** (無視) をタップします。サービス プロバイダによっては、この操作により、発信者が音声メールに接続されることがあります。それ以外の場合は、発信者に話中音が流れます。

通話を終了するには、**[End]** (終了) をタップするか、MC75A のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

着信機能

- 通話中に着信した場合は、**[Wait]** (保留) をタップして通話を保留することができます。
- 通話中に MC75A で他のプログラムを使用することができます。**[Phone]** (電話) に戻るには、**[Talk]** (通話) をタップするか **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップします。通話を終了するには、**[End]** (終了) をタップします。
- 発信者が連絡先リストに登録されていない場合は、通話中に連絡先を作成することができます。または、**[Call History]** (通話履歴) で **[Menu]** (メニュー) > **[Save to Contacts]** (連絡先に保存) をタップして連絡先を作成することもできます。
- 通話中に着信した場合に、現在の通話を終了して、着信に応答するには、**[Phone]** (電話) キーパッドで **[End]** (終了) をタップして現在の通話を切断し、**[Answer]** (応答) をタップするか **Send** (送信) キーを押して着信に応答します。
- 現在の通話を保留にして、着信に応答するには、**[Answer]** (応答) をタップするか **Send** (送信) キーを押して現在の通話を保留にして、着信に応答します。
- 通話を保留にして、別の番号に発信したり、着信に応答するには、(MC75A6 では) **[Hold]** (保留) を、(MC75A8 では) **[Talk]** (通話) をタップします。ある通話から別の通話に切り替えるには、(MC75A6 では) **[Swap]** (切り替え) を、(MC75A8 では) **[Talk]** (通話) をタップします。

スマートダイヤル

スマートダイヤルにより、電話番号を容易に入力することができます。数字または文字を入力するときに、スマートダイヤル機能によって自動的に SIM カード上の **[Contacts]** (連絡先) 内の連絡先エントリ、および **[Call History]** (通話履歴) (着信、発信、不在着信など) の電話番号が検索され、並び替えられます。その後、その検索結果から、目的の電話番号または連絡先を選択して、ダイヤルすることができます。

[Phone] (電話) 画面を開き、発信する電話番号または連絡先に対応するキーをタップします。連絡先パネルに、入力した内容に一致する連絡先が表示されます。

スマートダイヤル機能によって、入力した内容に一致する番号または連絡先の検索が開始されます。

電話番号を検索するには、次の手順に従います。

- **[Call History]** (通話履歴) で電話番号を探すには、最初の 1 桁または 2 桁を入力します。
- 保存されている **[Contacts]** (連絡先) および SIM カードから電話番号を探すには、最初の 3 桁以上を入力します。

連絡先名を検索するには、次の手順に従います。

- 連絡先の姓または名前の最初の 1 文字を入力します。スマートダイヤル機能はその文字を、連絡先名の先頭文字と、連絡先名のスペース、ハイフン、アンダースコアに続く文字から検索します。たとえば、**[2]** (**[Phone]** (電話) キーパッドの **[a, b, c]** に対応) をタップすると、次の連絡先名が一致しているとみなされます: 「Smith, Bernard」、 「Adams, John」、 「Carlson, Eileen」、 「Dillon, Albert」、 「Childs, Larry」、 「Cooper, Robert」、 「Parks, Celine」。
- 検索結果が多い場合は、別の文字を入力して結果を絞り込みます。上記の例の場合、**[3]** (**[d, e, f]** に対応) をタップすると、次の連絡先名に絞り込まれます: 「Smith, Bernard」、 「Adams, John」、 「Parks, Celine」。



図 4-11 連絡先の検索

スマートダイヤル機能を使用して、電話をかけたり、テキストメッセージを送信するには、次の手順に従います。

1. 目的の番号または文字の先頭から数文字を入力します。
2. **[Smart Dialing]** (スマートダイヤル) パネルで、キーパッドの上/下矢印を使用して、目的の連絡先または電話番号に移動します。
3. 目的の連絡先が選択されたら、**[TALK]** (通話) を押して音声通話を開始します。
4. 選択されている連絡先にテキストメッセージを送信するには、**[Menu]** (メニュー) > **[Send Text Message]** (テキストメッセージを送信) をタップします。
5. 選択されている連絡先に関連付けられている異なる電話番号に電話をかけるには、連絡先名をタップして、電話番号を選択します。

通話のミュート

通話中にマイクをミュートにして、相手の声は聞こえるが、こちらの声は聞こえないようにすることができます。この機能は、こちら側で会話したり、こちら側の騒音が激しい場合に便利です。

通話のミュート/ミュート解除を切り替えるには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. 電話をかけます。
3. **[Mute]** (ミュート) をタップして、音声をミュートにします。**Mute** (ミュート) アイコンが表示されます。



図 4-12 **[Mute]** (ミュート) ボタンとアイコン

メモの作成

通話中にメモを作成するには、**[Note]** (メモ) をタップして、メモを入力します。メモの入力方法の詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

通話中に作成したメモにアクセスするには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。

3. 目的のメモが含まれている通話エントリの番号または **Note (メモ)** アイコンをタップして押し続けます。

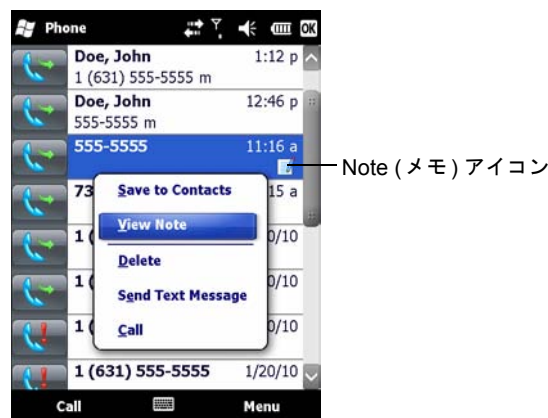


図 4-13 [Call History] (通話履歴) - [Notes] (メモ) メニュー

4. [View Note] (メモを表示) をタップします。

5. [OK] をタップして終了します。

✓ 注 [Start] (スタート) > [Notes] (メモ) をタップして、Notes (メモ) アプリケーションで直接メモにアクセスすることもできます。

短縮ダイヤルの使用

短縮ダイヤルを作成すると、頻繁に電話する番号を 1 回タップするだけでダイヤルできるようになります。短縮ダイヤル エントリを作成する前に、電話番号が [Contacts] (連絡先) に存在することを確認してください。

短縮ダイヤル エントリの追加

電話キーパッドで短縮ダイヤル エントリを追加するには、次の手順に従います。

1. 連絡先と電話番号が [Contacts] (連絡先) リストに存在することを確認します。
2. [Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
3. [Speed Dial] (短縮ダイヤル) ボタン > [Menu] (メニュー) > [New] (新規) をタップします。

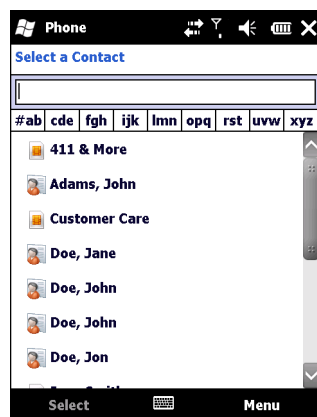


図 4-14 [Contacts] (連絡先)

4. リスト内の目的の連絡先名と番号をタップします。

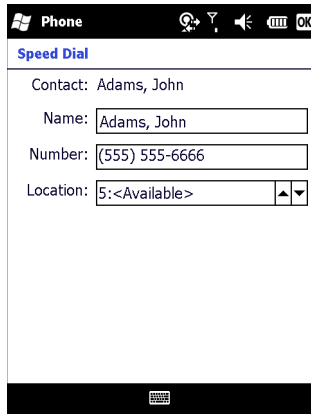


図 4-15 短縮ダイヤルの連絡先の場所

5. **[Location]** (場所) フィールドで、上/下矢印をタップして、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当てることが可能な場所を選択します。1 番目の短縮ダイヤルの場所は、音声メール用に予約されています。
6. **[OK]** をタップして、連絡先を短縮ダイヤル リストに追加します。

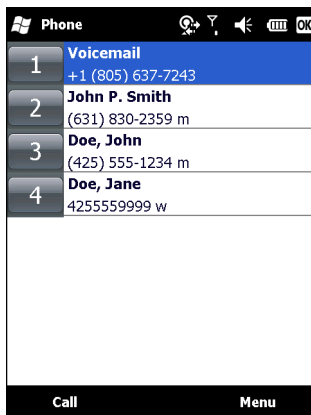


図 4-16 短縮ダイヤル連絡先リスト

7. **[OK]** をタップして、**[Speed Dial Contact List]** (短縮ダイヤル連絡先リスト) を終了します。

[Contacts] (連絡先) ウィンドウから短縮ダイヤル エントリを追加するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Contacts]** (連絡先) をタップします。

図 4-17 **[Contacts]** (連絡先)

2. 連絡先名をタップします。
3. **[Menu]** (メニュー) > **[Add to Speed Dial]** (短縮ダイヤルに追加) をタップします。

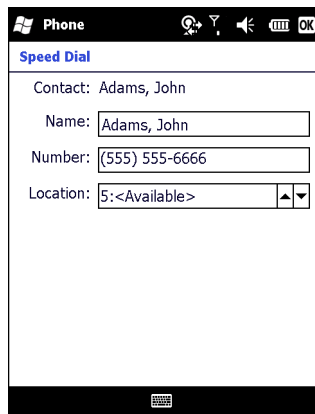


図 4-18 短縮ダイヤルの連絡先の場合

4. 上/下矢印をタップして、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当てることが可能な場所を選択します。1 番目の短縮ダイヤルの場所は、音声メール用に予約されています。
5. **[OK]** をタップします。

短縮ダイヤル エントリの編集

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
2. **[Speed Dial]** (短縮ダイヤル) ボタンをタップします。

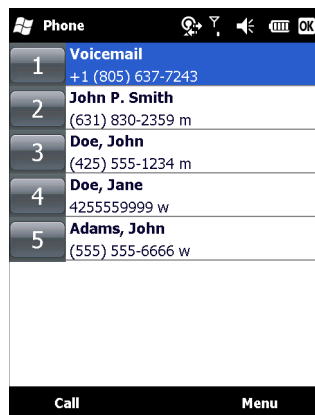


図 4-19 短縮ダイヤル連絡先リスト

3. 連絡先名をタップして押し続けます。
4. **[Edit...]** (編集) をタップします。
5. 名前、電話番号、または場所情報を変更します。
6. **[OK]** をタップします。



注 **[Speed Dial]** (短縮ダイヤル) で名前や電話番号を編集しても、**[Contacts]** (連絡先) (**[Start]** (スタート) > **[Contacts]** (連絡先)) の連絡先情報は変更されません。

短縮ダイヤル エントリの削除




- 1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押します。
- 2. **[Speed Dial]** (短縮ダイヤル) ボタンをタップします。
- 3. 連絡先名をタップして押し続けます。
- 4. **[Delete]** (削除) をタップします。
- 5. **[Yes]** (はい) をタップして、短縮ダイヤル エントリを完全に削除します。

✓ 注 **[Speed Dial]** (短縮ダイヤル) から名前や電話番号を削除しても、**[Contacts]** (連絡先) (**[Start]** (スタート) > **[Contacts]** (連絡先)) の連絡先情報は削除されません。

通話履歴の使用

[Call History] (通話履歴) を使用して、最近通話を行った相手に電話をかけることができます。**[Call History]** (通話履歴) には、すべての通話 (着信、発信、不在着信) の発着信時間と通話時間が表示されます。また、全通話の概要が表示され、通話中に入力したメモに容易にアクセスすることができます。表 4-1 に、**[Call History]** (通話履歴) ウィンドウに表示される Call History (通話履歴) アイコンを示します。

表 4-1 Call History (通話履歴) アイコン

アイコン	説明
	このアイコンは、すべての発信の連絡先情報の横に表示されます。
	このアイコンは、すべての着信の連絡先情報の横に表示されます。
	このアイコンは、すべての不在着信の連絡先情報の横に表示されます。

通話履歴の管理

表示を変更したり、通話タイマーをリセットしたり、通話を削除するなど、**[Call History]** (通話履歴) に保存されている通話を管理することができます。

[Call History] (通話履歴) の表示の変更

- 1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone]** (電話) キーパッドを表示します。
- 2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。

3. **[Menu]** (メニュー) > **[Filter]** (フィルタ) をタップして、メニューを表示します。



図 4-20 **[Call History]** (通話履歴) - **[All Calls]** (すべての通話)/**Show** (表示) メニュー

4. メニューから表示タイプを選択して、不在着信、発信、着信のみが表示されるようにしたり、発信者名のアルファベット順に通話が表示されるようにすることができます。
5. **[OK]** をタップして **[Call History]** (通話履歴) ウィンドウを終了します。

通話カウンタのリセット

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone]** (電話) キーパッドを表示します。
2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。
3. **[Menu]** (メニュー) をタップします。

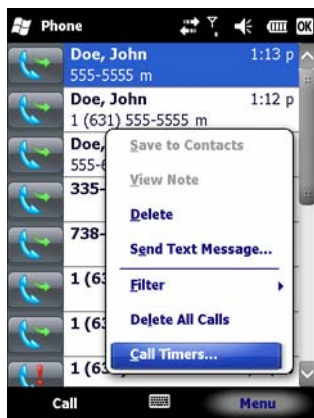


図 4-21 **[Call History]** (通話履歴) - **[Tools]** (ツール) メニュー

4. **[Call Timers...]** (通話タイマー) を選択します。

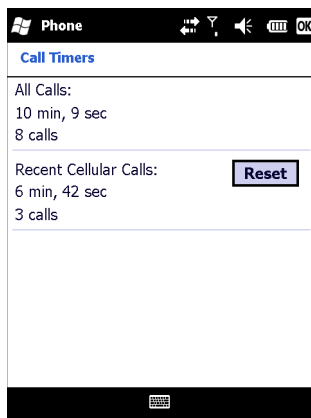


図 4-22 **[Call History]** (通話履歴) - **[Call Timers]** (通話タイマー)

5. **[Reset]** (リセット) をタップします (**[All Calls:]** (すべてのコール) カウンタはリセットできません)。
6. **[OK]** をタップして **[Call Timers]** (通話タイマー) ウィンドウを終了します。

すべての通話履歴項目の削除

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone]** (電話) キーパッドを表示します。
2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。
3. **[Menu]** (メニュー) をタップします。

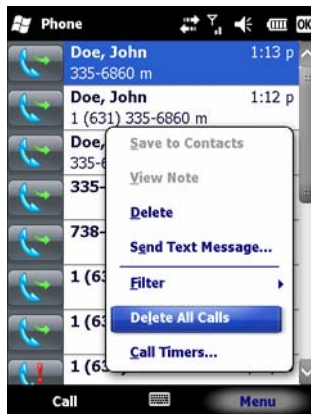


図 4-23 **[Call History]** (通話履歴) - **[Tools]** (ツール) メニュー

4. **[Delete all calls]** (すべての通話を削除) を選択します。



図 4-24 **[Call History]** (通話履歴) - **[Delete All]** (すべて削除) ダイアログ ボックス

5. **[Yes]** (はい) をタップします。
6. **[OK]** をタップして **[Call History]** (通話履歴) ウィンドウを終了します。

通話ステータスの表示

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone]** (電話) キーパッドを表示します。
2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。
3. エントリをタップします。**[Call Status]** (通話ステータス) ウィンドウが表示されます。

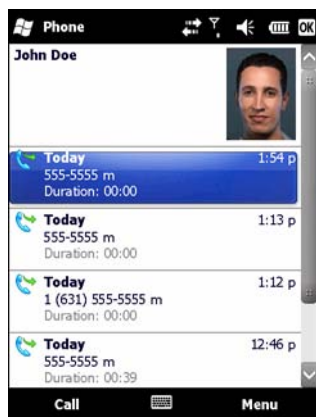


図 4-25 **[Call History]** (通話履歴) - **[Detail]** (詳細)



注 複数の通話を行っている場合は、最初の通話の通話時間のみが記録されます。

4. **[OK]** を 2 回タップして終了します。

[Call History] (通話履歴) メニューの使用

[Call History] (通話履歴) メニューを使用して、音声メールの発信、Activation Wizard (ライセンス認証ウィザード) へのアクセス、連絡先の保存、メモの表示、リストの削除、テキストメッセージの送信、および発信を行うことができます。

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone]** (電話) キーパッドを表示します。
2. **[Phone]** (電話) キーパッドで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。
3. リストで項目をタップして押し続けます。

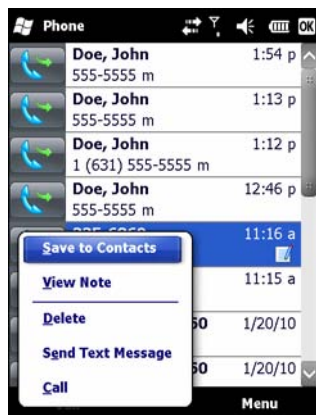


図 4-26 **[Call History]** (通話履歴) - **[Menu]** (メニュー)

4. 必要に応じて、メニューから該当する項目を選択します。
5. 選択した項目に応じて、適切なウィンドウが表示されます。たとえば、**[Send Text Message]** (テキストメッセージを送信) を選択すると、**[Inbox]** (受信) ウィンドウが表示されます。
6. **[OK]** をタップして **[Call History]** (通話履歴) ウィンドウを終了します。

MC75A6 での通話の切り替え

2つの通話を切り替えるには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone]** (電話) キーパッドを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、**[Talk]** (通話) をタップします。接続されると、キーパッドに **[Hold]** (保留) ボタンが表示されます。



図 4-27 **[Call Swapping]** (通話切り替え) - **[Hold]** (保留)

3. **[Hold]** (保留) をタップして、最初の通話を保留にします。
4. 2番目の番号を入力して、**[Talk]** (通話) をタップします。



図 4-28 **[Call Conferencing]** (電話会議) - **[Conferencing]** (会議中)

5. **[Swap]** (切り替え) をタップして、通話を切り替えます。
6. 各通話を終了するには、**[End]** (終了) をタップするか、MC75A のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

MC75A8 での通話の切り替え

着信した 2 つの通話を切り替えるには、次の手順に従います。

1. **[Answer]** (応答) をタップして、最初の着信に応答します。

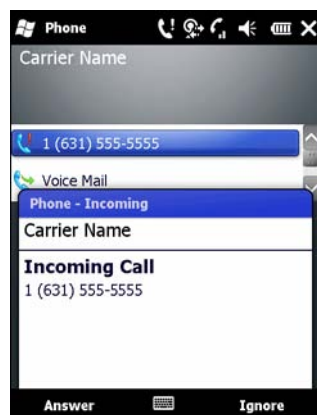


図 4-29 着信への応答

2. 2 番目の着信を受けたら、**[Answer]** (応答) をタップします。最初の通話が保留になります。
3. **[Talk]** (通話) をタップして、通話を切り替えます。



図 4-30 通話の切り替え

4. **[End]** (終了) をタップするか、MC75A のキーパッドの赤色の電話キーを押して、現在の通話を終了します。もう一方の通話が再接続されます。**[Answer]** (応答) をタップして通話に接続します。
5. **[End]** (終了) をタップするか、MC75A のキーパッドの赤色の電話キーを押して、最後の通話を終了します。

MC75A6 での会議通話

- ✓ **注** 一部のサービスでは、Conference Calling (会議通話) 機能を使用できないことがあります。また、会議通話の数が異なる場合があります。Conference Calling (会議通話) 機能を使用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone]** (電話) キーパッドを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、**[Talk]** (通話) をタップします。接続されると、キーパッドに **[Hold]** (保留) ボタンが表示されます。



図 4-31 [Conference Call] (会議通話) - [Hold] (保留)

3. **[Hold]** (保留) をタップして、最初の通話を保留にします。
4. 2 番目の電話番号を入力して、**[Talk]** (通話) をタップします。
5. 通話に応答した後に、**[Menu]** (メニュー) > **[Conference]** (会議) をタップして、通話を会議モードにします。

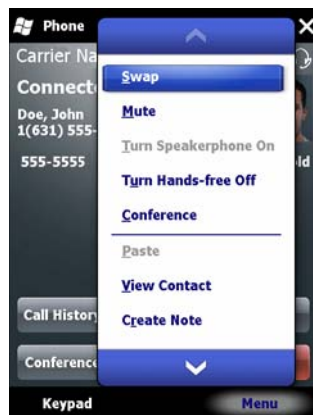


図 4-32 会議通話の確立

6. **[Hold]** (保留) をタップして、会議を保留にします。
7. 別の電話番号を入力して、**[Talk]** (通話) をタップします。
8. 通話に応答した後に、**[Menu]** (メニュー) > **[Conference]** (会議) をタップして、すべての通話を会議モードにします。

9. 最大 6 つの電話番号で手順 6 ～ 8 を繰り返します。

10. 会議通話を終了するには、**[End]** (終了) をタップするか、MC75A のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

✓ **注** 会議通話中に 1 人の相手と私的に話すには、**[Menu]** (メニュー) > **[Private]** (プライベート) をタップします。すべての相手を再度参加させるには、**[Menu]** (メニュー) > **[Conference]** (会議) をタップします。

MC75A8 での 3 者通話

✓ **注** 3 者通話は、一部のサービスでは利用できない場合があります。利用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

自分がイニシエータになり、2 名の相手と 3 者通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Phone]** (電話) をタップするか、MC75A のキーパッドの緑色の電話キーを押して、**[Phone]** (電話) キーパッドを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、**[Talk]** (通話) をタップします。
3. 2 番目の相手に発信するには、**[Keypad]** (キーパッド) をタップします。2 番目の番号を入力して、**[Talk]** (通話) をタップします。



図 4-33 別の相手への発信

4. 2 番目の相手が応答したら、**[Talk]** (通話) をタップして、3 者通話セッションを確立します。
5. **[Talk]** (通話) をタップして、最後の通話を切断します。
6. **[End]** (終了) をタップして、最初の通話を切断します。

テキスト メッセージ

[Text Messages] (テキスト メッセージ) ウィンドウを使用して、携帯電話間でテキスト メッセージを送受信することができます。テキスト には、160 文字以内で文字、数字、または英数字の組み合わせを含めることができます。

送信側の MC75A からモバイル ネットワーク経由で送信されたショート テキスト メッセージは、中央のショート メッセージ センターに保存 され、送信先のモバイル デバイスに転送されます。受信者が不明な場合は、メッセージが保存され、あとから送信できるようになります。

テキスト メッセージの表示

テキスト メッセージを表示するには、次の手順に従います。

テキスト メッセージは、電話がオンまたはオフの状態が表示できます。電話がオンになっている場合、通知アイコンからテキスト メッセージを表示できます。ナビゲーション バーの **text message notification** (テキスト メッセージの通知) アイコンをタップして、メッセージを表示します。

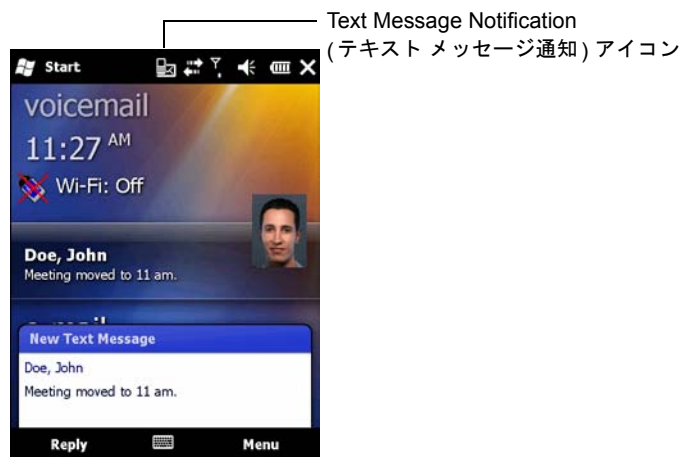


図 4-34 新規テキスト メッセージの通知

Caller Identification (発信者識別) 機能は、着信テキスト メッセージ番号と **[Contacts]** (連絡先) に保存されている番号を照合して、メッセージの送信者を表示します。また、**[New Text Message]** (新規テキスト メッセージ) ダイアログ ボックスでは、送信者に発信したり、メッセージを保存、拒否、削除することもできます。

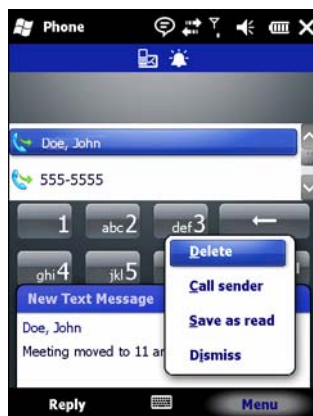


図 4-35 **[New Text Message]** (新規テキスト メッセージ) のオプション

電話機能がオフの場合でも、受信したテキストメッセージを **[Messaging]** (メッセージ) で表示できます。

1. **[Start]** (スタート) > **[Text]** (テキスト) をタップするか、**[Today]** (今日) 画面で、情報バーのテキストメッセージをタップします。



図 4-36 **[Today]** (今日) 画面のテキストメッセージ

2. **[Text Messages]** (テキストメッセージ) ウィンドウが表示されます。
3. メッセージ リストでテキストメッセージをタップします。



図 4-37 テキストメッセージ リスト

✓ **注** 電話がオフになっている場合に、送信者に発信しようとしたり、応答を返信しようとしたり、メッセージを転送しようすると、電話機能をオンにすることを求めるメッセージが表示されます。

テキストメッセージの送信

テキストメッセージを作成するには、次の手順に従います。

1. **[Phone]** (電話) 画面で、メッセージの送信先の連絡先名を選択します。
2. **[Menu]** (メニュー) > **[Send Text Message]** (テキストメッセージを送信) をタップします。

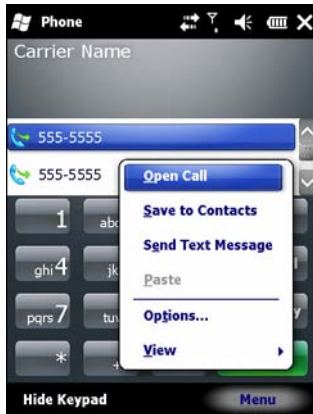


図 4-38 **[Phone]** (電話) 画面の **[Contact]** (連絡先) リスト

3. メッセージを作成します。



図 4-39 テキストメッセージの作成

- オートコレクト機能により、メッセージの入力時に一般的なスペルミスが自動的に修正されるため、正確なメッセージを作成できます。
- 文字カウンタにより、作成中にメッセージのサイズを確認および制御することができます。
- 相手がテキストメッセージを受信したかどうかを確認するには、**[Menu]** (メニュー) > **[Message Options]** (メッセージオプション) をタップして、**[Request message delivery notification]** (メッセージの配信通知を要求する) チェックボックスをオンにします。

4. メッセージが完了したら、**[Send]** (送信) をタップします。

電話がオンになっている場合は、テキストメッセージが送信されます。オフになっている場合は、電話をオンにすることを求めるメッセージが表示されます。電話をオンにすると、メッセージが送信されます。オンにしない **[OK]** をタップすると、メッセージは **[Drafts]** (下書き) フォルダに保存され、電話をオンにしたときに送信されます。

通信圏外にいる場合、メッセージは **[Drafts]** (下書き) フォルダに保存され、通信圏内に戻ったときに送信されます。

✓ **注** MC75A6 デバイスでは、メッセージは **[Drafts]** (下書き) フォルダに残り、通信圏内に戻ったときに手動で再送信する必要があります。

デュアル回線 SIM の使用



注 デュアル回線 SIM のサポートは、MC75A6 構成でのみ使用できます。

利用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

デュアル回線 SIM カードにより、1 つのカードで 2 つの電話回線を使用できます。たとえば、一方の回線を仕事用に使用して、もう一方を個人用に使用することができます。

電話回線を切り替えるには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[SIM Toolkit]** (SIM ツールキット) をタップします。

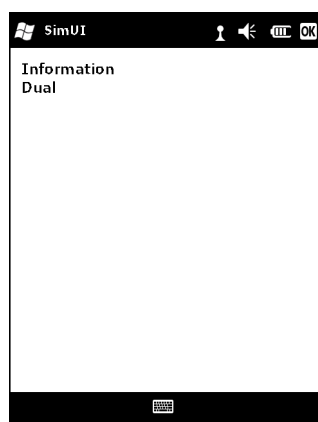


図 4-40 [SIM UI] ウィンドウ

2. **[Dual]** (デュアル) を選択して、**[Select]** (選択) をタップします。

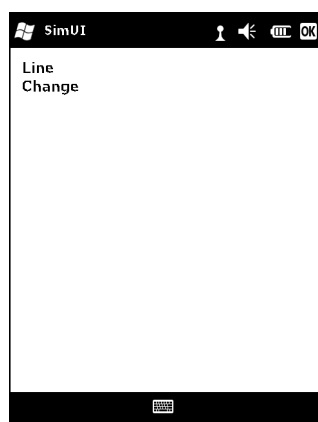


図 4-41 電話回線の変更

3. **[Change]** (変更) を選択して、**[Select]** (選択) をタップします。
4. 該当する場合は、別の回線用の PIN 番号でサインインします。

第 5 章 GPS ナビゲーションの使用

はじめに

MC75A には、SiRF III チップセットを使用したグローバル ポジショニング システム (GPS) テクノロジーが搭載されています。GPS テクノロジーは、地球を周回してデジタル電波信号を連続的に送信する GPS 衛星の世界的なシステムを基礎としています。この電波信号には衛星の場所や正確な時刻に関するデータが含まれており、地球上での自分の位置の特定に使用されます。



警告

車両内で MC75A を使用する場合、ユーザーは、事故や身体的損傷、物的損傷が生じたり、視界を妨げたりしないように設置、固定、および使用する義務があります。ドライバーは、車両を安全に操作し、常にすべての運転状況を観察し、MC75 のために安全な運転が妨げられるほど注意散漫にならないようにする義務があります。運転中の MC75 の操作は危険です。

ソフトウェアのインストール

サードパーティ製の GPS ナビゲーション ソフトウェアが必要です。評価用ソフトウェアはさまざまなサプライヤから提供されています。たとえば VisualGPS というソフトウェアがあります。詳しくは <http://www.visualgps.net/VisualGPSce/> をご覧ください。

GPS ナビゲーション ソフトウェアを購入される場合は、ソフトウェアの購入、ダウンロード、インストール等をする前に、GPS ソフトウェアのベンダーに問い合わせて、そのアプリケーションと MC75A の間に互換性があるか確認してください。アプリケーションのインストールおよびセットアップについては、アプリケーションのユーザー ガイドを参照してください。

MC75A GPS のセットアップ

MC75A のデフォルト設定は次のとおりです。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) と選択して、**External GPS** (外部 GPS) アイコンをタップします。
2. **[Programs]** (プログラム) タブでは、**[GPS program port]** (GPS プログラム ポート) が **[COM8]** に設定されています。
3. **[Hardware]** (ハードウェア) タブでは、**[GPS hardware port]** (GPS ハードウェア ポート) が **[GMX1]** に設定されています。

複数のプログラムが、同時に GPS データにアクセスできます。GPS データにアクセスするには、それぞれのプログラムで Microsoft GPS API または COM8 を使用する必要があります。

操作

衛星信号の取得に数秒から数分かかることがあります。最適な結果を得るには、空がはっきり見え、遮る物のない屋外に出てください。空がはっきり見えない場合、MC75A では信号の取得および初期位置の算出に時間がかかることがあります。室内で MC75 を操作すると、GPS 信号へのアクセスが制限される場合や、アクセスできない場合があります。

- ✓ **注** GPS ナビゲーション アプリケーションを使用する場合は、MC75A がサスペンド モードにならないようにしてください。MC75A がサスペンド状態になると、GPS 無線の電源が切れます。GPS 受信機を再開するには有効な GPS 信号を取得し直す必要があるため、位置情報の取得に遅延が生じます。

microSD カード上の GPS マップ

GPS ナビゲーション ソフトウェアのベンダーから、microSD カードでマップが発売されている場合があります。GPS ナビゲーション ソフトウェアで microSD カードを使用するには、次の手順に従います。

1. MC75A の側面にあるメモリ カード カバーを取り外します。
2. スロットに microSD カードを挿入します。
3. メモリ カード カバーを取り付けます。

GPS 使用中の電話への応答

GPS ナビゲーション ソフトウェアの使用中に電話に応答するには、次の手順に従います。

1. **[Answer]** (応答) ボタンを押して電話に出ます。
2. 通話が終了したら、**[End Call]** (通話終了) ボタンを押して、GPS ソフトウェアの音声を再開します。

- ✓ **注** MC75A で GPS の使用中に電話を受けると、GPS ナビゲーション ソフトウェアの音声は通話が終了するまでミュートになります。

車両に乗っているときに GPS 信号が失われた場合

車両の窓やフロントガラスが耐熱ガラス製の場合、衛星からの GPS 信号の受信がブロックされるため、MC75A での GPS のパフォーマンスに影響が出る場合があります。GPS 信号の強度を改善するには、空がはっきり見える場所に MC75A を置いてください。衛星からの情報にアクセスするには、MC75A と GPS 衛星の間が直線で見通せる必要があります。

グローバル ポジショニング システム (GPS) は、ユーザーが地球上のどこにいても自分の場所を追跡できるシステムです。

アシスト GPS

GPS は、スタンドアロン モードでもアシスト GPS (A-GPS) モードでも使用できます。スタンドアロン型の GPS 受信機は、GPS 衛星からデータをダウンロードします。データのダウンロードには数分かかることがあります。GPS Location サーバーを使用すると、通常では GPS 衛星からダウンロードする必要のあるデータおよび信号取得に役立つその他の補助データが A-GPS によって供給されるため、GPS 受信機の初期位置算出時間 (TTFF) が劇的に短縮されます。A-GPS データを使用すると、GPS 受信機によるより高速かつ信頼性の高い操作が可能になります。

A-GPS は Secure User Plane Location (SUPL) プロトコルに準拠しています。このプロトコルにより、MC75A と位置サーバーとの通信が可能になります。

MC75A で SUPL を設定するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) と選択して、**GPS Setup** (GPS のセットアップ) アイコンをタップします。

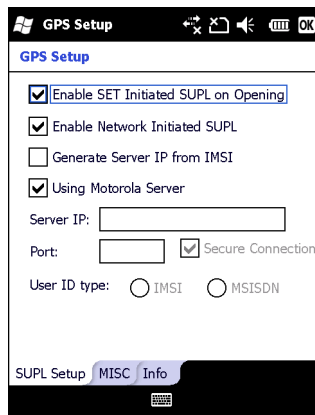


図 5-1 **[SUPL Setup]** (SUPL のセットアップ) タブ

2. **[Enable SET Initiated SUPL on Opening]** (開くときに SET 開始 SUPL を有効にする) を選択し、MC75A によって GPS ポートを開くときに SUPL を開始することを有効にします。
3. ネットワークで SUPL を開始するには、**[Enable Network Initiated SUPL]** (ネットワーク開始 SUPL を有効にする) を選択します。
4. IMS (GSM WAN デバイス限定) からサーバー IP アドレスを自動的に生成するには **[Generate Server IP from IMSI]** (IMSI からサーバー IP を生成) を選択し、Motorola SUPL サーバーを使用するには **[Using Motorola Server]** (Motorola サーバーの使用) を選択します。
5. **[Server IP]** (サーバー IP) フィールドに SUPL サーバーの IP アドレスを入力します。IMSI からサーバ IP アドレスを生成するとき、または Motorola サーバーを使用するときは、サーバー IP アドレスは必要ありません。
6. **[Port]** (ポート) フィールドに SUPL サーバー ポート番号を入力します。Motorola サーバーを使用するときは、ポート番号は必要ありません。
7. MC75A とサーバーとの TLS 接続を有効にするには、**[Secure Connection]** (安全な接続) を選択します。このオプションは、Motorola サーバーを使用するときは利用できません。
8. SUPL セッション中に使用する ID タイプを指定するには、**[User ID type]** (ユーザー ID タイプ) を選択します。このオプションは、Motorola サーバーを使用するときは利用できません。

スマート再補助および開くときのタイミング制御を有効にするには、**[MISC]** (その他) タブを使用します。これらのオプションは、**[SUPL Setup]** (SUPL のセットアップ) タブで **[Enable SET Initiated SUPL on Opening]** (開くときに SET 開始 SUPL を有効にする) が有効になっているときにのみ利用できます。

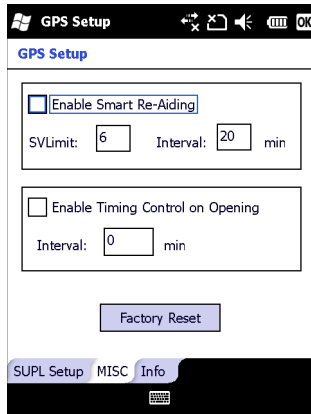


図 5-2 [MISC] (その他) タブ

スマート再補助では、MC75A が SUPL サーバーに再接続し、ビューに衛星がある場合、使用中の衛星が **SVLimit** 値より少ない場合、および最終 SUPL セッション以後の経過時間が **[Interval]** (間隔) フィールドでの設定値より長い場合、新しい A-GPS データをダウンロードします。

開くときのタイミング制御では、GPS ポートが開かれたときに SUPL セッションを確立するかどうかを決定します。最終の正常な SUPL セッション以後の経過時間が設定間隔より短い場合、GPS ポートが開かれたときに SUPL セッションは確立されません。

GPS チップで工場出荷時へのリセットを実行するには、**[Factory Reset]** (工場出荷時へのリセット) ボタンをタップします。

第 6 章 Bluetooth の使用

はじめに

Bluetooth を装備しているデバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS: frequency-hopping spread spectrum) 無線周波数 (RF: radio frequency) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM: Industry Scientific and Medical) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信をすることができます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/30 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載した MC75A は、電話機、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル コンピュータといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。MC75A をモデムとして使用するには、コンピュータと MC75A 間でダイヤルアップ モデム接続を確立します。

Bluetooth テクノロジーを採用した MC75A では、StoneStreet Bluetooth スタックまたは Microsoft Bluetooth スタックを使用します。StoneStreet One Bluetooth スタック API を使用するアプリケーションを作成する場合は、Enterprise Mobility Developer Kit (EMDK) Help を参照してください。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続を確立したり、検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップシーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、Motorola 製のモバイル コンピュータはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

MC75A の Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 32.8 フィート (10m) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワークラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。



注 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義することができます。リンク レベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしたデバイスの共通 PIN 番号を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN 番号は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN 番号またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用することができます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の一つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。または PIN コードをモバイル コンピュータに保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Microsoft のスタックは Smart-pairing をサポートしています。詳細は、Microsoft MSDN を参照してください。

StoneStreet One Bluetooth スタックは、Secure Simple Pairing をサポートします。Secure Simple Pairing により、Bluetooth デバイスのペアリングが向上し、セキュリティの使用頻度と強度が高まります。ホストとリモート デバイスの両方で Secure Simple Pairing をサポートしている必要があります。片方のデバイスがサポートしていない場合、上記の標準ペアリングが使用されます。

Bluetooth の設定

MC75A は、デフォルトでは Microsoft Bluetooth スタックを使用するように設定されています。StoneStreet One Bluetooth スタックへの切り替えについては、『MC75A Mobile Computer Integrator Guide』の「付録 B」を参照してください。

表 6-1 に、Microsoft Bluetooth スタックおよび StoneStreet One Bluetooth スタックでサポートされるサービスを示します。

表 6-1 Bluetooth サービス

Microsoft Bluetooth スタック	StoneStreet One Bluetooth スタック
OBEX Object Push Service (OBEX オブジェクト プッシュ サービス)	OBEX Object Push Service (OBEX オブジェクト プッシュ サービス)
Hands-Free Audio Gateway Service (ハンズフリー音声ゲートウェイ サービス)	Hands-Free Audio Gateway Service (ハンズフリー音声ゲートウェイ サービス)
Serial Port Service (シリアル ポート サービス)	Serial Port Service (シリアル ポート サービス)
Personal Area Networking Service (パーソナル エリア ネットワーク サービス)	Personal Area Networking Service (パーソナル エリア ネットワーク サービス)
PBAP Service (PBAP サービス)	IrMC Service (IrMC サービス)
Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)	Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)
HID Client Service (HID クライアントサービス)	HID Client Service (HID クライアント サービス)
A2DP/AVRCP Service (A2DP/AVRCP サービス)	A2DP/AVRCP Service (A2DP/AVRCP サービス)
	File Transfer Service (ファイル転送サービス)
	Headset Audio Gateway Service (ヘッドセット音声ゲートウェイ サービス)

表 6-2 に、Microsoft Bluetooth スタックおよび StoneStreet One Bluetooth スタックで利用できる COM ポートを示します。

表 6-2 COM ポート

Microsoft Bluetooth スタック	StoneStreet One Bluetooth スタック
COM5	COM5
COM9	COM9
	COM11
	COM21
	COM22
	COM23

Bluetooth の電源の状態

コールド ブート

StoneStreet One Bluetooth スタックの場合

MC75A でコールド ブートを実行すると、初期化後に Bluetooth がオフになります (初期化にはしばらく時間がかかります)。すべてのモードで初期化中に **Bluetooth** アイコンと待機カーソルが (クラシック ホーム画面で) 表示/非表示になることは正常な動作です。

Microsoft Bluetooth スタックの場合

コールド ブートを実行すると、コールド ブートする前に Bluetooth 無線の状態を保持します。

ウォーム ブート

StoneStreet One Bluetooth スタックの場合

MC75A でウォーム ブートを実行すると、Bluetooth がオフになります。

Microsoft Bluetooth スタックの場合

ウォーム ブートを実行すると、ウォーム ブートする前に Bluetooth 無線の状態を保持します。

サスペンド

アクティブな Bluetooth 接続が確立されている場合、Bluetooth 無線は低電力モードに入り、アクティブな接続を保持します。アクティブな接続が確立されていない場合、Bluetooth 無線の電源がオフになります。

StoneStreet One Bluetooth スタックの場合

- ✓ **注** MC75A と他の Bluetooth デバイス間でアクティブな Bluetooth 接続が確立されている場合、MC75A はタイムアウトしません。ただし、MC75A の電源ボタンを押すと MC75A はサスペンド モードになります (通話中の場合を除く)。リモートの Bluetooth デバイスからデータを受信すると MC75A はサスペンド モードからウェイクアップします (たとえば、MC75A にヘッドセットからリダイヤル信号が送信された場合や Bluetooth スキャナからデータが送信された場合)。

Microsoft Bluetooth スタックの場合

- ✓ **注** MC75A と他の Bluetooth デバイス間でアクティブな Bluetooth 接続が確立されていて、データの通信状況がない場合、MC75A はタイムアウトします。ただし、MC75A の電源ボタンを押すと MC75A はサスペンド モードになります (通話中の場合を除く)。リモートの Bluetooth デバイスからデータを受信すると MC75A はサスペンド モードからウェイクアップします (たとえば、MC75A にヘッドセットからリダイヤル信号が送信された場合や Bluetooth スキャナからデータが送信された場合)。

再開

サスペンド前に Bluetooth がオンになっていた場合、MC75A が再開されると Bluetooth はオンになります。

Microsoft Bluetooth スタックの使用方法

以降のセクションでは、Microsoft Bluetooth スタックの使い方について説明します。

Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスは MC75A を検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。



注 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の有効化

Bluetooth を有効にするには、次の手順を行います。

1. **[Wireless Manager]** をタップしてから、**[Bluetooth]** バーをタップするか、または **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **Bluetooth** アイコン > **[Mode]** (モード) タブをタップします。

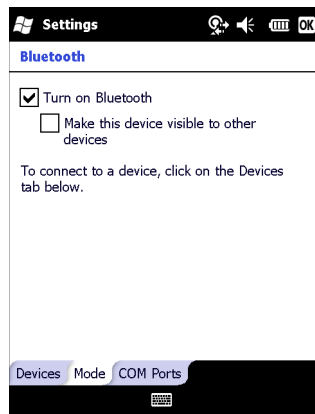


図 6-1 **[Bluetooth]** の **[Mode]** (モード) タブ

2. **[Turn On Bluetooth]** (Bluetooth を有効にする) チェックボックスをオンにします。
3. **[OK]** をタップします。

Bluetooth の無効化

Bluetooth を無効にするには、次の手順を行います。

1. **[Wireless Manager]** をタップしてから、**[Bluetooth]** バーをタップするか、または **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **Bluetooth** アイコン > **[Mode]** (モード) タブをタップします。
2. **[Turn On Bluetooth]** (Bluetooth を有効にする) チェックボックスをオフにします。
3. **[OK]** をタップします。

Bluetooth デバイスの検出

MC75A は、検出されたデバイスと結合していなくても、そのデバイスから情報を受信することができます。ただし、結合しておく、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC75A と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。詳細については、[6-31 ページの「検出したデバイスとの結合」](#)を参照してください。

通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
4. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) タブ > **Bluetooth** アイコン > **[Devices]** (デバイス) タブをタップします。

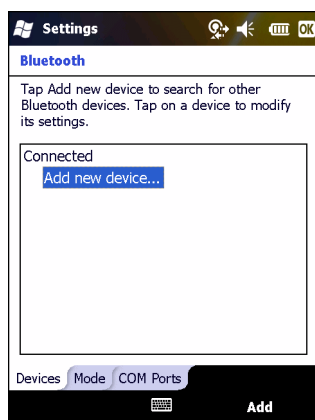


図 6-2 [Bluetooth] - [Devices] (デバイス) タブ

5. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。MC75A は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。

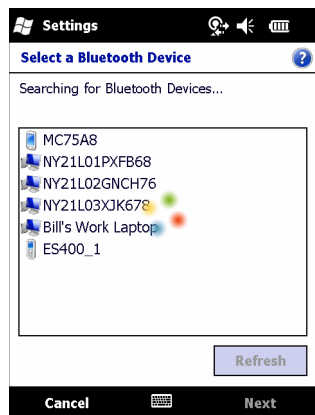


図 6-3 Bluetooth デバイスを検索中

6. リストからデバイスを選択します。

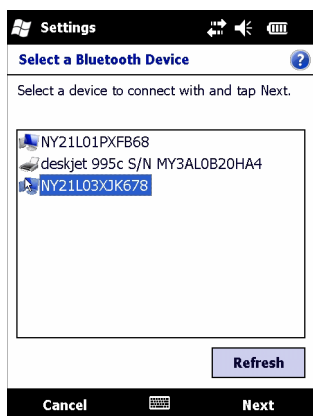


図 6-4 [Select a Bluetooth Device] (Bluetooth デバイスの選択)

7. [Next] (次へ) をタップします。[Enter Passcode] (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。



注 Smart-pairing (スマートペアリング) が設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、[Enter Passcode] (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。

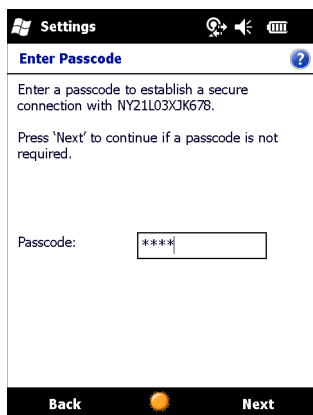


図 6-5 [Enter Passcode] (パスコードの入力)

8. 接続先デバイスのパスコードを入力します。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。



図 6-6 Bluetooth 接続の確認

パスコードの入力を求めるメッセージが表示されます。デバイスに特定のパスコードがある場合は、それを **[Passcode]** (パスコード) フィールドに入力して **[Next]** (次へ) をタップします。デバイスに特定のパスコードがない場合は、任意のパスコードを **[Passcode]** (パスコード) フィールドに入力して **[Next]** (次へ) をタップします。Bluetooth 無線がそのデバイスとの接続を試行します。

9. パスコードを作成した場合は、接続先デバイスに、同じパスコードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。作成したパスコードを入力すると、ペアリング接続が確立されます (特定のパスコードを入力した場合は、接続先デバイスでの作業は必要ありません)。
10. 接続が完了すると、マッチング リストとそのデバイスでサポートされているサービスが表示されます。
11. 使用したいサービスを選択して、**[Finish]** (完了) をタップします。新しいデバイス上のサービスを選択する必要があります。そうしないと、デバイスのペアリングが確立されても、ペアリングにサービスが含まれません。サービスを選択しないと、パスコードを求めるメッセージが何度も表示されます。
12. デバイスがメイン ウィンドウ上のリストに表示されます。

パスコードが両側で受け入れられると、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

使用可能なサービス

- ✓ **注** デバイスによっては、PIN を必要としないものもあります。必要とするかどうかは、デバイスの認証によって異なります。

使用可能なサービスについては、以降のセクションを参照してください。

Object Push Services via Beam (ビームによるオブジェクト プッシュ サービス)

- ✓ **注** ビーム機能で可能なのはリモート デバイスへのファイル送信だけです。

OBEX プッシュ サービスを使用して、別の Bluetooth デバイスにファイルや連絡先を送信できます。MC75A と他の Bluetooth 対応デバイス間でファイルを転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[File Explorer]** (ファイル エクスプローラ) の順にタップします。
4. 転送するファイルに移動します。
5. ファイル名をタップし、ポップアップ メニューが表示されるまで押したままにします。



図 6-7 File Explorer (ファイル エクスプローラ) ウィンドウ

6. **[Beam File]** (ファイルのビーム) を選択します。MC75A は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。

7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある **[Tap to send]** (タップして送信) をタップします。MC75A はそのデバイスと通信しファイルを送信します。完了すると、**[Tap to send]** (タップして送信) が **[Done]** (完了) に変わります。

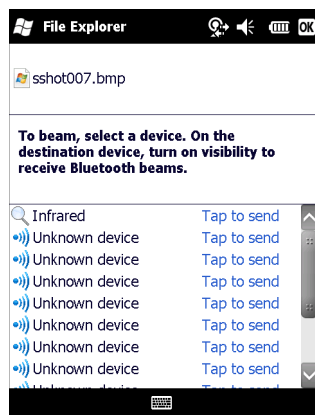


図 6-8 **[Beam File]** (ファイルをビームする) ウィンドウ

MC75A と他の Bluetooth 対応デバイス間で連絡先を転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Contacts]** (連絡先) をタップします。
4. 転送する連絡先に移動します。
5. その連絡先をタップし、ポップアップ メニューが表示されるまで押したままにします。



図 6-9 **[Contacts]** (連絡先) ウィンドウ

6. **[Send Contact]** (連絡先の送信) > **[Beam]** (ビーム) を選択します。MC75A は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある **[Tap to send]** (タップして送信) をタップします。MC75A はそのデバイスと通信し連絡先を送信します。完了すると、**[Tap to send]** (タップして送信) が **[Done]** (完了) に変わります。

Internet Sharing (インターネット共有)

Internet Sharing (インターネット共有) では、MC75A にコンピュータまたはラップトップを接続し、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するためのモデムとして MC75A を使用できます。

Bluetooth によって、MC75A をモデムとして使用するには、次の手順に従います。

1. デバイスがコンピュータまたはラップトップに接続されていないことを確認します。
2. MC75A で、**[Phone]** (電話) が有効になっていて、データ接続が設定されていることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[Internet Sharing]** (インターネット共有) をタップします。
4. **[PC Connection]** (PC 接続) リストで、**[Bluetooth PAN]** を選択します。
5. **[Network Connection]** (ネットワーク接続) リストで、接続の種類を選択します。
そのデバイスがインターネット接続に使用するネットワーク接続を選択します。
6. **[Connect]** (接続) をタップします。
7. コンピュータまたはラップトップで、ご使用のデバイスとの Bluetooth PAN をセットアップします。
 - a. **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[ネットワーク接続]** を選択します。
 - b. **[パーソナルエリア ネットワーク]** で、**[Bluetooth ネットワーク接続]** を選択します。
 - c. **[Bluetooth ネットワーク接続]** を右クリックして、**[Bluetooth ネットワーク デバイスの表示]** を選択します。
 - d. **[Bluetooth パーソナル エリア ネットワーク デバイス]** ウィンドウで、ご使用のデバイスを選択します。
 - e. **[接続]** をクリックします。コンピュータが Bluetooth を通じてデバイスに接続されます。



注 コンピュータが Bluetooth に対応していて、PC 接続として Bluetooth を選択する場合、Bluetooth PAN パートナーシップを開始し、完了しないと、インターネット共有は機能しません。詳細は、Windows のヘルプおよびサポートを参照してください。

8. 確認するには、PC またはラップトップで **Internet Explorer** を起動して Web サイトを開きます。
9. ダイアルアップ ネットワーキングを終了するには、MC75A で **[Disconnect]** (切断) をタップします。

Hands-free Services (ハンズフリー サービス)

Bluetooth ヘッドセットに接続するには、次の手順に従います。



注 最近の Bluetooth ヘッドセットは、デバイス依存型で、前回接続したデバイスを記憶しています。ヘッドセットの接続時に問題が発生した場合は、ヘッドセットを検出モードにしてください。詳細については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

WAN 音声のみがヘッドセットに送信されます。システムの音声は、MC75A のスピーカーから出力されます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルを使用して、通話を受けたりリダイヤルすることができます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Connections]** (接続) タブ > **Bluetooth** アイコンをタップします。
4. **[New device]** (新しいデバイス) をタップします。MC75A は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
5. ヘッドセット名を選択して、**[Next]** (次へ) をタップします **[Passcode]** (パスコード) ウィンドウが表示されます。
6. ヘッドセットのパスコードを入力します。
7. **[Next]** (次へ) をタップします。MC75A がヘッドセットに接続されます。Bluetooth デバイスとの通信に関する指示については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。



注 接続が確立されている場合、電源ボタンを押しても MC75A はサスペンドモードになりません。このことを通知するメッセージが表示されます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルで WAN 通話が切断されると、電源ボタンが有効になります。



図 6-10 [WWAN Bluetooth Audio Notification] (WWAN Bluetooth 音声通知) ダイアログ ボックス

Serial Port Service (シリアル ポート サービス)

無線 Bluetooth シリアル ポート接続は、物理的なシリアル ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアル ポートに設定します。

シリアル ポート接続を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) タブ > **Bluetooth** アイコン > **[Devices]** (デバイス) タブをタップします。
4. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。MC75A は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
5. リストからデバイスを選択します。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。 **[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。



注 Smart-pairing (スマートペアリング) が設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、 **[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。

7. パスコードを入力して **[Next]** (次へ) をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。
8. デバイス リストで、そのシリアル デバイスをタップします。 **[Partnership Settings]** (パートナーシップの設定) ウィンドウが表示されます。
9. **[Serial Port]** (シリアル ポート) チェックボックスをオンにします。
10. **[Save]** (保存) をタップします。
11. **[COM Ports]** (COM ポート) タブをタップします。
12. **[New Outgoing Port]** (新しい発信ポート) をタップします。 **[add device]** (デバイスの追加) ウィンドウが表示されます。
13. リストでシリアル デバイスを選択して、 **[Next]** (次へ) をタップします。
14. ドロップダウン リストから COM ポートを選択します。

15. **[Finish]** (完了) をタップします。



注 この時点では接続は確立されていません。Microsoft Bluetooth スタックが接続を開始するには、選択した COM ポートをアプリケーションで開く必要があります。

シリアルポートサービスを使用した ActiveSync

ActiveSync 用の無線 Bluetooth シリアルポート接続は、物理的なシリアルケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアルポートに設定する必要があります。

Bluetooth ActiveSync 接続を設定するには、次の手順に従います。

Bluetooth ActiveSync 接続を設定する前に、デバイスに Bluetooth 機能を設定してください。



注 セキュリティを確保するには、コンピュータに接続してインターネットまたはネットワークへのパススルーを行う前に、コンピュータのネットワークブリッジングを無効にします (特にリモート NDIS アダプタへのブリッジング)。ネットワークブリッジングについての詳細は、ご使用のコンピュータの **Windows** ヘルプを参照してください。

以下の手順は、Windows XP SP2 以降のバージョンのオペレーティングシステムをサポートするコンピュータに適用されます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. コンピュータで、**[スタート]** > **[設定]** > **[コントロールパネル]** をクリックします。
4. **[Bluetooth デバイス]** をダブルクリックします。
5. **[オプション]** タブで、**[発見機能を有効にする]** と **[Bluetooth デバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する]** のチェックボックスをオンにします。

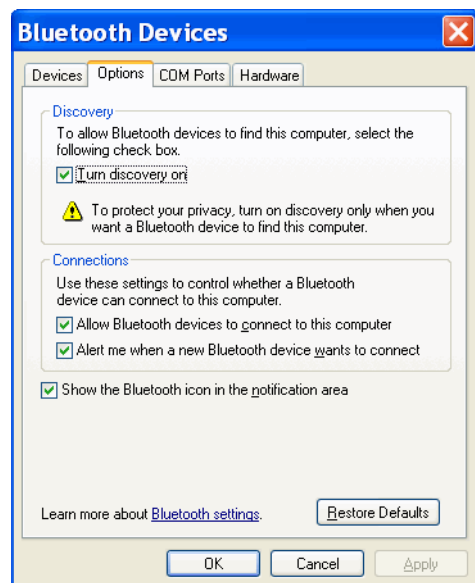


図 6-11 コンピュータの **[Bluetooth デバイス]** ウィンドウ

6. **[COM ポート]** タブで、**[追加]** をクリックします。
7. **[着信 (デバイスが接続を開始する)]** オプションを選択して、**[OK]** をクリックします。
追加された COM ポートの番号を書き留めます。
8. **[OK]** をクリックします。

9. [スタート] > [すべてのプログラム] > [Microsoft ActiveSync] をクリックします。

10. [ファイル] > [接続の設定] をクリックします。

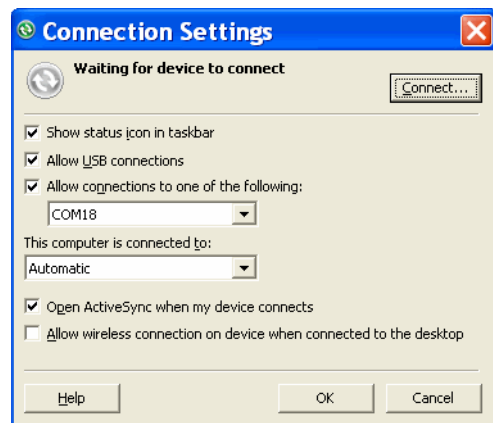


図 6-12 ActiveSync の [接続の設定]

11. [以下のいずれかの接続を有効にする:] ドロップダウン リストで、先ほど書き留めた番号の COM ポートを選択します。

12. MC75A で、[Start] (スタート) > [Programs] (プログラム) > [ActiveSync] をタップします。

13. [Menu] (メニュー) > [Connect via Bluetooth] (Bluetooth から接続) をタップします。

自動的に同期が開始されます。[Today] (画面) の右下に **ActiveSync** アイコンが表示されます。

認証が必要な場合は、[Enter Passcode] (パスコードの入力) 画面が表示されるので、英数字のパスキー (PIN コード) を入力して、[Next] (次へ) をタップします。もう一方のデバイスと同じパスキーを入力してください。

セキュリティを強化するため、パスキーの使用を推奨します。パスキーは 1 ~ 16 文字の英数字で指定してください。

パスキーを使用しない場合は、[Next] (次へ) をタップします。

14. ActiveSync 接続を切断するには、[Today] (今日) 画面の **ActiveSync** アイコンをタップします。

15. [Disconnect] (切断) をタップします。

Phone Book Access Profile サービス

Phone Book Access プロファイル (PBAP) を使用すると、リモート デバイスと MC75A の間で連絡先を同期させることができます。PBAP 同期を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. [Start] (スタート) > [Setting] (設定) > [Connection] (接続) タブ > **Bluetooth** アイコン > [Devices] (デバイス) タブをタップします。
4. [Add New Device] (新しいデバイスを追加) をタップします。MC75A は Car Kit (自動車用キット) などの Bluetooth デバイスを検索します。
5. リストからデバイスを選択します。
6. [Next] (次へ) をタップします。[Enter Passcode] (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。



注 Smart-pairing (スマートペアリング) が設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、[Enter Passcode] (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。

7. パスコードを入力して [Next] (次へ) をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。

8. その自動車用キットに連絡先を転送するかどうかを問うダイアログ ボックスが表示されます。

9. **[Yes]** (はい) または **[No]** (いいえ) を選択します。
10. **[Yes]** (はい) を選択した場合、MC75A の連絡先がそのカーキットに転送されます。

Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)

ダイヤルアップ ネットワークにより、MC75A に PC またはラップトップを接続して、MC75A をオフィスのネットワークまたは ISP に接続するモデムとして使用することができます。

ダイヤルアップ ネットワークの設定を行う前に、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するのに必要なダイヤルアップ情報およびその他の必要な設定 (ユーザー名、パスワード、ドメイン名など) を取得してください。新しい Bluetooth 接続を作成するには、次の手順に従います。

1. MC75A が検出可能および接続可能になっていることを確認します。
2. PC またはラップトップで、製造元の指示に従って Bluetooth の設定を行います。
3. PC またはラップトップの Bluetooth ソフトウェアで、MC75A を検索して、**[Dial-up Networking]** (ダイヤルアップ ネットワーク) サービスを選択します。
4. PC またはラップトップのダイヤルアップ ソフトウェアを使用して、MC75A に接続します。
5. MC75A の電話機能により ISP の番号がダイヤルされて、ISP に接続します。
6. 確認するには、PC またはラップトップで Internet Explorer を起動して Web サイトを開きます。

HID デバイスの接続

MC75A は、Bluetooth キーボードやマウスなどのヒューマン インタフェース デバイス (HID) を接続できます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
4. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) タブ > **Bluetooth** アイコン > **[Devices]** (デバイス) タブをタップします。
5. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。MC75A は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
6. リストから HID デバイスを選択します。
7. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。



注 Smart-pairing (スマートペアリング) が設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。

8. **[Connect]** (接続) をタップします。MC75A が HID デバイスに接続されます。

A2DP/AVRCP Service (A2DP/AVRCP サービス)

A2DP/AVRCP は高品質ステレオ ヘッドセットに接続する場合に使用します。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
4. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) タブ > **Bluetooth** アイコン > **[Devices]** (デバイス) タブをタップします。
5. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。MC75A は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。

6. 一覧からステレオ ヘッドセットを選択します。
7. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

✓ **注** Smart-pairing (スマートペアリング) が設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。

8. **[Connect]** (接続) をタップします。MC75A がステレオ ヘッドセットに接続されます。

ハンズフリー サービスを使用できるステレオ ヘッドセットの場合は、A2DP サービスに接続後、ハンズフリー サービスに接続します。

1. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) タブ > **Bluetooth** アイコン > **[Devices]** (デバイス) タブをタップします。
2. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。MC75A は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
3. 一覧からステレオ ヘッドセットを選択します。
4. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

✓ **注** Smart-pairing (スマートペアリング) が設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。

5. **[Connect]** (接続) をタップします。MC75A がステレオ ヘッドセットに接続されます。

Bluetooth StoneStreet One Bluetooth スタックの使用方法

以降のセクションでは、Stone Street One Bluetooth スタックの使い方について説明します。

Bluetooth 無線モードのオン/オフの切り替え

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスは MC75A を検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。

✓ **注** 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の無効化

Bluetooth を無効にするには、ステータス バーの Connection (接続) アイコンをタップし、**[Connectivity]** (接続) ダイアログ ボックスの **[Wireless Manager]** を選択します。青色の **Bluetooth** バーをタップして、Bluetooth の無線をオフにします。

Bluetooth の有効化

Bluetooth を有効にするには、ステータス バーの Connection (接続) アイコンをタップし、**[Connectivity]** (接続) ダイアログ ボックスの **[Wireless Manager]** を選択します。青色の **Bluetooth** バーをタップして、Bluetooth の無線をオンにします。

モード

BTE Explorer アプリケーションには、Wizard Mode (ウィザード モード) と Explorer Mode (エクスプローラ モード) という 2 つの Bluetooth 接続管理モードがあります。Wizard Mode (ウィザード モード) は、Bluetooth を初めて使用するユーザー向けのモードで、Explorer Mode (エクスプローラ モード) は Bluetooth に精通しているユーザー向けのモードです。モードを切り替えるには、**[View] (表示) > [Wizard Mode] (ウィザード モード)** または **[View] (表示) > [Explorer Mode] (エクスプローラ モード)** を選択します。

Wizard Mode (ウィザード モード)

Wizard Mode (ウィザード モード) では、Bluetooth デバイスを検出して接続するための簡単な手順が示されます。

✓ **注** Wizard Mode (ウィザード モード) と Explorer Mode (エクスプローラ モード) の切り替えを行うと、確立されているすべての接続が切断されます。

Wizard Mode (ウィザード モード) では、ウィザードの手順に従って作成した簡潔な **[Favorites] (お気に入り)** ビューにデバイスとサービスが表示されます。

Explorer Mode (エクスプローラ モード)

[Explorer Mode] (エクスプローラ モード) ウィンドウは、容易にナビゲートすることができ、Bluetooth に精通しているユーザーに優れた制御機能を提供します。メニュー バーから、デバイスの接続に使用するオプションとツールにすばやくアクセスできます。エクスプローラ モードにアクセスするには、**[View] (表示) > [Explorer Mode] (エクスプローラ モード)** をタップします。



図 6-13 **[Explorer Mode] (エクスプローラ モード)** ウィンドウ

項目をタップして押し続けることで、使用可能なオプションを表示することもできます。スクロール バーと表示オプションは、Windows デスクトップのものに類似しています。ツリー構造で、次のサブ項目が表示されます。

- Local Device (ローカル デバイス) - このデバイス
- Remote Device (リモート デバイス) - 他の Bluetooth デバイス
 - Trusted Devices (信頼されたデバイス) - 結合済みの (ペアリングされた) Bluetooth デバイス
 - Untrusted Devices (信頼されていないデバイス) - 検出されたが結合されていないデバイス
- Favorites (お気に入り) - 選択し、すばやくアクセスできるようにお気に入りに設定したサービス。

✓ **注** Wizard Mode (ウィザード モード) と Explorer Mode (エクスプローラ モード) の切り替えを行うと、確立されているすべての接続が切断されます。

Bluetooth デバイスの検出

MC75A は、検出されたデバイスと結合していなくても、そのデバイスから情報を受信することができます。ただし、結合しておくと、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC75A と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。詳細については、[6-31 ページの「検出したデバイスとの結合」](#)を参照してください。

通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. MC75A で必要なプロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[6-44 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ」](#)を参照してください。
4. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
5. **[Start] (スタート) > [BTExplorer]** をタップします。**[BTExplorer]** ウィンドウが表示されます。

✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites] (お気に入り)** 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard] (新規接続ウィザード)** 画面が表示されます。

6. **[Menu] (メニュー) > [New Connection] (新規接続)** をタップします。**[New Connection Wizard] (新規接続ウィザード)** が表示されます。

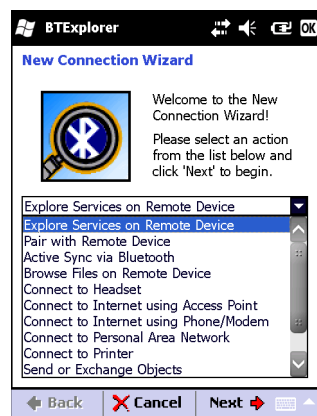


図 6-14 [BTExplorer] ウィンドウ

7. ドロップダウン リストから **[Explore Services on Remote Device]** (リモート デバイス上のサービスを検索) または他のオプションを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。

✓ **注** デバイス検出操作を以前に実行したことがない場合は、デバイスの検出が自動的に開始されます。デバイスの検出を以前に実行したことがある場合は、デバイスの検出処理がスキップされ、以前に検出されたデバイスのリストが表示されます。新たにデバイスの検出を実行するには、ウィンドウをタップして押し続け、ポップアップ メニューから **[Discover Devices]** (デバイスの検出) を選択します。

8. **BTExplorer** は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。

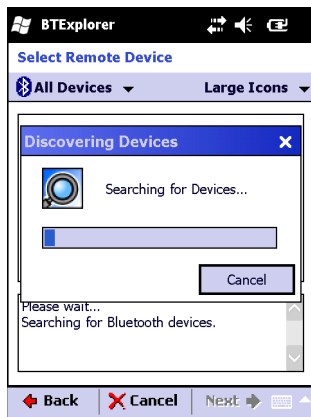


図 6-15 [Discover Devices] (デバイスの検出) ダイアログ ボックス

[Select Remote Device] (リモート デバイスの選択) ウィンドウに、検出されたデバイスが表示されます。



図 6-16 [Select Remote Device] (リモート デバイスの選択) ウィンドウ

- リストからデバイスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。MC75A は、選択した Bluetooth デバイス上でサービスを検索します。

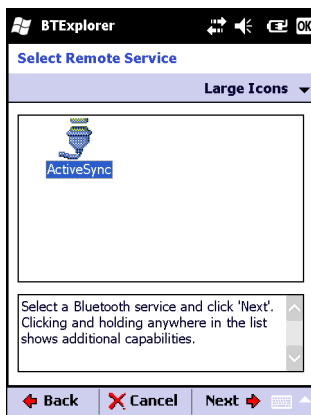


図 6-17 デバイスのサービス



注 MC75A がサービスを検出したが、そのサービスをサポートしていない場合、サービス アイコンは淡色表示されます。

- リストからサービスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。[Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。

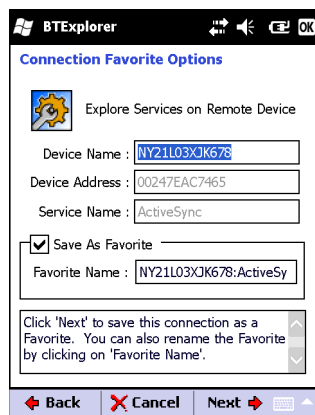


図 6-18 [Connection Favorite Options] (接続のお気に入りオプション) ウィンドウ

11. **[Favorite Name]** (お気に入りの名前) テキスト ボックスで、このサービスの名前を入力します。この名前は、**[Favorite]** (お気に入り) ウィンドウに表示されます。
12. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Summary]** (接続の概要) ウィンドウが表示されます。
13. **[Connect]** (接続) をタップして、サービスを **[Favorite]** (お気に入り) ウィンドウに追加して、サービスに接続します。



図 6-19 [Favorite] (お気に入り) ウィンドウ

使用可能なサービス

- ✓ **注** デバイスによっては、PIN を必要としないものもあります。必要とするかどうかは、デバイスの認証によって異なります。

使用可能なサービスについては、以降のセクションを参照してください。

File Transfer Service (ファイル転送サービス)

- ✓ **注** 共有フォルダは、セキュリティ上のリスクとなります。

MC75A と他の Bluetooth 対応デバイス間でファイルを転送するには、次の手順に従います。

1. MC75A で OBEX File Transfer (OBEX ファイル転送) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[6-44 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ](#)」を参照してください。

- ✓ **注** お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites]** (お気に入り) 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) 画面が表示されます。

2. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth デバイスを検索します。
3. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。**[Select Remote Service]** (リモート サービスの選択) ウィンドウが表示されます。
4. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
5. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Summary]** (接続の概要) ウィンドウが表示されます。
6. **[Connect]** (接続) をタップします。リモート デバイスのアクセス可能なフォルダが表示されます。

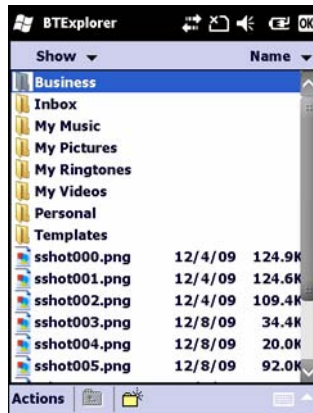


図 6-20 [File Transfer] (ファイル転送) ウィンドウ

7. コピーするファイルをダブルタップします。**[Save Remote File]** (リモート ファイルの保存) ウィンドウが表示されます。



図 6-21 [Save Remote File] (リモート ファイルの保存) ウィンドウ

8. ファイルをタップして押し続けます。ポップアップ メニューが表示されます。
9. 実行する操作を選択します。
 - **New** (新規) - リモート デバイス上にファイルまたはフォルダを新規作成します。
 - **Delete** (削除) - リモート デバイス上の選択したファイルを削除します。
 - **Get File** (ファイルを取得) - リモート デバイスから MC75A にファイルをコピーします。
 - **Put File** (ファイルをプット) - MC75A からリモート デバイスにファイルをコピーします。

ファイルまたはフォルダの新規作成

リモート デバイス上にファイルまたはフォルダを新規作成するには、次の手順に従います。

1. 画面上をタップして押し続け、**[New]** (新規) > **[Folder]** (フォルダ) または **[New]** (新規) > **[File]** (ファイル) を選択します。**[Create New Folder]** (フォルダの新規作成) または **[Create New File]** (ファイルの新規作成) ウィンドウが表示されます。
2. 新しいフォルダまたはファイルの名前を入力します。
3. **[OK]** をタップして、リモート デバイス上にフォルダまたはファイルを新規作成します。

ファイルの削除

リモート デバイスからファイルを削除するには、次の手順に従います。

1. 削除するファイルをタップして押し続け、**[Delete]** (削除) を選択します。
2. **[Delete Remote Device File]** (リモート デバイスのファイルの削除) ダイアログ ボックスで、**[Yes]** (はい) をタップします。

ファイルの取得

リモート デバイスからファイルをコピーするには、次の手順に従います。

1. ファイルをダブルタップするか、タップして押し続けて、**[Get]** (取得) を選択します。**[Save Remote File]** (リモート ファイルの保存) ウィンドウが表示されます。
2. ファイルを保存するディレクトリへ移動します。
3. **[Save]** (保存) をタップします。リモート デバイスから MC75A にファイルが転送されます。

ファイルのコピー

ファイルをリモート デバイスにコピーするには、次の手順に従います。

1. **[Action]** (操作) > **[Put]** (プット) をタップします。**[Send Local File]** (ローカル ファイルの送信) ウィンドウが表示されます。
2. ファイルを保存するディレクトリに移動して、ファイルを選択します。
3. **[Open]** (開く) をタップします。MC75A からリモート デバイスにファイルがコピーされます。

アクセス ポイントを使用したインターネットへの接続

ここでは、ネットワーク接続用の Bluetooth 対応 LAN アクセス ポイント (AP) にアクセスする方法について説明します。Internet Explorer を使用してサーバーに接続します。

1. MC75A が検出可能および接続可能になっていることを確認します。[6-34 ページの「\[Device Info\] \(デバイス情報\) タブ」](#)を参照してください。
2. MC75A で **Personal Area Networking** (パーソナル エリア ネットワーク) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[6-44 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ」](#)を参照してください。
3. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth AP を検索します。



注 お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites]** (お気に入り) 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) 画面が表示されます。

4. **[Personal Area Network]** (パーソナル エリア ネットワーク) または **[Network Access]** (ネットワーク アクセス) サービスを選択して、ポップアップ メニューから **[Connect]** (接続) を選択します。MC75A は、アクセス ポイント経由で接続します。
5. **[Start]** (スタート) > **[Internet Explorer]** を選択します。**[Internet Explorer]** ウィンドウが表示されます。
6. アドレス フィールドにインターネット アドレスを入力して、**[Enter]** ボタンをタップします。Web ページが読み込まれます。



注 Network Access Profile (ネットワーク アクセス プロファイル) はサポートしていません。

Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)

ダイヤルアップ ネットワークにより、MC75A に PC またはラップトップを接続して、MC75A をオフィスのネットワークまたは ISP に接続するモデムとして使用することができます。

ダイヤルアップ ネットワークの設定を行う前に、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するのに必要なダイヤルアップ情報およびその他の必要な設定 (ユーザー名、パスワード、ドメイン名など) を取得してください。新しい Bluetooth 接続を作成するには、次の手順に従います。

1. MC75A が検出可能および接続可能になっていることを確認します。6-34 ページの「[Device Info] (デバイス情報) タブ」を参照してください。
2. MC75A で **Dial-Up Networking** (ダイヤルアップ ネットワーク) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、6-44 ページの「[Profiles] (プロファイル) タブ」を参照してください。
3. **[Menu]** (メニュー) > **[Settings]** (設定) > **[Services]** (サービス) タブをタップします。
4. **[Add]** (追加) ボタンをタップします。
5. **[Dial-up networking Service]** (ダイヤルアップ ネットワーク サービス) を選択します。
6. **[OK]** をタップします。**[Edit Local Services]** (ローカル サービスの編集) ウィンドウが表示されます。

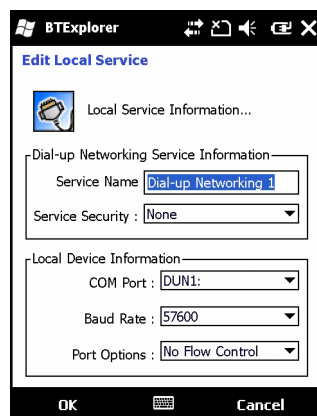


図 6-22 [Edit Local Services] (ローカル サービスの編集) ウィンドウ

7. **[Local COM Port]** (ローカル COM ポート) ドロップダウン リストで、**[DUN1]** (GSM 構成の場合) または **[WMP9]** (CDMA 構成の場合) を選択します。
8. **[OK]** を 2 回タップします。
9. PC またはラップトップで、製造元の指示に従って Bluetooth の設定を行います。
10. PC またはラップトップの Bluetooth ソフトウェアで、MC75A を検索して、**[Dial-up Networking]** (ダイヤルアップ ネットワーク) サービスを選択します。
11. PC またはラップトップのダイヤルアップ ソフトウェアを使用して、MC75A に接続します。
12. MC75A の電話機能により ISP の番号がダイヤルされて、ISP に接続します。
13. 確認するには、PC またはラップトップで Internet Explorer を起動して Web サイトを開きます。

Object Exchange Push Services (オブジェクト交換プッシュ サービス)

Object Exchange (OBEX) は、Bluetooth を使用して連絡先や画像などのオブジェクトを 共有できるようにする一連のプロトコルです。

他の Bluetooth 対応デバイスと連絡先情報を交換するには、次の手順に従います。

1. MC75A が検出可能および接続可能になっていることを確認します。[6-34 ページの「\[Device Info\] \(デバイス情報\) タブ」](#)を参照してください。
2. MC75A で **OBEX Object Push** (OBEX オブジェクト プッシュ) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[6-44 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ」](#)を参照してください。



注 お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites]** (お気に入り) 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) 画面が表示されます。

3. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth デバイスを検索します。
4. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
5. **[OBEX Object Push]** サービスを選択して **[Connect]** (接続) を選択します。**[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。
6. **[Action]** (操作) ドロップダウン リストで、次のいずれかのオプションを選択します。**[Send Contact Information]** (連絡先情報の送信)、**[Swap Contact Information]** (連絡先情報の入れ替え)、**[Fetch Contact Information]** (連絡先情報の取得)、**[Send a Picture]** (画像の送信)。

連絡先の送信

他のデバイスに連絡先を送信するには、次の手順に従います。



注 連絡先を送信および受信する前に、デフォルトの連絡先を設定する必要があります。

1. **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) をタップして押し続けて、**[Connect]** (接続) を選択します。**[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。



図 6-23 [OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. **[Action]** (操作) ドロップダウン リストで、**[Send Contact Information]** (連絡先情報の送信) を選択します。
3. をタップします。**[Select Contact Entry]** (連絡先エントリの選択) ウィンドウが表示されます。



図 6-24 [Select Contact Entry] (連絡先エントリの選択) ウィンドウ

4. 他のデバイスに送信する連絡先を選択します。
5. [OK] をタップします。
6. [OK] をタップして、他のデバイスに連絡先を送信し、連絡先を受け付けるための確認ダイアログ ボックスを他のデバイスに表示します。[Send Contact] (連絡先の送信) ダイアログ ボックスが表示されます。
7. [OK] をタップします。

連絡先の入れ替え

他のデバイスと連絡先を入れ替えるには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 連絡先を入れ替える場合は、連絡先を送信する前にデフォルトの連絡先を設定する必要があります。
- MC75A が接続可能になっていることを確認します。

1. [OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) をタップして押し続けて、[Connect] (接続) を選択します。[OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。

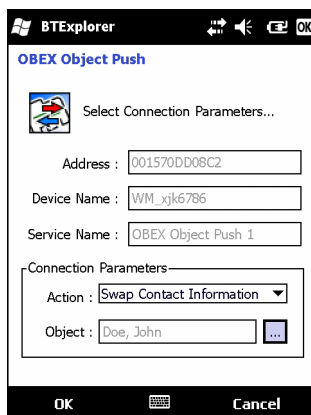


図 6-25 [OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. [Action] (操作) ドロップダウン リストで、[Swap Contact Information] (連絡先情報の入れ替え) を選択します。
3. [Object] をタップします。[Select Contact Entry] (連絡先エントリの選択) ウィンドウが表示されます。



図 6-26 [Select Contact Entry] (連絡先エントリの選択) ウィンドウ

4. 他のデバイスに送信する連絡先を選択します。
5. [OK] をタップします。
6. [OK] をタップして、他のデバイスと連絡先を入れ替えて、連絡先を受け付けるための確認ダイアログ ボックスを他のデバイスに表示します。
7. [OK] をタップします。

連絡先の取得

他のデバイスから連絡先を取得するには、次の手順に従います。



注 連絡先を送信および受信する前に、デフォルトの連絡先を設定する必要があります。

MC75A が接続可能になっていることを確認します。

1. [OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) をタップして押し続けて、[Connect] (接続) を選択します。[OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。



図 6-27 [OBEX Object Push] (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ

2. [Action] (操作) ドロップダウン リストで、[Fetch Contact Information] (連絡先情報の取得) を選択します。
3. [OK] をタップします。他のデバイス上の連絡先がコピーされます。

画像の送信

他のデバイスへ画像を送信するには、次の手順に従います。

1. **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) をタップして押し続けて、**[Connect]** (接続) を選択します。**[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウが表示されます。



図 6-28 **[OBEX Object Push]** (OBEX オブジェクト プッシュ) ウィンドウ


2. **[Action:]** (操作) ドロップダウン リストで、**[Send A Picture]** (画像の送信) を選択します。
3.  をタップします。**[Send Local Picture]** (ローカルの画像の送信) ウィンドウが表示されます。



図 6-29 **[Send Local Picture]** (ローカルの画像の送信) ウィンドウ

4. 他のデバイスに送信する画像を選択します。
5. **[Open]** (開く) をタップします。
6. **[OK]** をタップして、他のデバイスに画像を送信します。送信先のデバイスに、画像を受け付けるための確認ダイアログ ボックスが表示されます。**[Send Picture]** (画像の送信) ダイアログ ボックスが表示されます。
7. **[OK]** をタップします。

Headset Services (ヘッドセット サービス)

1. Bluetooth ヘッドセットに接続するには、次の手順に従います。MC75A が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。6-34 ページの「[Device Info] (デバイス情報) タブ」を参照してください。
2. **Headset Audio Gateway Service** (ヘッドセット音声ゲートウェイ サービス) が MC75A で有効になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。詳細については、6-34 ページの「[Services] (サービス) タブ」を参照してください。
3. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth ヘッドセットを検索します。
4. デバイスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。
5. **[Headset]** (ヘッドセット) サービス名を選択して、**[Connect]** (接続) を選択します。ヘッドセットでピープ音が聞こえます。Bluetooth デバイスとの通信に関する指示については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

✓ **注** Bluetooth ヘッドセットと Headset Services (ヘッドセット サービス) を使用している場合、ヘッドセットで通話を受けたり終了させることはできません。MC75A で通話を受けたり終了させたりする必要があります。

6. ヘッドセットの通話ボタンを押し、接続を受け入れます。Bluetooth ヘッドセットでシステムの音声が入ります。
7. MC75A で通話を受けた場合は、MC75A で **[Accept]** (通話) ボタンをタップして通話に応答します。通話ボタンを押すと、Bluetooth 接続が切断されます。

✓ **注** 最近の Bluetooth ヘッドセットは、デバイス依存型で、前回接続したデバイスを記憶しています。ヘッドセットの接続時に問題が発生した場合は、ヘッドセットを検出モードにしてください。詳細については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

Hands-free Services (ハンズフリー サービス)

Bluetooth ヘッドセットに接続するには、次の手順に従います。

✓ **注** 最近の Bluetooth ヘッドセットは、デバイス依存型で、前回接続したデバイスを記憶しています。ヘッドセットの接続時に問題が発生した場合は、ヘッドセットを検出モードにしてください。詳細については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

WAN 音声のみがヘッドセットに送信されます。システムの音声は、MC75A のスピーカーから出力されます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルを使用して、通話を受けたりリダイヤルすることができます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルは、3 者通話をサポートしていません。

1. MC75A が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。6-34 ページの「[Device Info] (デバイス情報) タブ」を参照してください。
2. MC75A で **Hands Free** (ハンズフリー) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、6-44 ページの「[Profiles] (プロファイル) タブ」を参照してください。
3. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth ハンズフリー ヘッドセットを検索します。
4. ハンズフリー デバイスを選択して、[Next] (次へ) をタップします。
5. **[Hands-free]** (ハンズフリー) サービス名を選択して、**[Connect]** (接続) を選択します。MC75A がヘッドセットに接続されます。Bluetooth デバイスとの通信に関する指示については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。
6. 接続が確立されている場合、電源ボタンを押しても MC75A はサスペンド モードになりません。このことを通知するメッセージが表示されます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルで WAN 通話が切断されると、電源ボタンが有効になります。



図 6-30 [WWAN Bluetooth Audio Notification] (WWAN Bluetooth 音声通知) ダイアログ ボックス

Serial Port Service (シリアル ポート サービス)

無線 Bluetooth シリアル ポート接続は、物理的なシリアル ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアル ポートに設定します。

シリアル ポート接続を確立するには、次の手順に従います。

1. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth シリアル デバイスを検索します。
2. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
3. **[Local COM Port:]** (ローカル COM ポート) ドロップダウン リストで、COM ポートを選択します。
4. **[Finish]** (完了) をタップします。

シリアル ポートサービスを使用した ActiveSync

✓ **注** デフォルトでは、COM ポート COM5、COM9、COM11、COM21、COM22、および COM23 が Bluetooth 仮想ポートです。アプリケーションがこれらのいずれかのポートを開くと、Bluetooth ドライバが有効になり、Bluetooth 接続を確立するための手順が表示されます。

ActiveSync 用の無線 Bluetooth シリアル ポート接続は、物理的なシリアル ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアル ポートに設定する必要があります。

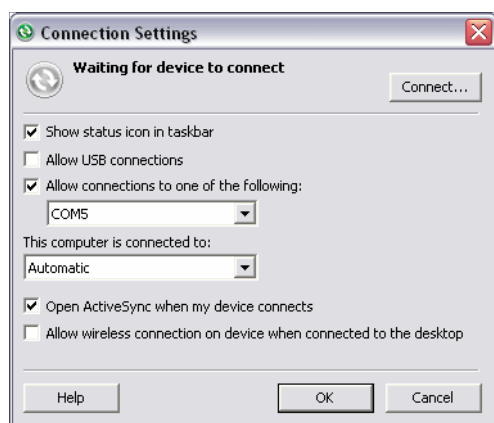


図 6-31 PC の [ActiveSync Connection Settings] (ActiveSync 接続設定) ウィンドウ

ActiveSync 接続を確立するには、次の手順に従います。

1. MC75A で **Sync** (同期) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[6-44 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ」](#)を参照してください。
2. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、PC などの Bluetooth デバイスを検索します。ドロップダウン リストで、**[ActiveSync via Bluetooth]** (Bluetooth 経由で ActiveSync) を選択します。
3. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
4. **[Connect]** (接続) をタップします。**[Remote Service Connection]** (リモート サービス接続) ウィンドウが表示されます。

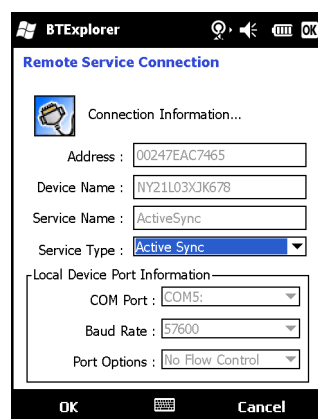



図 6-32 **[Remote Service Connection]** (リモート サービス接続) ウィンドウ

5. **[Service Type]** (サービスのタイプ) ドロップダウン リストで、**[ActiveSync]** を選択します。
6. **[OK]** をタップします。MC75A が PC への接続を確立し、ActiveSync セッションが開始されます。
7. **[Finish]** (完了) をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
8. セッションを終了するには、**[Favorite]** (お気に入り) ウィンドウで ActiveSync アイコンをタップして、ポップアップ ウィンドウから **[Disconnect]** (切断) を選択します。

Personal Area Network Services (パーソナル エリア ネットワーク サービス)

 **注** このプロファイルは、アドホックおよび PAN ユーザーをサポートしています。Network Access Profile (ネットワーク アクセス プロファイル) はサポートしていません。

複数の Bluetooth デバイスを接続して、ファイルを共有したり、共同作業を行ったり、マルチプレイヤー ゲームをプレイしたりすることができます。パーソナル エリア ネットワーク接続を確立するには、次の手順に従います。

1. MC75A で **Personal Area Networking** (パーソナル エリア ネットワーク) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、[6-44 ページの「\[Profiles\] \(プロファイル\) タブ」](#)を参照してください。
2. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Bluetooth デバイスを検索します。
3. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
4. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Summary]** (接続の概要) ウィンドウが表示されます。
5. **[Connect]** (接続) をタップします。MC75A が Bluetooth デバイスに接続されます。

IrMC Synchronization Services (IrMC 同期サービス)

IrMC 同期を使用して、PIM の連絡先をリモート デバイスと MC75A 間で同期します。IrMC 同期を確立するには、次の手順に従います。

1. MC75A が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。6-34 ページの「[Device Info] (デバイス情報) タブ」を参照してください。
2. MC75A で **Sync** (同期) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、6-44 ページの「[Profiles] (プロファイル) タブ」を参照してください。
3. **[Menu]** (メニュー) > **[Settings]** (設定) > **[Services]** (サービス) タブをタップします。
4. **[Add]** (追加) ボタンをタップします。
5. **[IrMC Synchronization]** (IrMC 同期) を選択します。
6. **[OK]** をタップします。**[Edit Local Services]** (ローカル サービスの編集) ウィンドウが表示されます。
7. **[OK]** を 2 回タップします。
8. **Connection Wizard** (接続ウィザード) を使用して、Car Kit (自動車用キット) などの Bluetooth デバイスを検索します。
9. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
10. **[IrMA Synchronization]** (IrMA 同期) をタップして押し続け、ポップアップ メニューで **[Connect]** (接続) を選択します。



注 Car Kit (自動車用キット) に自動的に連絡先を転送するには、MC75A で IrMC Synchronization (IrMC 同期) サービスが有効になっていることを確認します。

A2DP/AVRCP Service (A2DP/AVRCP サービス)

A2DP/AVRCP は高品質ステレオ ヘッドセットに接続する場合に使用します。

1. MC75A が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。6-34 ページの「[Device Info] (デバイス情報) タブ」を参照してください。
2. リモート Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。手順はデバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
3. MC75A で **A2DP/AVRCP** プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、6-44 ページの「[Profiles] (プロファイル) タブ」を参照してください。
4. **[Menu]** (メニュー) > **[Settings]** (設定) > **[Services]** (サービス) タブをタップします。
5. **[Add]** (追加) ボタンをタップします。
6. **Advanced Audio Distribution Services** (高品質オーディオ配信サービス) を選択します。
7. **[OK]** をタップします。**[Edit Local Services]** (ローカル サービスの編集) ウィンドウが表示されます。
8. **[OK]** を 2 回タップします。
9. **[Menu]** (メニュー) > **[New Connection]** (新規接続) をタップします。
10. ドロップダウン リストから **[Connect to High-Quality Audio]** (高品質オーディオ デバイスに接続) を選択します。
11. **[Next]** (次へ) をタップします。
12. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
13. リモート デバイスの PIN コードを入力して **[OK]** をタップします。**[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
14. **[Next]** (次へ) をタップします。
15. **[Connect]** (接続) をタップします。MC75A が高品質オーディオ ヘッドセットに接続されます。

ハンズフリー サービスを使用できるステレオ ヘッドセットの場合は、A2DP サービスに接続後、ハンズフリー サービスに接続します。

1. **[Menu]** (メニュー) > **[New Connection]** (新規接続) をタップします。
2. ドロップダウン リストから **[Connect to Headset]** (ヘッドセットを接続) を選択します。
3. **[Next]** (次へ) をタップします。
4. ステレオ ヘッドセットを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします
5. **[Hands-Free unit]** (ハンズフリー装置) サービスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。
7. **[Connect]** (接続) をタップします。

HID デバイスの接続

MC75A は、Bluetooth キーボードなどのヒューマン インタフェース デバイス (HID) に接続できます。

1. MC75A が接続可能になっていることを確認します (自動再接続の開始時に必要です)。6-34 ページの「**[Device Info]** (デバイス情報) タブ」を参照してください。
2. リモート Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。手順はデバイスのユーザー マニュアルを参照してください
3. MC75A で **HID Client** (HID クライアント) プロファイルが有効になっていることを確認します。詳細については、6-44 ページの「**[Profiles]** (プロファイル) タブ」を参照してください。
4. **[Menu]** (メニュー) > **[New Connection]** (新規接続) をタップします。
5. ドロップダウン リストから **[Explore Services on Remote Device]** (リモート デバイス上のサービスを検索) を選択します。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。
7. デバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
8. サービス を選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
9. **[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウが表示されます。
10. **[Next]** (次へ) をタップします。
11. **[Connect]** (接続) をタップします。MC75A が HID デバイスに接続されます。

検出したデバイスとの結合

結合とは、セキュリティ保護された方法で情報を交換するために、MC75A と他の Bluetooth デバイス間で構築される関係です。結合の構築には、2 つのデバイスに同じ PIN を入力することが含まれます。結合を構築して Bluetooth 無線をオンにすると、デバイスは結合を認識し、再度 PIN を入力することなく情報を交換することができます。

検出された Bluetooth デバイスと結合するには、次の手順に従います。



注 お気に入りの接続をすでに作成した場合は、**[Favorites]** (お気に入り) 画面が表示されます。お気に入りの接続を作成していない場合は、**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) 画面が表示されます。

1. **[Start]** (スタート) > **[BTE Explorer]** をタップします。**[BTE Explorer]** ウィンドウが表示されます。
2. **[Menu]** (メニュー) > **[New Connection]** (新規接続) をタップします。**[New Connection Wizard]** (新規接続ウィザード) が表示されます。
3. ドロップダウン リストで **[Pair with Remote Device]** (リモート デバイスとペアリング) を選択します。

4. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Select Remote Device]** (リモート デバイスの選択) ウィンドウが表示されます。

✓ **注** 時間を節約するために、以前に検出されたデバイスが表示されます。新たにデバイスの検出を実行するには、リスト領域をタップして押し続け、ポップアップ メニューから **[Discover Devices]** (デバイスの検出) を選択します。



図 6-33 **[Select Remote Device]** (リモート デバイスの選択) ウィンドウ

5. リストからデバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。**[PIN Code Request]** (PIN コード要求) ウィンドウが表示されます。



図 6-34 **[Connection Favorite Options]** (接続のお気に入りオプション) ウィンドウ

6. **[PIN Code]** (PIN コード) フィールドに PIN コードを入力します。
7. **[OK]** をタップします。**[Pairing Status]** (ペアリングのステータス) ウィンドウが表示されます。
8. **[Finish]** (完了) をタップします。デバイスが正常にペアリングされます。デバイス名が **[Trusted Devices]** (信頼されたデバイス) ウィンドウに移動します。

結合されたデバイスの削除

不要になったデバイスを削除するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[BTExplorer]** をタップします。**[BTExplorer]** ウィンドウが表示されます。
2. **[Menu]** (メニュー) > **[Trusted Devices]** (信頼されたデバイス) をタップします。**[Trusted Devices]** (信頼されたデバイス) ウィンドウが表示されます。
3. デバイスをタップして押し続け、ポップアップメニューで **[Delete Link Key]** (リンク キーの削除) を選択します。
4. 確認ダイアログ ボックスが表示されます。**[Yes]** (はい) をタップします。

結合の了承

リモート デバイスが MC75A と結合することを求めている場合、PIN を入力して権限を与えます。

1. MC75A が検出可能および接続可能になっていることを確認します。[6-34 ページの「Bluetooth の設定」](#)を参照してください。リモート デバイスと結合することが求められると、**[PIN Code Request]** (PIN コード要求) ウィンドウが表示されます。



図 6-35 **[PIN Code Request]** (PIN コード要求) ウィンドウ

2. **[PIN Code:]** (PIN コード) テキスト ボックスに、結合を求めているデバイスと同じ PIN を入力します。PIN は、1 ～ 16 文字でなければなりません。
3. 必要に応じて、**[Device Name:]** (デバイス名) テキスト ボックスで、結合を求めているデバイスの名前を編集します。
4. **[OK]** をタップして、結合を構築します。これで MC75A は、他のデバイスと情報を交換することができます。

Bluetooth の設定

[BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) ウィンドウを使用して、**BTExplorer** アプリケーションの動作を設定します。[Menu] (メニュー) > [Settings] (設定) をタップします。[BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) ウィンドウが表示されます。

[Device Info] (デバイス情報) タブ

[Device Info] (デバイス情報) タブを使用して、MC75A の Bluetooth 接続モードを設定します。



図 6-36 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Device Info] (デバイス情報) タブ

表 6-3 [Device Info] (デバイス情報) タブの設定項目

項目	説明
デバイス名	MC75A の名前が表示されます。
Discoverable Mode (検出可能モード)	他の Bluetooth デバイスが MC75A を検出できるようにするかどうかを選択します。
Connectable Mode (接続可能モード)	他の Bluetooth デバイスが MC75A に接続できるようにするかどうかを選択します。

[Services] (サービス) タブ

注 リモート デバイスで MC75A サービスを使用するときは、MC75A が検出可能で接続可能になっていることを確認してください。

[Services] (サービス) タブを使用して、Bluetooth サービスを追加または削除します。

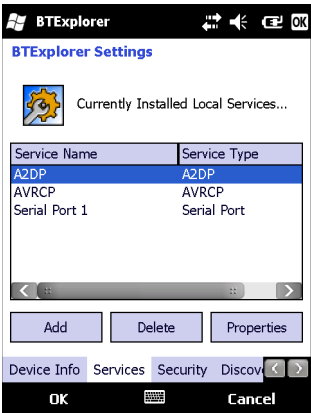


図 6-37 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Services] (サービス) タブ

サービスを追加するには、次の手順に従います。

1. **[Add]** (追加) をタップします。**[Add Local Service]** (ローカル サービスの追加) ウィンドウが表示されます。

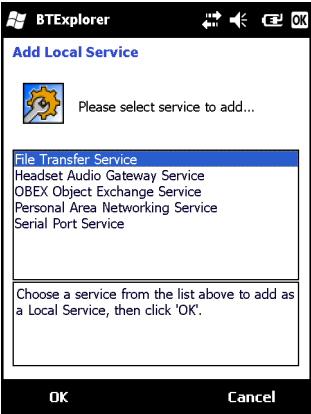


図 6-38 **[Add Local Service]** (ローカル サービスの追加) ウィンドウ

2. リストで、追加するサービスを選択します。
3. **[OK]** をタップします。選択したサービスの **[Edit Local Service]** (ローカル サービスの編集) ウィンドウが表示されます。
4. 適切な情報を選択して、**[OK]** をタップします。使用可能なサービスについては、以降のセクションを参照してください。

Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス)

Dial-Up Networking Service (ダイヤルアップ ネットワーク サービス) により、他の Bluetooth デバイスがダイヤルアップ モデムにアクセスできるようになります。

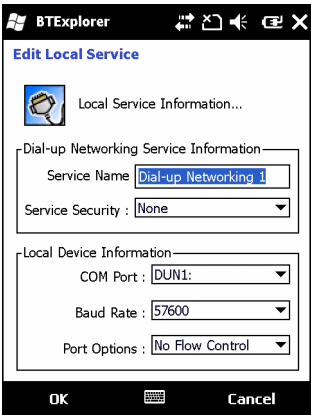


図 6-39 **[BTExplorer Settings]** (BTExplorer の設定) - **[Dial-up Networking Information]** (ダイヤルアップ ネットワーク情報)

表 6-4 **[Dial-up Networking Information]** (ダイヤルアップ ネットワーク情報) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。 [None] (なし)、 [Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。

表 6-4 [Dial-up Networking Information] (ダイヤルアップ ネットワーク 情報) の設定項目

項目	説明
Local COM Port (ローカル COM ポート)	COM ポートを選択します。
Local Baud Rate (ローカル ボーレート)	通信ボーレートを選択します。
Local Port Options (ローカル ポートの オプション)	ポートのオプションを選択します。

File Transfer Service (ファイル転送サービス)

File Transfer Service (ファイル転送サービス) により、他の Bluetooth デバイスがファイルを参照できるようになります。

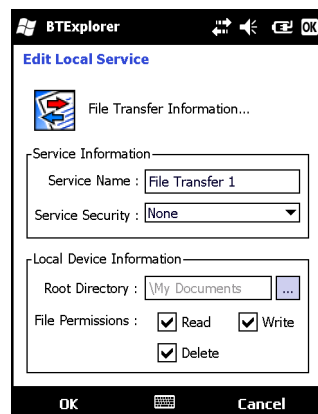


図 6-40 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [File Transfer Information] (ファイル転送情報)

表 6-5 [File Transfer Information] (ファイル転送情報) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。 [None] (なし)、 [Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
Root Directory (ルート ディレクトリ)	他の Bluetooth デバイスがアクセスすることができるディレクトリを選択します。
File Permissions (ファイル権限)	選択したディレクトリのファイル権限を選択します。適切なボックスをオンにして、読み取りアクセス権、書き込みアクセス権、および削除アクセス権を与えます。

Hands-Free Audio Gateway Service (ハンズフリー音声ゲートウェイ サービス)

Hands-Free Audio Gateway Service (ハンズフリー音声ゲートウェイ サービス) により、ハンズフリー デバイスに接続できるようになります。



図 6-41 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Hands-Free Audio Gateway] (ハンズフリー音声ゲートウェイ サービス)

表 6-6 [Hands-Free Audio Gateway] (ハンズフリー音声ゲートウェイ) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	音声サービスの名前が表示されます。

Headset Audio Gateway Service (ヘッドセット音声ゲートウェイ サービス)

Headset Audio Gateway Service (ヘッドセット音声ゲートウェイ サービス) により、ヘッドセット デバイスに接続できるようになります。



図 6-42 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Headset Audio Gateway] (ヘッドセット音声ゲートウェイ)

表 6-7 [Headset Audio Gateway] (ヘッドセット音声ゲートウェイ) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	音声サービスの名前が表示されます。

IrMC Synchronization Service (IrMC 同期サービス)

IrMC Synchronization Services (IrMC 同期サービス) を使用して、リモート デバイスと MC75A 間で PIM 連絡先を同期します。

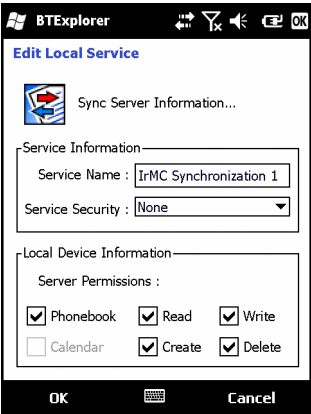


図 6-43 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [IrMC Synchronization] (IrMC 同期)

表 6-8 [IrMC Synchronization] (IrMC 同期) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。 [None] (なし)、 [Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
Phonebook (電話帳)	MC75A の連絡先と同期させるには、 [Phonebook] (電話帳) チェックボックスをオンにします。
	[Read] (読み取り)、 [Write] (書き込み)、 [Create] (作成)、 [Delete] (削除) を選択して、電話帳の権限を与えます。

OBEX Object Push Service (OBEX オブジェクト プッシュ サービス)

OBEX オブジェクト プッシュ サービスにより、他の Bluetooth デバイスが連絡先、名刺、画像、予定、およびタスクを MC75A にプッシュできるようになります。

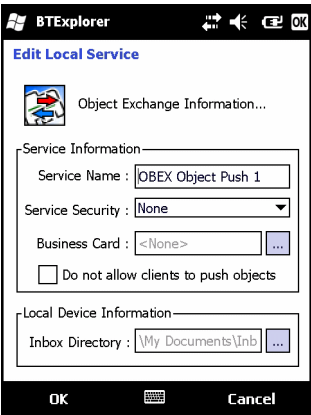


図 6-44 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [OBEX Exchange Information] (OBEX 交換の情報)

表 6-9 [OBEX Exchange Information] (OBEX 交換の情報) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。 [None] (なし)、 [Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
Do not allow clients to push objects (クライアントがオブジェクトをプッシュするのを許可しない)	クライアントがオブジェクトを MC75A にプッシュできないようにします。
Inbox Directory (受信ディレクトリ)	他の Bluetooth デバイスがファイルを保存することができるディレクトリを選択します。

Personal Area Networking Service (パーソナル エリア ネットワーク サービス)

Personal Area Networking Service (パーソナル エリア ネットワーク サービス) は、他の Bluetooth デバイスと通信することができるパーソナル エリア ネットワークをホストします。



図 6-45 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Personal Area Networking] (パーソナル エリア ネットワーク)

表 6-10 [Personal Area Networking] (パーソナル エリア ネットワーク) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。 [None] (なし)、 [Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証/暗号化) を選択できます。
Support Group Ad-Hoc Networking (グループ アドホック ネットワークをサポート)	選択すると、アドホック ネットワークが有効になります。

Serial Port Service (シリアル ポート サービス)

Serial Port Service (シリアル ポート サービス) により、他の Bluetooth デバイスが COM ポートにアクセスできるようになります。



図 6-46 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Serial Port Service] (シリアル ポートサービス)

表 6-11 [Serial Port Service] (シリアル ポート サービス) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	サービス名が表示されます。
Service Security (サービスのセキュリティ)	ドロップダウン リストからセキュリティの種類を選択します。[None] (なし)、[Authenticate] (認証)、または [Authenticate/Encrypt] (認証 / 暗号化) を選択できます。
Local COM Port (ローカル COM ポート)	COM ポートを選択します。
Local Baud Rate (ローカル ボーレート)	通信ボーレートを選択します。
Local Port Options (ローカル ポートのオプション)	ポートのオプションを選択します。

Advanced Audio Distribution Service (高品質オーディオ配信サービス)

Advanced Audio Distribution (高品質オーディオ配信) サービスは、高品質ステレオ オーディオをサポートする Bluetooth デバイスとの接続を提供します。

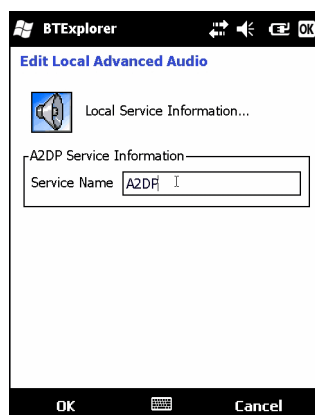


図 6-47 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Advanced Audio Distribution] (高品質オーディオ配信)

表 6-12 [Advanced Audio Distribution] (高品質オーディオ配信) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	音声サービスの名前が表示されます。

Audio Video Remote Control Service (オーディオ ビデオ リモートコントロール サービス)

Audio Video Remote Control (オーディオ ビデオ リモート コントロール) は、オーディオ リモート コントロール機能をサポートする Bluetooth デバイスとの接続を提供します。

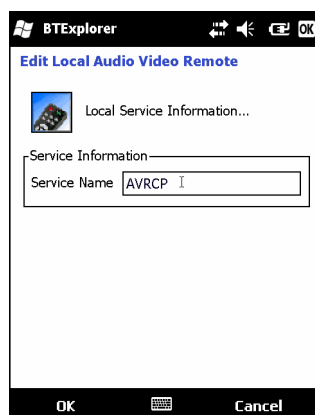


図 6-48 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Audio Video Remote Control] (オーディオ ビデオ リモートコントロール)

表 6-13 [Audio Video Remote Control Service] (オーディオ ビデオ リモートコントロール サービス) の設定項目

項目	説明
Service Name (サービス名)	音声サービスの名前が表示されます。

[Security] (セキュリティ) タブ

セキュリティ設定では、Bluetooth のグローバル セキュリティ ポリシーを設定できます。これらの設定は、Authenticate (認証) または Authenticate/Encryption (認証/暗号化) に設定したローカル サービスでのみ有効です。ローカル サービスの認証は、[Services] (サービス) タブで設定できます。

個別のサービスのセキュリティ設定を調整するには、**[Services]** (サービス) タブを選択し、個別のサービスを選択して、**[Properties]** (プロパティ) を選択します。



図 6-49 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Security] (セキュリティ) タブ

注 PIN コードを使用するには、各ローカル サービスの [Service Security] (サービスのセキュリティ) ドロップダウン リストで **[Authenticate]** (認証) または **[Authenticate/Encryption]** (認証/暗号化) を選択します。

表 6-14 [Security] (セキュリティ) タブの設定項目

項目	説明
Use PIN Code (Incoming Connection) (PIN コードを使用 (受信接続))	オンにすると、 [PIN Code] (PIN コード) テキスト ボックスに入力した PIN コードを自動的に使用します。この自動 PIN コード機能は使用しないことをお勧めします。詳細については、 6-2 ページの「セキュリティ」 を参照してください。
PIN Code (PIN コード)	PIN コードを入力します。
Encrypt Link On All Outgoing Connections (すべての送信接続でリンクを暗号化)	他の Bluetooth デバイスへの送信接続で暗号化を有効にするかまたは無効にするかを選択します。

[Discovery] (検出) タブ

[Discovery] (検出) タブを使用して、検出されたデバイスを設定または変更します。

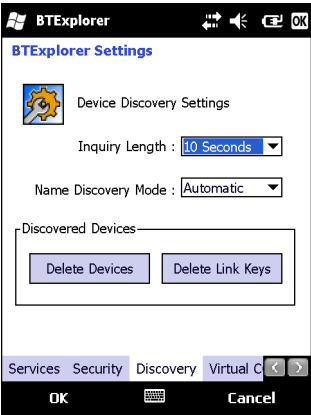


図 6-50 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Discovery] (検出) タブ

表 6-15 [Discovery] (検出) タブの設定項目

項目	説明
Inquiry Length (照会時間)	MC75A がエリア内の Bluetooth デバイスを検出する時間を設定します。
Name Discovery Mode (名前検出モード)	[Automatic] (自動) または [Manual] (手動) を選択して、Bluetooth デバイスを検出した後にデバイス名を自動的に検出するかどうかを指定します。
[Discovered Devices] (検出されたデバイス) - [Delete Devices] (デバイスの削除)	検出されたすべてのデバイスとリンク キーをメモリから削除します。
[Discovered Devices] (検出されたデバイス) - [Delete Linked Keys] (リンク キーの削除)	リモートの Bluetooth デバイスからすべてのペアリングを削除し、すべてのデバイスを信頼されていないデバイスにします。

[Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) タブ

[Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) では、BTExplorer が仮想 COM ポートに使用する COM ポートを定義します。仮想 COM ポートとして使用するポートのチェックボックスをオンにします。設定が完了したら、**[Apply]** (適用) を選択して変更を適用するか、**[Revert]** (元に戻す) を選択して元の設定に戻します。

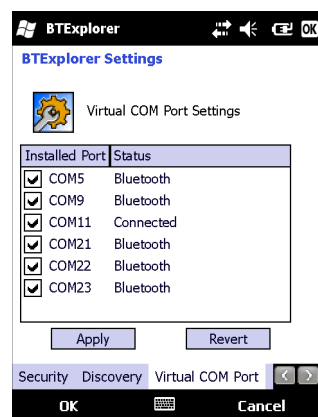


図 6-51 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) タブ

表 6-16 [Virtual COM Port] (仮想 COM ポート) タブの設定項目

項目	説明
COM5:Bluetooth	COM ポート 5 の有効/無効を切り替えます。
COM9:Bluetooth	COM ポート 9 の有効/無効を切り替えます。
COM11:Bluetooth	COM ポート 11 の有効/無効を切り替えます。
COM21:Bluetooth	COM ポート 21 の有効/無効を切り替えます。
COM22:Bluetooth	COM ポート 22 の有効/無効を切り替えます。
COM23:Bluetooth	COM ポート 23 の有効/無効を切り替えます。

[HID] タブ

[HID] タブを使用して、ヒューマン インタフェース デバイスを設定します。Human Interface Device Profile (ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル) プログラミング インタフェースは、HID の機能を実装するためのプロトコルとプロシージャを定義します。

マウス、ジョイスティック、キーボードなどのデバイスのサポートを提供します。

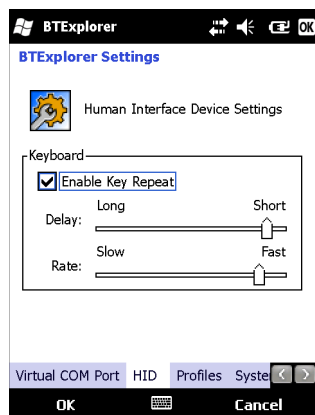


図 6-52 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [HID] タブ

表 6-17 [HID] タブの設定項目

項目	説明
Enable Key Repeat (キー リピートを有効にする)	キー リピートが有効になります。
Delay (待ち時間)	キー リピートの待ち時間を長くするには、[Delay] (待ち時間) スライダを左にドラッグします。キー リピートの待ち時間を短くするには、[Delay] (待ち時間) スライダを右にドラッグします。
Rate (速度)	キー リピート速度を速くするには、[Rate] (速度) スライダを右にドラッグします。キー リピート速度を遅くするには、[Rate] (速度) スライダを左にドラッグします。

[Profiles] (プロファイル) タブ

[Profiles] (プロファイル) タブを使用して、Bluetooth サービス プロファイルの読み込みまたは削除を行います。使用していないプロファイルを削除して、メモリを節約することができます。

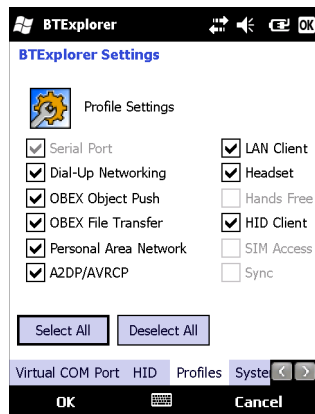


図 6-53 [BTExplorer Settings] (BTExplorer の設定) - [Profiles] (プロファイル) タブ

1. プロファイルを読み込む (有効にする) には、プロファイルの横にあるチェックボックスをタップします。
[Serial Port] (シリアル ポート) プロファイルは、常に有効になっていて、削除することはできません。
2. すべてのプロファイルを選択する場合は [Select All] (すべて選択) をタップし、すべてのプロファイルを選択解除する場合は [Deselect All] (すべて選択解除) をタップします。
3. [Apply] (適用) をタップしてプロファイルを有効にして、[Close] (閉じる) をタップしてアプリケーションを終了します。

[System Parameters] (システムパラメータ) タブ

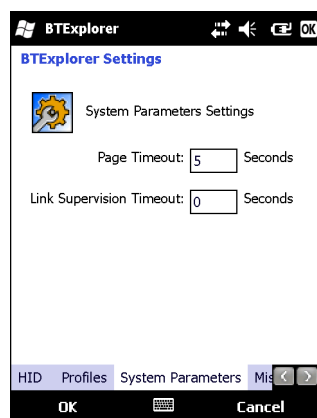


図 6-54 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [System Parameters] (システムパラメータ) タブ

表 6-18 [System Parameters] (システムパラメータ) タブの設定項目

項目	説明
Page Timeout (ページ タイムアウト)	MC75A がデバイスを検索する時間を設定します。この時間が経過すると、次のデバイスが検索されます。
Link Supervision Timeout (リンク監視タイムアウト)	デバイスが通信圏外になってから通信圏内に戻るまで MC75A が待機する時間を設定します。設定時間内にデバイスが通信圏内に戻ってこない場合、MC75A は接続を切断します。

[Miscellaneous] (その他) タブ

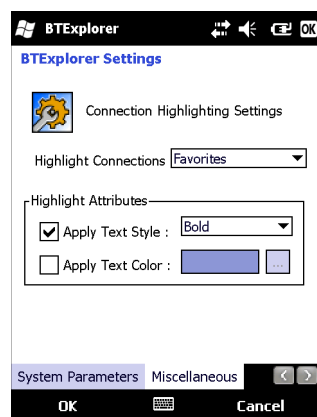


図 6-55 [BTE Explorer Settings] (BTE Explorer の設定) - [Miscellaneous] (その他) タブ

表 6-19 [Miscellaneous] (その他) タブの設定項目

項目	説明
Highlight Connections (接続を強調表示)	接続されたときに強調表示する接続の種類を選択します。Wizard Mode (ウィザードモード) の場合は、 [Favorites] (お気に入り) と [None] (なし) を選択できます。Explorer Mode (エクスプローラモード) の場合は、 [None] (なし)、 [Tree View Only] (ツリービューのみ)、 [List View Only] (リストビューのみ)、 [Tree and List View] (ツリービューとリストビュー) を選択できます。
Apply Text Style (テキストのスタイルを適用する)	接続テキストに適用するテキストのスタイルを選択します。
Apply Text Color (テキストの色を適用する)	接続テキストに適用するテキストの色を選択します。

第7章 アクセサリ

はじめに

次に挙げる MC75A アクセサリには、さまざまな製品サポート機能があります。

表 7-1 MC75A のアクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
シングル スロット USB/シリアル クレードル	CRD7X00-1000RR	MC75A のメイン バッテリと予備バッテリを充電します。USB 接続を介して、MC75A とホスト コンピュータを同期します。
4 スロット イーサネット クレードル	CRD7000-4000ER	MC75A のメイン バッテリを充電したり、MC75A をイーサネット ネットワークに接続します。
4 スロット 充電専用クレードル	CRD7X00-4000CR	最大 4 台の MC75A デバイスを同時に充電します。
VCD7000 車載用クレードル	VCD7X00-P000R	車載用のクレードルで、MC75A のメイン バッテリと予備バッテリを充電します。MC75A と外部デバイス間のシリアルデータ通信が可能です。
充電器		
4 スロット バッテリ充電器	SAC7X00-4000CR	最大 4 個の MC75A の予備バッテリを充電します。MC75A シムが含まれています。
シリアル充電ケーブル	25-102776-01R	MC75A に電力を供給したり、シリアル接続経由でホスト コンピュータと通信します。
USB 充電ケーブル	25-102775-01R	MC75A に電力を供給したり、USB 接続経由でホスト コンピュータと通信します。
充電専用ケーブル	25-95214-02R	MC75A に電力を供給します。
車用充電ケーブル	25-70979-01R	車両のシガー ライターを使って MC75A を充電します。
ケーブル		
DEX ケーブル	25-76793-01R	MC75A を自動販売機に接続します。
モデム インバータ ケーブル	25-70924-03R	モデム インバータ ケーブル。
O'Neil プリンタ ケーブル	25-91519-01R	O'Neil プリンタ用のプリンタ ケーブル。

表 7-1 MC75A のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
Zebra プリンタ ケーブル	25-91518-01R	Zebra Road Warrior プリンタ用のプリンタ ケーブル。
Zebra プリンタ ケーブル	25-91515-01R	Zebra QL プリンタ用のプリンタ ケーブル。
その他		
磁気ストライプ リーダー (MSR)	MSR7000-100R	MC75A に装着して、磁気ストライプを読み取ることができます。
Motorola スナップオン モバイル ペイメント モジュール	DCR7X00-100R	磁気ストライプ カードを通したり、数字キーパッドを使用して個人識別番号 (PIN) を入力したりして、データを簡単に収集できます。
チップおよび PIN でのスナップ オン ペイメント モジュール	DCR7X00-200R	磁気ストライプ カード、EMV 準拠のチップおよび PIN カードを使用したり、数字キーパッドを使用して個人識別番号 (PIN) を入力したりして、データを簡単に収集できます。
生体認証リーダー	MC7XFPR-01R	指紋リーダーが含まれます。
生体認証リーダー	MC7XFPSCR-01R	指紋リーダー、接触スマート カード リーダーおよび非接触スマート カード リーダーが含まれます。
モデム ドングル	MDM9000-100R	モデム接続が可能になります。
予備の 3600mAh リチウム イオン バッテリー	BTRY-MC7XEAB00	交換用 3600mAh バッテリー。
予備の 4800mAh リチウム イオン バッテリー	BTRY-MC7XEAB0H	オプションの 4800mAh バッテリー。
3600mAh バッテリー用のバッテリー キット	BTRY-KT-1R5X-MC7XR	交換用 3600mAh バッテリーとバッテリー カバー。
4800mAh バッテリー用バッテリー キット	BTRY-KT-2R5X-MC7XR	交換用 4800mAh バッテリーとバッテリー カバー。
ヘッドセット	50-11300-050R	騒音の多い環境で使します。
ベルト装着ホルスタ (ハードタイプ)	SG-MC70011110-01R	未使用時に MC75A を収めておくベルト装着ホルスタ。
ホルスタ (ソフトタイプ)	SG-MC7521215-01R	デバイスを保護するソフトタイプのホルダー。
スタイラス	Stylus-00002-03R	交換用スタイラス (3 本組)。
壁面用マウント キット	8710-050006-01R	4 スロット クレードルを壁に取り付けるのに使します。
スクリーン保護シート	KT-67525-01R	スクリーン保護シート (3 枚組)。
ソフトウェア	-	Enterprise Mobility Developer Kits (EMDKs): http://support.symbol.com から入手可能。

シングル スロット USB/シリアル クレードル

ここでは、シングル スロット USB/シリアル クレードルの使用方法について説明します。USB 通信のセットアップ手順については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。

シングル スロット USB/シリアル クレードルには、次のような機能があります。

- MC75A の操作に必要な DC 5.4 V の電力を供給する。
- MC75A とホスト コンピュータの間で情報を同期する。MC75A とホスト コンピュータのパートナーシップのセットアップについては、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。
- MC75A のバッテリーを充電する。
- 予備バッテリーを充電する。

MC75A のバッテリーの充電

クレードルを電源に接続します。スロットに MC75A を差し込むと充電が開始します。

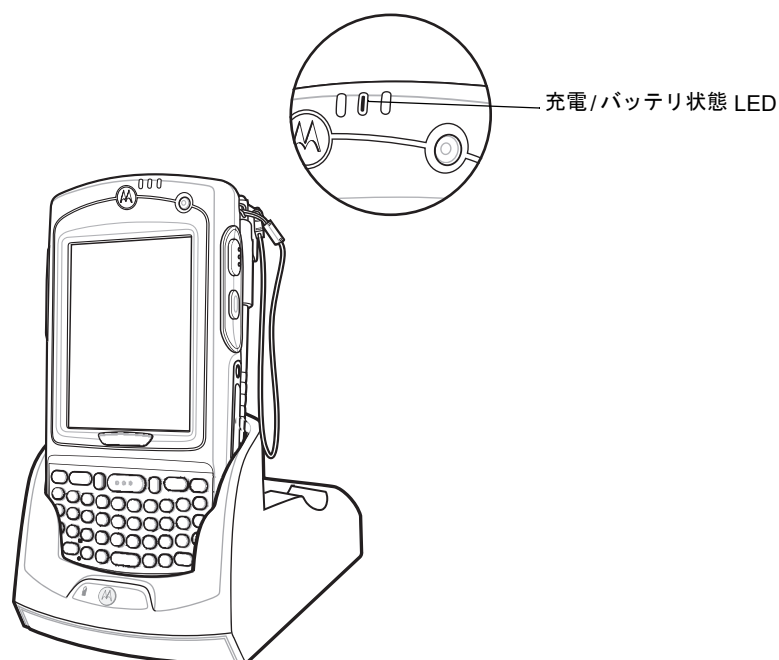


図 7-1 MC75A のバッテリーの充電

予備バッテリーの充電

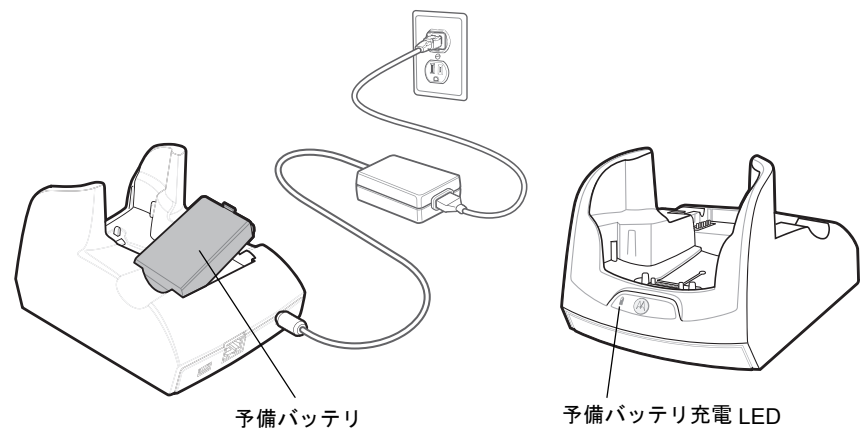


図 7-2 予備バッテリーの充電

バッテリー充電インジケータ

シングル スロット USB/シリアル クレードルでは、MC75A のメイン バッテリーと予備バッテリーを同時に充電します。

MC75A の充電 LED は、MC75A のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-7 ページの表 1-2](#) を参照してください。

クレードルの予備バッテリー充電 LED は、クレードルでの予備バッテリーの充電の状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[表 7-2](#) を参照してください。

3600mAh のバッテリーは 5 時間以内、4800mAh のバッテリーは 7 時間以内にフル充電が完了します。

充電時の温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40℃ の温度で行ってください。充電は、MC75A によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC75A やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC75A やアクセサリの LED にエラーが表示されます。詳細については [1-7 ページの表 1-2](#) と [表 7-2](#) を参照してください。

表 7-2 予備バッテリー LED の充電インジケータ

予備バッテリー LED (クレードル上)	意味
消灯	バッテリーが充電されていないか、バッテリーがクレードルに正しく挿入されていないか、クレードルに電力が供給されていない。
黄色でゆっくり点滅	予備バッテリーが充電中。
黄色で点灯	充電完了。
黄色で速く点滅	充電エラー。

4 スロット イーサネット クレードル

ここでは、MC75A で 4 スロット イーサネット クレードルをセットアップし、使用方法について説明します。クレードル通信のセットアップ手順については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。

4 スロット イーサネット クレードルには、次のような機能があります。

- MC75A の操作に必要な DC 5.4 V の電力を供給する。
- 最大 4 台の MC75A をイーサネット ネットワークに接続する。
- 最大 4 台の MC75A デバイスを同時に充電する。

充電

スロットに MC75A を差し込むと充電が開始します。

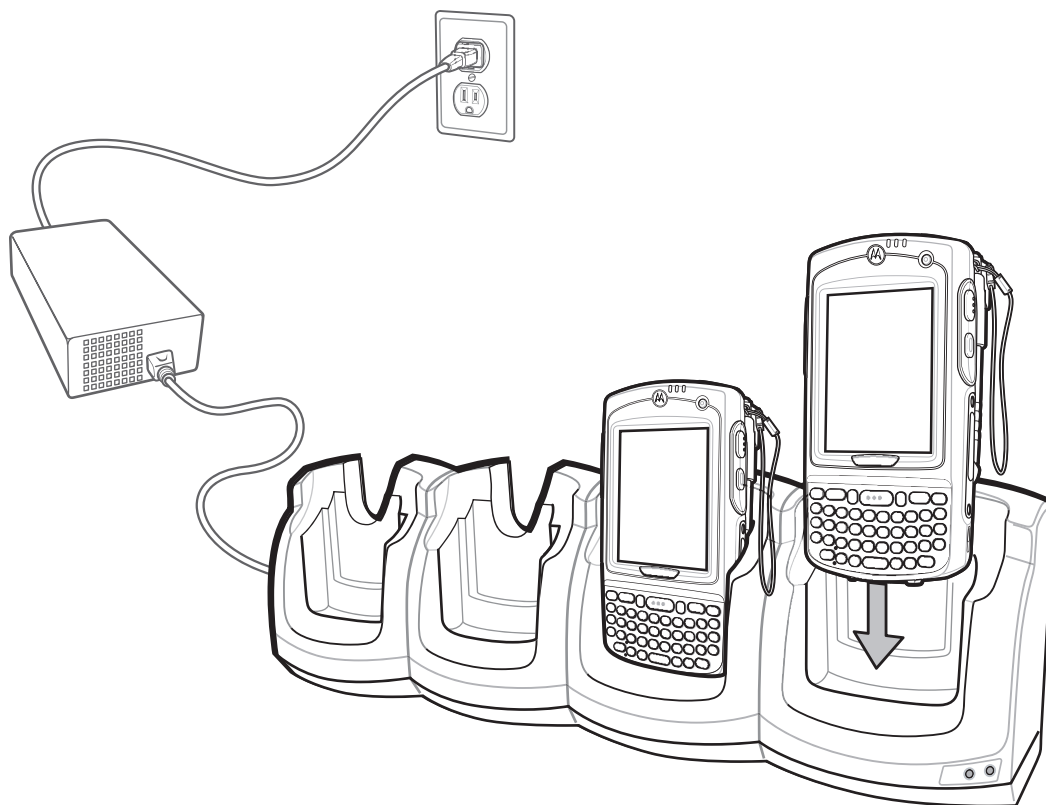


図 7-3 MC75A のバッテリーの充電

バッテリー充電インジケータ

MC75A の充電 LED は、MC75A のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-7 ページの表 1-2](#) を参照してください。

3600mAh のバッテリーは 5 時間以内、4800mAh のバッテリーは 7 時間以内にフル充電が完了します。

充電時の温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC75A によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC75A やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC75A やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[1-7 ページの表 1-2](#) を参照してください。

4 スロット充電専用クレードル

ここでは、MC75A で 4 スロット充電専用クレードルをセットアップし、使用方法について説明します。

4 スロット充電専用クレードルには、次のような機能があります。

- MC75A の操作に必要な DC 5.4 V の電力を供給する。
- 最大 4 台の MC75A デバイスを同時に充電する。

充電

スロットに MC75A を差し込むと充電が開始します。

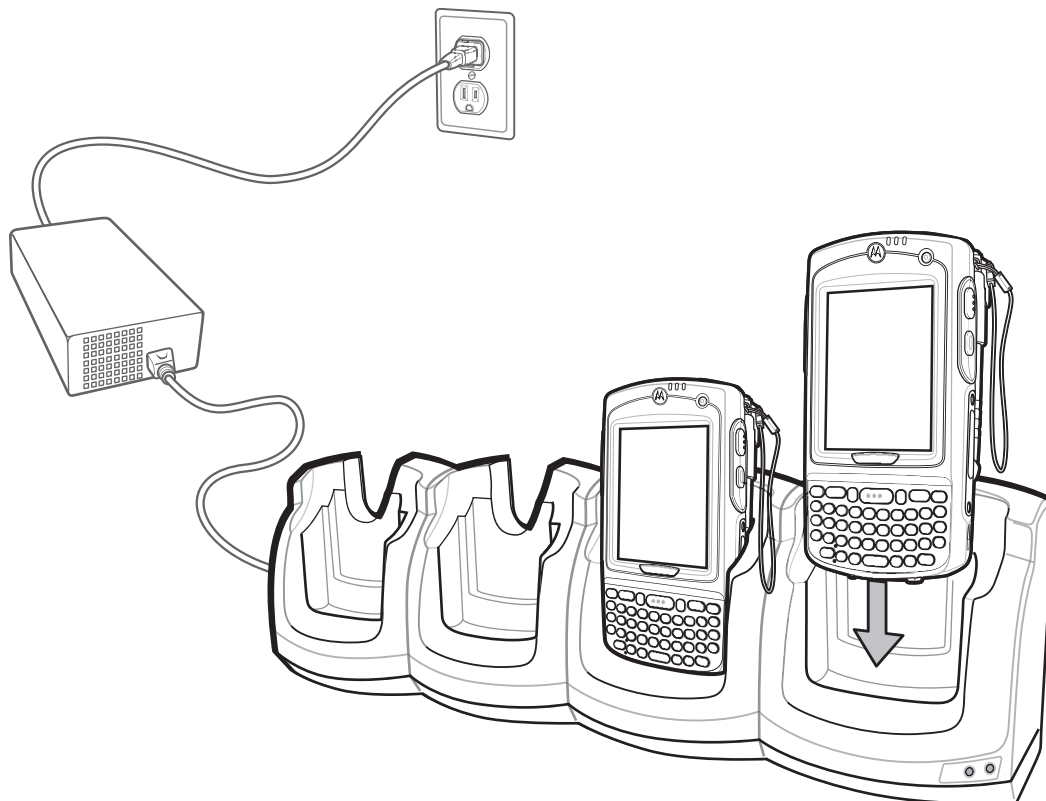


図 7-4 MC75A のバッテリーの充電

バッテリー充電インジケータ

MC75A の充電 LED は、MC75A のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-7 ページの表 1-2](#) を参照してください。

3600mAh のバッテリーは 5 時間以内、4800mAh のバッテリーは 7 時間以内にフル充電が完了します。

充電時の温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC75A によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC75A やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC75A やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[1-7 ページの表 1-2](#) を参照してください。

VCD7X00 車載用クレードル

ここでは、VCD7X00 車載用クレードルの使用方法について説明します。クレードルの取り付けと通信のセットアップ手順については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。

車両に設置すると、クレードルは次のような動作を行います。

- MC75A の固定
- MC75A の動作に必要な電力の供給
- シリアル ポートを経由した MC75A と外部デバイス (プリンタ等) 間でのデータ通信
- MC75A のバッテリーの充電
- 3600mAh または 4800mAh の予備バッテリーの充電

MC75A のバッテリーの充電

車載用クレードルに MC75A を差し込むと充電が開始します。MC75A を正しく差し込むと、カチッという音がして、所定の位置にロックされます。

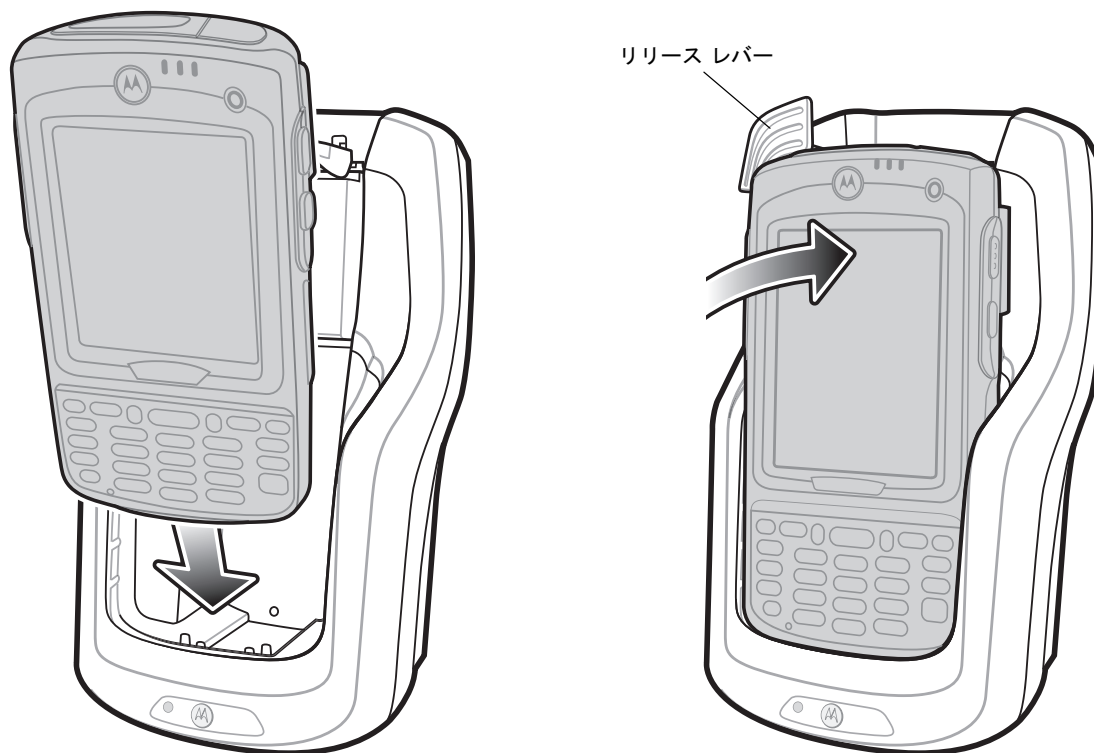


図 7-5 MC75A のバッテリーの充電



注意 MC75A がクレードルに正しく固定されていることを確認してください。適切に固定されていない場合、物的損傷または身体的損傷の原因になります。Motorola は、運転中に製品を使用したことが原因で発生したいかなる損害に対しても、その責任を負わないものとします。

MC75A の取り外し

MC75A を取り外すには、クレードルのリリース レバーを後ろに押して、MC75A を上に持ち上げてクレードルから取り外します。

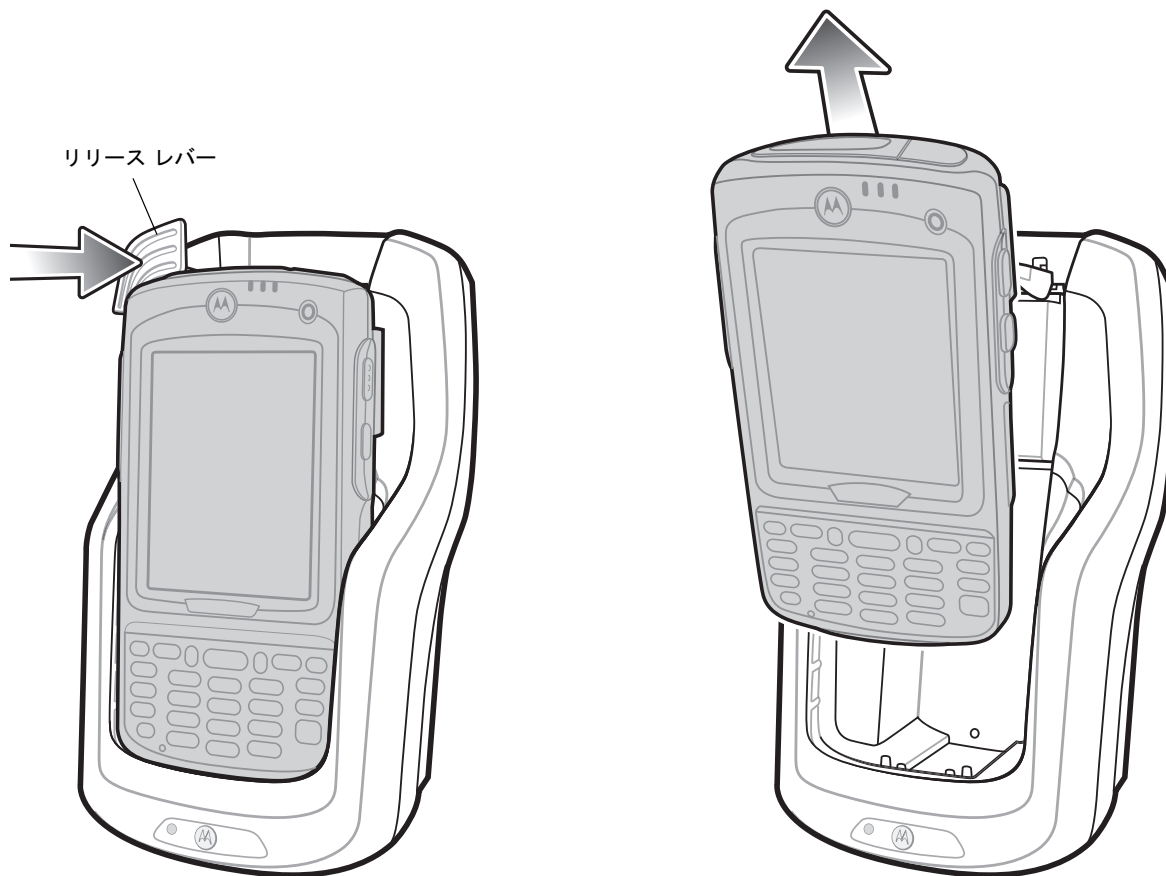


図 7-6 MC75A の取り外し

予備バッテリーの充電

次の手順で予備バッテリーを差し込むと充電が開始します。

1. バッテリー リリース レバーを持ち上げます。

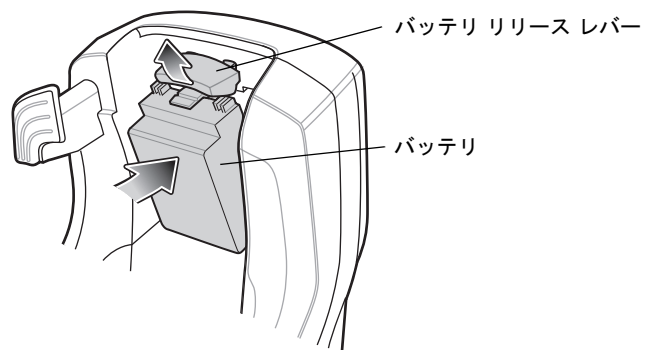


図 7-7 予備バッテリーの挿入

- 2. 充電用の端子を上にして、クレードルの予備バッテリー充電スロットに予備バッテリーを差し込みます。
 - 3. バッテリー リリース レバーを放します。予備バッテリーは、バッテリー リリース レバーによって正しい位置に固定されます。
- 予備バッテリーを取り外すには、バッテリー リリース レバーを後ろに押して、予備バッテリー スロットからバッテリーを持ち上げます。

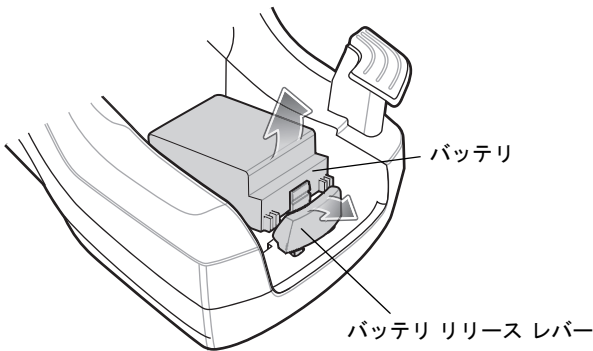


図 7-8 予備バッテリーの取り外し

バッテリー充電インジケータ

車載用クレードルでは、MC75A のメイン バッテリーと予備バッテリーを同時に充電します。

MC75A の充電 LED は、MC75A のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-7 ページの表 1-2](#) を参照してください。

クレードルの予備バッテリー充電 LED は、クレードルでの予備バッテリーの充電の状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[表 7-3](#) を参照してください。

3600mAh のバッテリーは 5 時間以内、4800mAh のバッテリーは 7 時間以内にフル充電が完了します。

充電時の温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40℃ の温度で行ってください。充電は、MC75A によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC75A やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC75A やアクセサリの LED にエラーが表示されます。詳細については [1-7 ページの表 1-2](#) と [表 7-3](#) を参照してください。

表 7-3 車載用クレードルの予備バッテリー LED の充電インジケータ

予備バッテリー LED (クレードル上)	意味
消灯	バッテリーが充電されていないか、バッテリーがクレードルに正しく挿入されていないか、クレードルに電力が供給されていない。
黄色でゆっくり点滅	予備バッテリーが充電中。
黄色で点灯	充電完了。
黄色で速く点滅	充電エラー。

4 スロット バッテリー充電器

ここでは、4 スロット バッテリー充電器を使用して 4 つの MC75A バッテリーを充電する方法について説明します。

MC75A バッテリー シムの取り付け

予備バッテリーを充電する前に、[図 7-9](#) で示すとおりに MC75A のシムをバッテリー スロットに取り付けます。

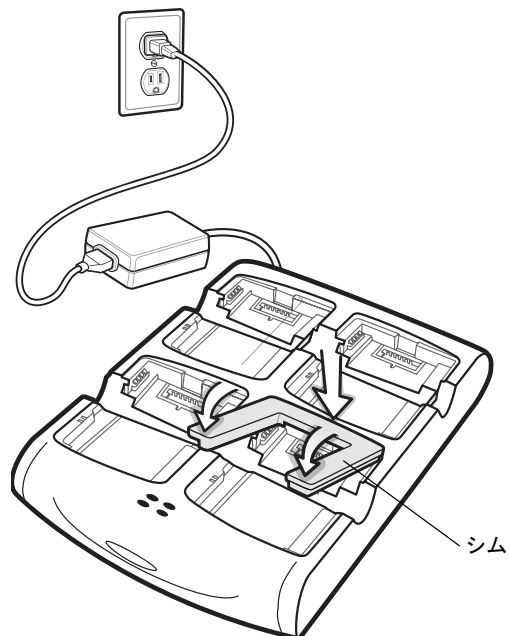


図 7-9 MC75A バッテリー シムの取り付け



注 シムの追加購入については、各国の担当者または Motorola, Inc. までお問い合わせください。部品番号は KT-76490-01R です。

予備バッテリーの充電

1. 電源に充電器を接続します。
2. 予備バッテリーを予備バッテリー受けに差し込み、バッテリーをゆっくり押し下げて正しく接触するようにします。

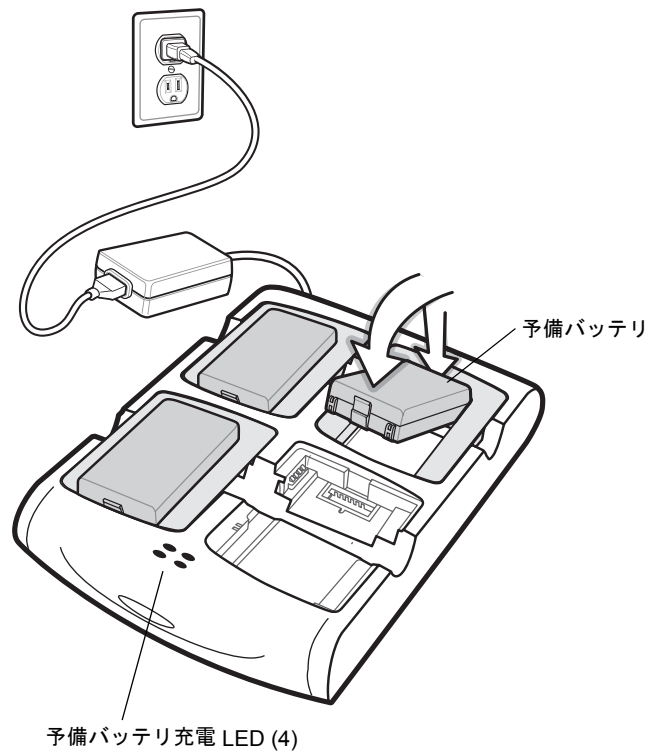


図 7-10 4 スロット バッテリー充電器

バッテリー充電インジケータ

充電器には、それぞれのバッテリー受けに黄色の LED がついています。充電の状態を表す LED 表示の意味については、表 7-4 を参照してください。3600mAh のバッテリーは 5 時間以内、4800mAh のバッテリーは 7 時間以内にフル充電が完了します。

充電時の温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40℃ の温度で行ってください。充電は、MC75A によって精密に制御されています。

温度の制御を実現するため、充電器がバッテリーの充電を交互に有効にしたり無効にしたりして、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になったときは、充電器の LED でそれを示します。表 7-4 を参照してください。

表 7-4 予備バッテリー LED の充電インジケータ

LED	意味
消灯	予備バッテリーがスロットに入っていないか、バッテリーが充電されていないか、バッテリーが充電器に正しく差し込まれていないか、充電器に電力が供給されていない。
黄色でゆっくり点滅	予備バッテリーが充電中。
黄色で点灯	充電完了。
黄色で速く点滅	充電エラー。

磁気ストライプリーダー (MSR)

ここでは、スナップオン MSR をセットアップして MC75A と一緒に使用方法について説明します。MSR は MC75A の底面に取り付け、使用しないときは簡単に取り外せます。

MSR を MC75A に取り付けると、磁気ストライプカードからデータを収集することができます。MSR データ収集ソフトウェアをダウンロードするには、Motorola の Web サイト <http://www.symbol.com/support> にアクセスしてください。

MSR を取り付けられていても、MSR が付いた MC75A をクレードルに置くか充電ケーブルに接続すれば、充電は可能です。

MSR の取り付けと取り外し

取り付けるには、MC75A の底面から MSR をスライドさせ、アームを MC75A の筐体にかチッと音がするまではめ込みます。



図 7-11 MSR の取り付け

MSR を取り外すには、アームを開き、MC75A から MSR を引き抜きます。

✓ **注** MSR を通してカップコネクタ付きのケーブルをつないで MC75 に充電している場合、カードを通すことはできません。

MSR の使用

MSR 対応のアプリケーションを MC75A にインストールします。

MSR を使用するには、次の手順を実行します。

1. MSR を MC75A に取り付けます。
2. MC75A の電源をオンにします。
3. MSR アプリケーションを起動します。
4. 磁気ストライプカードを、磁気ストライプの側を下にして MSR に通します。カードは、左から右へ通しても右から左へ通してもかまいません。最適な結果を得るためには、通すときにカードを軽く下に押し付け、リーダーの底面にカードが確実に触れるようにします。

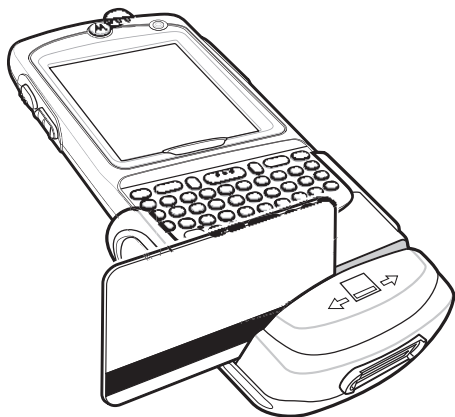


図 7-12 磁気ストライプカードを通す操作

5. データが正しく読み取られると、アプリケーションにそのことが表示されます。

デビットカードリーダー

DCR7X00-100R デビット カード リーダー (DCR) を MC70 や MC75A モバイル コンピュータの底に取り付けて、磁気ストライプ カードを通したり、数字キーパッドを使用して個人識別番号 (PIN) を入力したりして、データを簡単に収集することが可能です。このガイドでは、DCR の取り付け方と使用方法について説明します。

ご使用の前に

初めて CDR を使用する際は、クレードルで 3 時間以上 DCR を充電してください。

機器の設置

1. MC75A の底面に DCR を合わせ、固定タブがカチッとハマるまで押し上げます。

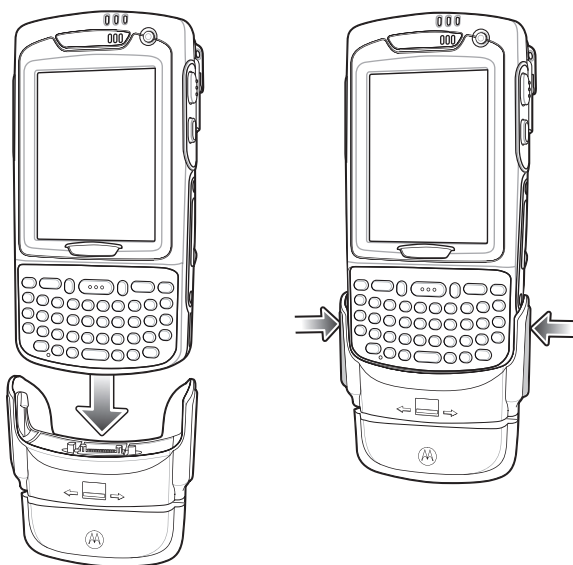


図 7-13 DCR の取り付け

2. DCR を軽く引っ張って、MC75A にしっかり接続されていることを確認します。

取り外し

DCR を MC75A から取り外すには、2 つの固定タブの最下部を押し、DCR を引き抜きます。

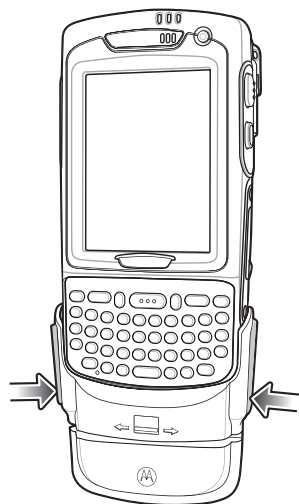


図 7-14 DCR の取り外し

クレジットカードのトランザクション

MC75A でトランザクション アプリケーションを起動します。アプリケーションで、クレジットカードのトランザクションを選択します。

磁気ストライプ リーダー (MSR) のスロットに、磁気ストライプを図の向きに合わせてクレジットカードを通します。クレジットカード上で暗号化されたデータが収集され、アプリケーションのデータ フィールドに表示されます。表示方法はアプリケーションによって異なります。

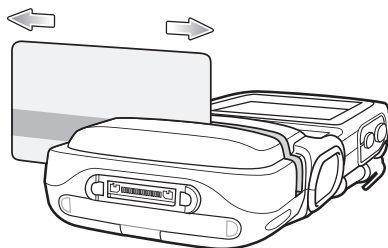


図 7-15 カードを通す



注 カードは、左から右へ通しても右から左へ通してもかまいません。最適な結果を得るためには、通すときにカードを軽く下に押し付け、スロットの底面にカードが確実に触れるようにします。

デビットカードのトランザクション

MC75A でトランザクション アプリケーションを起動します。アプリケーションで、デビット カードのトランザクションを選択します。

MSR のスロットに、磁気ストライプを図の向きに合わせてデビット カードを通します。デビット カード上で暗号化されたデータが収集され、アプリケーションのデータ フィールドに表示されます。表示方法はアプリケーションによって異なります。

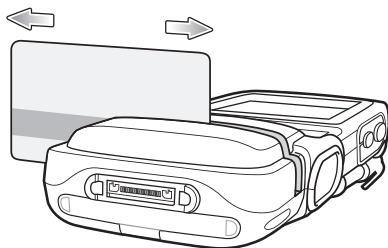


図 7-16 カードを通す

- ✓ **注** カードは、左から右へ通しても右から左へ通してもかまいません。最適な結果を得るためには、通すときにカードを軽く下に押し付け、スロットの底面にカードが確実に触れるようにします。

MC75A を裏返して、DCR キーパッドを顧客に提示します。顧客は DCR ディスプレイの指示に従って、自分の PIN を入力します。



図 7-17 DCR での PIN の入力

キーパッド

DCR の背面には、ディスプレイと、データを入力するための数字キーパッドがあります。



図 7-18 DCR キーパッド

表 7-5 キーパッドのキーの説明

キー	説明
数字 	PIN の入力に使用します。
Cancel 	現在のトランザクションをキャンセルします。
Clear 	入力したデータを消去します。
Enter 	入力したデータを送信します。

ディスプレイのメッセージ

DCR のディスプレイには、次のようなメッセージが表示されます。

ENTER PIN - トランザクションを完了するために PIN が必要です。

PIN ERR - 入力したピンが 4 ～ 12 文字ではありません。

CANCELED - ユーザーによってトランザクションがキャンセルされました。

COMPLETE - トランザクションが完了しました。

KEYCLEAR - DCR が改ざんされたか、バッテリー残量が完全になりました。DCR のキーを挿入し直す必要があります。システム管理者にお問い合わせください。

BATT OK - バッテリーが十分に充電されています。

BATT LOW - バッテリー残量が少なくなっています。できるだけ早く充電してください。

STAND BY - DCR がファームウェアのチェックを行っています。これは、24 時間以上電源がオフになっていた場合に発生します。

DCR のバッテリー レベルの確認

長期間 DCR を使用しなかったり、保管したりする場合は、定期的に充電してバッテリーの充電を維持する必要があります DCR は 3 ヶ月ごとに充電することをお勧めします。

DCR のバッテリー残量が完全になると、デビット機能は操作できなくなりますが、クレジット カードのトランザクションは引き続き機能します。DCR をサービスにご返送ください。



注 通常の操作 (アプリケーションが DCR ポートにアクセスしている) で DCR を使用している間は、DCR は MC75A から充電されます。

バッテリー レベルを確認するには、次の手順に従います。

1. DCR を MC75A から取り外します。
2. 5 のキーを押したままにすると、DCR のディスプレイにバッテリー状態が表示されます。
 - **BATT OK** - バッテリーが十分に充電されています。
 - **BATT LOW** - バッテリー残量が少なくなっています。

BATT LOW が表示された場合は、約 3 時間 DCR を充電してください。

DCR を充電するには、クレードルに DCR を置くか、充電ケーブルに接続します。DCR は、MC75A に接続されてトランザクション アプリケーションが実行されている間も充電されます。

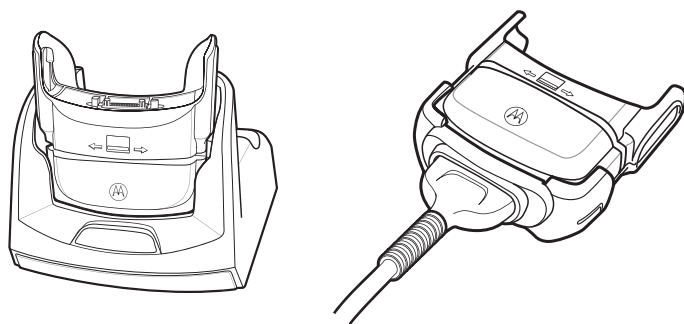


図 7-19 DCR の充電

チップおよび PIN でのスナップオン ペイメント モジュール

DCR7X00-200R スナップオン モバイル ペイメント モジュール (チップおよび PIN スマートカード リーダー付き) を MC75A モバイル コンピュータの底に取り付けて、磁気ストライプ カード、EMV 準拠のチップおよび PIN カードを使用したり、数字キーパッドを使用して個人識別番号 (PIN) を入力したりして、データを簡単に収集することが可能です。このガイドでは、モジュールの取り付け方と使用方法について説明します。

機器の設置



注 モジュールは、MC70/MC75 に取り付けただけに機能します。

1. MC75A の底面にモジュールを合わせ、固定タブがカチッとハマるまで押し上げます。

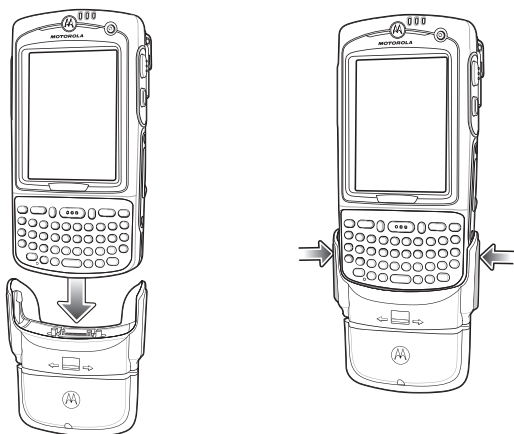


図 7-20 MC75A へのモジュールの取り付け

2. モジュールを軽く引っ張って、MC75A にしっかり接続されていることを確認します。

取り外し

モジュールを MC75A から取り外すには、2 つの固定タブの最下部を押し、モジュールを引き抜きます。

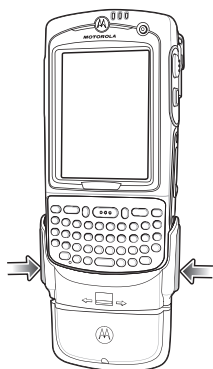


図 7-21 ロック部のラッチを押す

クレジット カードのトランザクション



- 注** クレジット カードのトランザクションは暗号化キーを入力しなくても機能しますが、改ざんイベントが発生すると機能しません。

MC75A でトランザクション アプリケーションを起動します。アプリケーションで、クレジット カードのトランザクションを選択します。

磁気ストライプ リーダー (MSR) のスロットに、磁気ストライプを図の向きに合わせてクレジット カードを通します。クレジット カード上で暗号化されたデータが収集され、アプリケーションのデータ フィールドに表示されます。表示方法はアプリケーションによって異なります。

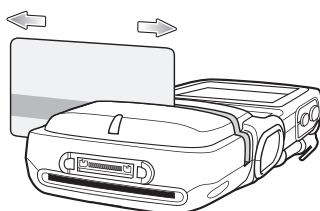


図 7-22 カードを通す



注 カードは、左から右へ通しても右から左へ通してもかまいません。最適な結果を得るためには、通すときにカードを軽く下に押し付け、スロットの底面にカードが確実に触れるようにします。

デビットカードのトランザクション



注 デビットカードのトランザクションは、暗号化キーを入力したときにだけ機能します。改ざんイベントが発生すると機能しません。

MC75A でトランザクション アプリケーションを起動します。アプリケーションで、デビットカードのトランザクションを選択します。

MSR のスロットに、磁気ストライプを図の向きに合わせてデビットカードを通します。デビットカード上で暗号化されたデータが収集され、アプリケーションのデータ フィールドに表示されます。表示方法はアプリケーションによって異なります。

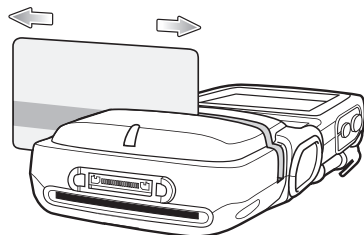


図 7-23 カードを通す



注 カードは、左から右へ通しても右から左へ通してもかまいません。最適な結果を得るためには、通すときにカードを軽く下に押し付け、スロットの底面にカードが確実に触れるようにします。

MC75A を裏返して、キーパッドを顧客に提示します。顧客はディスプレイの指示に従って、自分の PIN を入力します。



図 7-24 PIN の入力

チップおよび PIN のトランザクション



注 チップおよび PIN のトランザクションは暗号化キーを入力しなくても機能しますが、改ざんイベントが発生すると機能しません。

MC75A でトランザクション アプリケーションを起動します。アプリケーションで、チップおよび PIN のトランザクションを選択します。

顧客はチップおよび PIN カードを、接触面を下にして DCR 方向にスロットへと挿入します。

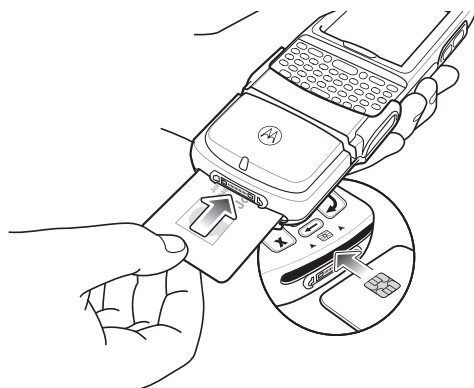


図 7-25 カードの挿入

顧客は MC75A を裏返し、ディスプレイの指示に従って自分の PIN を入力します。

顧客は、トランザクションが完了したらカードを取り外します。





キーパッド

モジュールの背面には、ディスプレイと、データを入力するための数字キーパッドがあります。



図 7-26 キーパッド

表 7-6 キーパッド ボタンの説明

キー	説明
数字 	PIN の入力に使用します。
Cancel (キャンセル) (赤色) 	現在のトランザクションをキャンセルします。
Clear (クリア) (黄色) 	入力したデータを消去します。
Enter (緑色) 	入力したデータを送信します。

ディスプレイのメッセージ

モジュールを MC70/MC75 に接続すると、アプリケーションによって COM ポートが開かれ、次の内容が表示されます。



図 7-27 ディスプレイ

1 行目は、モデル番号とファームウェアのバージョンを示しています。ファームウェアのバージョンは、モデル番号の後に表示されます。この例では、ファームウェアのバージョンは 0.09 です。

2 行目は、キーロードコードを示しています。キーロードコードの各文字は、別のキータイプを表しています。

表 7-7 キーロードコード

ディスプレイ	動作状態
D - - - - D M M - - D - - M M - M M - - - - - M M - - - - -	標準
d - - - - d m m - - d - - m m - m m - - - - - m m	キー入力機能に戻ります。
* * * * * 空白表示	Motorola サービスに戻ります。

ディスプレイには、次のようなメッセージが表示されます。

表 7-8 ディスプレイのメッセージ

メッセージ	説明
1 行目: 2 行目: Enter PIN (PIN を入力してください)	ユーザーに PIN の入力を求めています。
行 1: PIN 行 2: ENT to Accept (Enter を押して確定してください)	PIN を入力すると「*」と表示されます。入力が完了したら Enter キーを押すようにユーザーに求めています。

ヘッドセット

Voice-Over-IP (VoIP) を介して通信したり、オーディオ再生および通信アプリケーションを使用したりするには、ヘッドセットを使用します。ヘッドセットを接続するには、MC75A の上部にあるヘッドセット ジャックからプラグを抜き、ヘッドセットのコネクタを差し込みます。互換性のあるヘッドセットについては、Motorola 販売代理店にお問い合わせください。

最適なパフォーマンスを得るためには、2.5mm ジャックのヘッドセット (部品番号 50-11300-050R) をお勧めします。

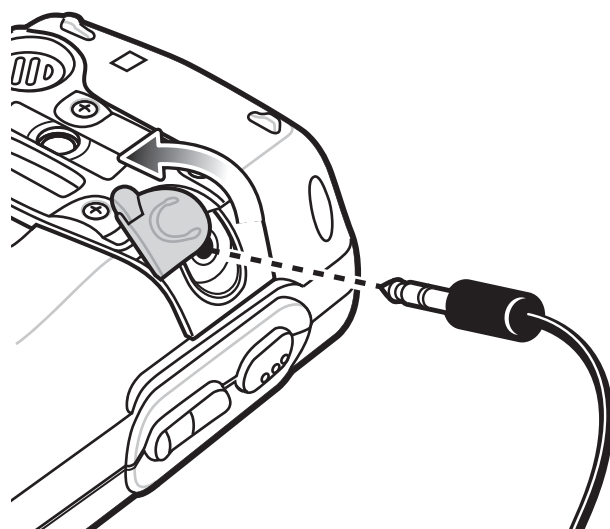


図 7-28 ヘッドセットの接続

ケーブル

ここでは、ケーブルのセットアップおよび使用方法について説明します。さまざまな接続機能がついたケーブルが用意されています。

使用可能な通信/充電ケーブルは次のとおりです。

- シリアル (RS232) 充電ケーブル (9-pin D メス、電源入力ソケットつき)
- USB クライアント充電ケーブル (Standard-A コネクタおよび電源用バレル ソケット)
- 車用充電ケーブル
- DEX ケーブル
- モデム インバータ ケーブル
- 充電専用ケーブル

次のプリンタ ケーブルは Motorola から直接入手可能です。

- O'Neil プリンタ ケーブル
- Zebra プリンタ ケーブル

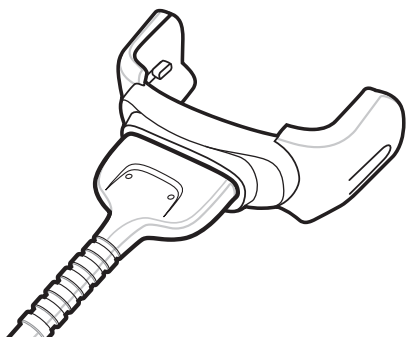


図 7-29 ケーブル

通信 / 充電ケーブルには、次のような機能があります。

- Motorola が認めた電源から、MC75A に動作電力と充電用の電力を供給する。
- MC75A とホスト コンピュータの間で情報を同期する。カスタマイズされたソフトウェアやサードパーティ製のソフトウェアを使用すれば、MC75A と会社のデータベースを同期することも可能です。
- シリアル パススルー ポートを経由して、ホスト コンピュータなどのシリアル デバイスとの通信のためのシリアル接続を行う。通信のセットアップ手順については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。
- USB パススルー ポートを経由して、ホスト コンピュータなどの USB デバイスとの通信のための USB 接続を可能にする。通信のセットアップ手順については、『MC75A Integrator Guide』を参照してください。

印刷専用のプリンタ ケーブルでは、プリンタとの通信を行います。

バッテリー充電と動作電力

通信 / 充電ケーブルでは、MC75A のバッテリーの充電と、動作電力の供給を行うことができます。

MC75A のバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 通信 / 充電ケーブルの電源入力コネクタを、Motorola によって認定された電源に接続します。
2. MC75A の下部を通信 / 充電ケーブルのコネクタ側に差し込み、カチッと音がしてはまるまでゆっくり押し込みます。MC75A の黄色い充電 LED が、MC75A のバッテリーの充電状態を示します。3600mAh の標準バッテリーは 5 時間以内、4800mAh の標準バッテリーは 7 時間以内に充電が完了します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-7 ページの表 1-2](#)を参照してください。
3. 充電が完了したら、MC75A をゆっくり引き抜いてケーブルを取り外します。

充電の状態を表す LED 表示

MC75A の黄色い充電 LED が、バッテリーの充電の状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-7 ページの表 1-2](#)を参照してください。

充電時の温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC75A によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC75A やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC75A やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[1-7 ページの表 1-2](#)を参照してください。4

第 8 章 メンテナンスとトラブル シューティング

はじめに

この章では、MC75A のクリーニングと保管方法、および MC75A の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

MC75A のメンテナンス

トラブルを避けるため、MC75A の使用中は次の注意事項を守ってください。

- MC75A の画面を引っかかないでください。MC75A の操作中は、付属のスタイラス、またはタッチスクリーンでの使用を目的とした先端がプラスチックのペンをご使用ください。MC75A の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。
- MC75A には、スクリーン保護シート (部品番号 KT-67525-01R) が貼られています。スクリーンのキズや磨耗を低減させるため、このシートを使用することをお勧めします。これにより、タッチスクリーンの寿命が延びます。保護シートを使用する利点は以下のとおりです。
 - スクリーンを保護し、キズを防ぐ
 - スタイラスの使用によるスクリーン表面の感度低下を防ぐ
 - 磨耗や薬品からスクリーンを保護する
 - 光の反射を抑える
 - スクリーンを新品同様の状態に保つ
 - 迅速かつ簡単に取り付けられる
- MC75A のタッチスクリーンはガラス製です。MC75A を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- MC75A は極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、MC75A の保管や利用を避けてください。
- MC75A をクリーニングするには、レンズ用の柔らかい布を使用してください。MC75A のディスプレイが汚れた場合は、柔らかい布に薄めた窓ガラス洗剤を湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

スクリーン保護シートの取り外し

MC75A には、スクリーン保護シートが貼られています。スクリーンのキズや磨耗を低減させるため、このシートを使用することをお勧めします。これにより、タッチ スクリーンの寿命が延びます。

スクリーン保護シートを取り外すには、クレジットカードなどのプラスチック製の薄いカードで角を持ち上げて、ディスプレイから慎重に剥がします。

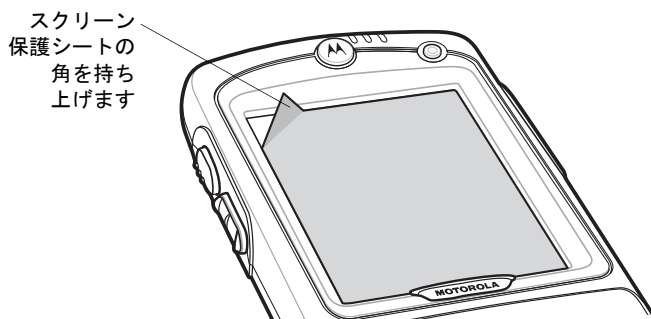


図 8-1 スクリーン保護シートの取り外し



注意 とがったものを使ってスクリーン保護シートを剥がさないでください。ディスプレイを傷める可能性があります。



注 スクリーン保護シートを使用していない場合、保証条項の適用範囲に影響する場合があります。交換用のスクリーン保護シートのご購入については、各国の担当者または Motorola, Inc. までお問い合わせください。スクリーン保護シートの取り付け方法に関する説明書も付属しています。P/N: KT-67525-01R スクリーン保護シート 3 枚組

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 装置を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で装置を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、ユーザー ガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) にお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として 利用するデバイスは、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみに接続することができます。
- IEEE1725 の 10.2.1 の要件に従った承認済みバッテリーを認証するため、すべてのバッテリーに、Motorola のホログラムを添付しています。Motorola の認証ホログラムを確認せずにバッテリーを取り付けしないでください。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の装置を硬い面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。

- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に従ってすみやかに廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーを飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合は、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) に検査を依頼してください。

クリーニング



警告 高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。



注意 必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Motorola に詳細をお問い合わせください。

必要な材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

MC75A のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で筐体を拭きます。キーやキーの間の部分も拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

スキャナ ウィンドウ

レンズ用ティッシュ ペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にスキャナ ウィンドウを拭いてください。

コネクタ

1. モバイル コンピュータからメイン バッテリを取り外します。1-9 ページの「メイン バッテリの交換」を参照してください。
2. バッテリ カバーを閉じます。
3. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
4. 綿棒のコットン部で、MC75A の下部のコネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
5. これを 3 回以上繰り返します。
6. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
7. 乾いた綿棒で、ステップ 4 ～ 6 を繰り返します。



注意 ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

8. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
9. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタの全面も、綿棒で拭く必要があります。



注意 ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
6. 綿棒の屑が残っていないことを確認し、屑が残っていれば取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ～ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーの判断で行ってください。必要に応じた頻度でクリーニングを行うことができます。ただし、埃の多い環境で使用する場合は、スキャンのパフォーマンスを最適に保つため、スキャナ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

トラブルシューティング

MC75A

表 8-1 MC75A のトラブルシューティング

現象	原因	対処方法
MC75A がオンにならない。	バッテリーが充電されていない。	バッテリーを充電または交換します。
	バッテリーが適切に取り付けられていない。	バッテリーを適切に取り付けます。1-5 ページの「メインバッテリーの取り付け」を参照してください。
	システムがクラッシュしている。	ウォーム ブートを実行します。この方法でも、MC75A がオンにならない場合は、コールド ブートを実行します。2-16 ページの「MC75A のリセット」を参照してください。
充電式バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでも MC75A が動作しない場合は、ウォーム ブートを実行し、その後コールド ブートを実行します。2-16 ページの「MC75A のリセット」を参照してください。
	バッテリーの充電中に MC75A をクレードルから取り外した。	MC75A をクレードルに差し込み、充電を行います。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
ディスプレイの文字が見えない。	MC75A の電源がオンになっていない。	赤色の電源ボタンを押します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、MC75A をクレードルから取り外したか、ホスト コンピュータから切断した。	MC75A をクレードルに置き直すか、通信ケーブルをつなぎ直して再度転送を行います。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアのインストールや構成が正しくない。	セットアップを実行します。詳細については、『MC75A Enterprise Digital Assistant Integrator Guide』を参照してください。
音が鳴らない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調整します。2-12 ページの「音量の調節」を参照してください。
MC75A の電源が突然切れる。	MC75A が非アクティブになっている。	MC75A は一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。MC75A をバッテリー電源で使用している場合は、その時間を 1 ～ 5 分 (1 分刻み) で設定します。MC75A を外部電源で使用している場合は、その時間を 1、2、5、10、15、30 分のいずれかに設定します。 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > Power (電源) アイコンの順に選択し、[Power] (電源) ウィンドウを確認します。[Advanced] (詳細) タブを選択し、自動シャットオフ機能が動作するまでの時間設定を長い時間に変更します。
	バッテリーが完全に放電してある。	バッテリーを充電または交換します。
	バッテリーが適切に差し込まれていない。	バッテリーを正しく差し込みます。1-5 ページの「メインバッテリーの取り付け」を参照してください。
ウィンドウのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	スクリーンが正しく調整されていない。	スクリーンを再調整します。1-7 ページの「スクリーンの調整」を参照してください。

表 8-1 MC75A のトラブルシューティング (続き)

現象	原因	対処方法
	システムの反応がない。	システムをウォーム ブートします。2-16 ページの「MC75A のリセット」を参照してください。
MC75A のメモリが満杯というメッセージが表示される。	MC75A に保存されているファイルが多すぎる。	使用しないメモや記録を削除します。必要に応じて、その記録をホスト コンピュータに保存します (または SD カードを使用してメモリを追加します)。
	MC75A にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが MC75A にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) を選択し、Remove Programs (プログラムの削除) アイコンをタップします。使用していないプログラムを選択し、[Remove] (削除) をタップします。
MC75A が使用電力を落としてメモリの内容を保護しようとする。	MC75A のバッテリー残量が少なくなっている。	バッテリーを充電または交換します。電力を節約するように MC75A を設定します。詳細については、1-10 ページの「バッテリーの管理」を参照してください。
MC75A がデータ収集入力を受け付けない。	スキャン アプリケーションがロードされていない。	MC75A にスキャン アプリケーションをロードします。システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	スキャナ ウィンドウとバーコードとの距離が適切ではない。	MC75A を正しいスキャン範囲に置きます。
	バーコード用に MC75A が設定されていない。	スキャンするバーコードに対応するように、MC75A を設定します。
	MC75A がピープ音を鳴らすように設定されていない。	正しく読み取ったときに MC75A がピープ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにピープ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
	バッテリー残量が少なくなっている。	スキャナのトリガを押したときにレーザ光線の放射が停止する場合は、バッテリーレベルを確認します。バッテリー残量が少なくなっていると、MC75A がバッテリー残量が少ないことを通知する前に、スキャナがシャットオフします。注: この対処法を実行してもスキャナがコードを読み取らない場合は、代理店または Motorola にお問い合わせください。

Bluetooth の接続

表 8-2 Bluetooth の接続に関するトラブルシューティング

現象	原因	対処方法
MC75A が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10m 以内に MC75 を近づけます。
	近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
Bluetooth デバイスと MC75A を接続しようとしたときに、以前ペアリングされた MC75A が使用されているとデバイスが識別する。	デバイスが、Bluetooth 無線を介して最後にペアリングした MC75A の名前とアドレスを記憶している。	デバイスから、ペアリングしているデバイスと名前を手動で削除します。削除方法については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

表 8-2 Bluetooth の接続に関するトラブルシューティング (続き)

現象	原因	対処方法
サスペンド状態から再開するときに、Bluetooth スタックの再初期化で遅延が発生する。	これは通常の動作です。	解決策は不要です。
Bluetooth 接続が落ちる。	MC75A がサスペンドモードになり、Bluetooth 無線の電源がオフになる。	MC75A がサスペンドモードになると、Bluetooth 接続が落ちます。MC75A がサスペンドモードから復帰したときは、Bluetooth を接続し直します。

シングル スロット USB/ シリアル クレードル

表 8-3 シングル スロット USB/ シリアル クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC75A のバッテリーまたは予備バッテリーを差し込んでも LED が点灯しない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源ケーブルが、クレードルと AC 電源の両方にしっかり接続されていることを確認します。
	MC75A がクレードルにしっかりセットされていない。	MC75A をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	予備バッテリーがクレードルにしっかりセットされていない。	予備バッテリーを充電スロットから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
MC75A バッテリーが充電されない。	MC75A をクレードルから、またはクレードルを AC 電源から抜くのが早すぎた。	クレードルに電力が供給されていることを確認します。MC75A が正しくセットされていることを確認します。[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Power] (電源) と選択して、メイン バッテリーが充電されていることを確認します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC75A がクレードルに完全にセットされていない。	MC75A をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ~ 35°C の場所に移動します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
予備バッテリーが充電されない。	予備バッテリーが正しく差し込まれていない。	バッテリーの充電端子とクレードルの端子を合わせて、予備バッテリーを差し込み直します。
	予備バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ~ 35°C の場所に移動します。

表 8-3 シングル スロット USB/シリアル クレードルのトラブルシューティング (続き)

症状	考えられる原因	アクション
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	MC75A が通信中にクレードルから取り外された。	MC75A をクレードルに戻し、転送し直します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC75A Enterprise Digital Assistant Integrator Guide』の説明に従ってセットアップを実行します。

4 スロット イーサネット クレードル

表 8-4 4 スロット イーサネット クレードルのトラブルシューティング

症状	原因	対処方法
通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である	MC75A が通信中にクレードルから取り外された。	MC75A をクレードルに戻し、転送し直します。
	MC75A にアクティブな接続が存在しない。	接続がアクティブになっている場合は、ステータス バーにアイコンが表示されます。
バッテリーが充電されない。	クレードルから MC75A を取り外すのが早すぎた。	MC75A をクレードルに差し込み直します。バッテリーの状態を見るには、 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Power] (電源) をタップします。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC75A がクレードルに正しく差し込まれていない。	MC75A を取り外して正しく差し込み直します。充電がアクティブになっていることを確認します。バッテリーの状態を見るには、 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Power] (電源) をタップします。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ~ 35°C の場所に移動します。

車載用クレードル

表 8-5 車載用クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC75A のバッテリー充電 LED が点灯しない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源入力ケーブルが、クレードルの電源ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。
MC75A バッテリーが充電されない。	クレードルから MC75A を取り外すのが早すぎた。	MC75A をクレードルに差し込み直します。
	バッテリーが故障している。	バッテリーを交換します。
	MC75A がクレードルに正しく差し込まれていない。	クレードルから MC75A を取り外し、正しく差し込み直します。それでもバッテリーが充電されない場合は、カスタマ サポートにお問い合わせください。 MC75A が正しく差し込まれ、充電されている場合、MC75A のバッテリー充電 LED が黄色でゆっくりと点滅します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ～ 35°C の場所に移動します。
データが転送されない、または転送されたデータが不完全である。	MC75A が通信中にクレードルから取り外された。	MC75A をクレードルに戻し、転送し直します。
	ヌル モデム ケーブルが使用されていない。	一部の外部デバイスでは、ヌル モデム ケーブルが必要です。ヌル モデム ケーブルを使用して、転送し直します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	ケーブルがない、または接続されていない。	ケーブルを接続し直します。

4 スロット バッテリー充電器

表 8-6 4 スロット バッテリー充電器のトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
バッテリーが充電されない。	バッテリーを充電器から取り外したり、充電器を AC 電源から抜くのが早すぎた。	バッテリーを充電器に差し込み直すか、充電器の電源を接続し直します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	バッテリーの端子が充電器に接続されていない。	バッテリーが、端子を下にしてバッテリー受けに正しくセットされていることを確認します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ～ 35°C の場所に移動します。

ケーブル

表 8-7 ケーブルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC75A バッテリーが充電されない。	MC75A を AC 電源から抜くのが早すぎた。	電源ケーブルを正しく接続します。[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Power] (電源) と選択して、メインバッテリーが充電されていることを確認します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC75A が電源にしっかりと接続されていない。	MC75A から電源ケーブルを抜いて差し込み直し、しっかりと接続されていることを確認します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、MC75A からケーブルが抜けた。	ケーブルを差し込み直して転送をやり直します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC75A Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。

磁気ストライプリーダー

表 8-8 磁気ストライプリーダーのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MSR がカードを読み取れない。	カードを通している間に MSR が MC75A から外れた。	MSR を MC75A に取り付け直して、カードを再度通します。
	カードの磁気ストライプが壊れている。	システム管理者にお問い合わせください。
	MSR アプリケーションが正しくインストールまたは設定されていない。	MC75A に MSR アプリケーションがインストールされていることを確認します。MSR アプリケーションが正しく設定されていることを確認します。
MC75A バッテリーが充電されない。	MC75A を MSR から、または MSR を AC 電源から抜くのが早すぎた。	MSR に電力が供給されていることを確認します。MC75A が正しくセットされていることを確認します。[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Power] (電源) と選択して、メインバッテリーが充電されていることを確認します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC75A が MSR にしっかりと接続されていない。	MC75A から MSR を抜いて差し込み直し、しっかりと接続されていることを確認します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	通信中に MC75A が MSR から外れた。	MC75A を MSR に取り付け直し、再度転送します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC75A Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。

付録 A 技術仕様

MC75A の技術仕様

次の表に、MC75A の設計動作環境とハードウェアの技術仕様を示します。

MC75A

表 A-1 MC75A の技術仕様

項目	説明
外観・機能など	
寸法	MC75A0: 長さ: 15.2cm (6.00 インチ) 幅: 8.4cm (3.30 インチ) 奥行き: 4.4cm (1.70 インチ) MC75A6/8: 長さ: 17.78cm (7.0 インチ) 幅: 8.4cm (3.30 インチ) 奥行き: 4.4cm (1.70 インチ)
重量	MC75A0: 364g (12.84 オンス) - 1950mAh バッテリーを含む 398g (14.04 オンス) - 3600mAh バッテリーを含む MC75A6/8: 389g (13.72 オンス) - 1950mAh バッテリーを含む 423g (14.92 オンス) - 3600mAh バッテリーを含む
ディスプレイ	3.5 インチ TFT 半透過型カラー液晶 (VGA)、バックライト搭載、 65,536 色解像度 480 (横)x 640 (縦) (VGA)
タッチ パネル	ガラス製アナログ抵抗膜式
バックライト	LED バックライト
標準バッテリー	充電式リチウム イオン 3.7V、1950、3600 または 4800 mAh 高性能バッテリー
バックアップ バッテリー	NiMH バッテリー (充電式) 15mAh 2.4V (ユーザーはアクセス不可)

注意 1: 合計出力は、USB、シリアル、またはそれらの組み合わせで、200mA を超えることはできません。

表 A-1 MC75A の技術仕様 (続き)

項目	説明
拡張スロット	microSD 対応スロット (SDHC サポート、安全カバー付き)
ネットワーク接続	イーサネット (クレードル経由) フルスピード USB (ホストまたはクライアント)、Bluetooth
通知	バイブレータおよび LED
キーパッド オプション	数字、DSD、QWERTY、AZERTY、QWERTZ
オーディオ	VoWWAN、VoWLAN、TEAM Express 準拠。有線および無線 (Bluetooth) ヘッドセットのサポート。ヘッドセット、ヘッドセット モードとスピーカフォン モード
性能	
CPU	Marvell PXA320 プロセッサ、806 MHz
オペレーティング システム	MC75A0: Microsoft® Windows Mobile™ 6.5 Classic MC75A6/8: Microsoft® Windows Mobile™ 6.5 Professional
メモリ	256MB RAM/1GB フラッシュ
インタフェース/通信	RS-232、USB 1.1、IrDA
出力 (注意 1)	USB: 5VDC @ 200mA (最大) シリアル: 5VDC @ 200mA (最大)
動作環境	
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F) - バッテリなしの状態
充電温度	0°C ~ 40°C/32°F ~ 104°F
湿度	95% (結露なきこと)
耐落下衝撃性能	室温 23°C (73°F) で、1.5 m (5 フィート) の高さからコンクリート面に複数回落下しても動作可能。 動作温度範囲下で、1.2 m (4 フィート) の高さからコンクリート面に複数回落下しても動作可能。 該当する MIL-STD 810G の仕様に準拠および高水準達成。
転倒衝撃	0.5 m (1.6 フィート) の転倒を 1,000 回 (2,000 回の落下に相当) 繰り返しても動作可能、該当する IEC 耐転倒衝撃仕様に適合。
静電気放電 (ESD)	± 15kVdc 大気放電、± 8kVdc 直接放電、± 8kVdc 間接放電
シーリング加工	IP54 (該当する IEC シーリング加工仕様に適合)
無線 WAN データおよび音声通信	
無線 WAN (WWAN) 通信	MC75A6: GSM: HSDPA (850、900、1800、1900 および 2100 MHz) MC75A8: CDMA: EVDO Rev A (800、1900MHz)
GPS	統合、アシスト、自動 GPS (A-GPS)、SUPL 準拠。SiRFstarIII GSC3f/LP チップセット
無線 LAN データ / 音声通信	
無線 LAN (WLAN) 通信	3 モード IEEE® 802.11a/b/g
注意 1: 合計出力は、USB、シリアル、またはそれらの組み合わせで、200mA を超えることはできません。	

表 A-1 MC75A の技術仕様 (続き)

項目	説明
サポートされているデータ伝送速度	1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54Mbps
動作チャンネル	チャンネル 8 ~ 169 (5040 ~ 5845MHz) チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz)、チャンネル 14 (2484MHz) 日本のみ 実際の動作周波数は、各地域の規制および承認機関により異なります
セキュリティ	WPA2、WEP (40 または 128 ビット)、TKIP、TLS、TTLS (MS-CHAP)、TTLS (MS-CHAP v2)、TTLS (CHAP)、TTLS-MD5、TTLS-PAP、PEAP-TLS、PEAP (MS-CHAP v2)、AES、LEAP、CCXv4 認定、FIPS 140-2 認定
通信方式	直接スペクトラム拡散方式 (DSSS) および直交周波数分割多重方式 (OFDM)
アンテナ	WLAN および Bluetooth 用内部アンテナ
音声通信	統合 VoIP 対応 (P2P、PBX、PTT)、Wi-Fi™ 準拠、IEEE 802.11a/b/g スペクトラム 拡散ダイレクト シーケンス (DS) 方式

無線 PAN データ / 音声通信

Bluetooth	Class II、v 2.1 EDR。オンボード チップ アンテナ
-----------	-----------------------------------

データ収集仕様

オプション	2D イメージャー、1D リニア、カラー カメラ
-------	--------------------------

リニア 1D スキャナ (SE950) の仕様

光学分解能	0.005 インチ 最小光源幅
回転	± 30°
ピッチ	± 65°
スキュー	± 60°
耐周辺光	直射日光: 8,000 フット キャンドル (86,112 Lux) 室内照明: 450 フット キャンドル (4,844 Lux)
耐衝撃	2,000 ± 5% G
スキャン速度	50 (± 6) スキャン / 秒 (双方向)
スキャン角度	46.5° (通常値)
レーザ出力	1.0mW (公称値)

2D Imager Engine (SE4500) の仕様

読み取り幅	水平 - 40° 垂直 - 25°
光学分解能	752 (縦) x 480 (横) ピクセル (グレー スケール)
回転	360°
ピッチ	± 60°
スキュー	± 60°

注意 1: 合計出力は、USB、シリアル、またはそれらの組み合わせで、200mA を超えることはできません。

表 A-1 MC75A の技術仕様 (続き)

項目	説明
耐周辺光	9,000 フィート キャンドル (96,900 Lux)
耐衝撃	2,000 ± 5% G
焦点範囲 (読み取り部前面からの距離)	近: 127mm (5 インチ) 遠: 229mm (9 インチ)
照準光源波長 (VLD)	655nm ± 10nm
発光光源波長 (LED)	625nm ± 5nm

カメラの仕様

解像度	3.2 メガ ピクセル、オート フォーカスとフラッシュ
-----	-----------------------------

注意 1: 合計出力は、USB、シリアル、またはそれらの組み合わせで、200mA を超えることはできません。

表 A-2 データ収集オプション

項目	説明		
レーザ読み取り機能	Code 39 Codabar Interleaved 2 of 5 MSI UPC/EAN supplementals Webcode GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Stacked Omni	Code 128 Code 11 EAN-8 UPCA Coupon Code Chinese 2 of 5 GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded Stacked	Code 93 Discrete 2 of 5 EAN-13 UPCE Trioptic 39 GS1 DataBar GS1 DataBar Stacked
イメージング読み取り機能	Code 39 Codabar Discrete 2 of 5 EAN-13 UPC/EAN supplementals Webcode Composite C Macro PDF-417 Data Matrix US Planet Canadian 4-state Chinese 2 of 5 microQR DataBar Limited DataBar Expanded Stacked	Code 128 Code 11 MSI UPCA Coupon Code TLC39 Micro PDF-417 (Macro) Micro PDF-417 Maxi Code UK 4-state Japanese 4-state USPS 4-state (US4CB) GS1 DataBar GS1 DataBar Stacked GS1 DataBar Stacked Omni	Code 93 Interleaved 2 of 5 EAN-8 UPCE Trioptic 39 Composite AB PDF-417 QR Code US Postnet* Australian 4-state Dutch Kix Aztec GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Stacked
カメラ読み取り機能	Code 39 Codabar Discrete 2 of 5 EAN-13 UPC/EAN supplementals Webcode Composite C Macro PDF-417 Data Matrix US Planet Canadian 4-state GS1 DataBar GS1 DataBar Stacked Expanded Stacked	Code 128 Code 11 MSI UPCA Coupon Code TLC39 Micro PDF-417 (Macro) Micro PDF-417 Maxi Code UK 4-state Japanese 4-state GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Stacked Omni	Code 93 Interleaved 2 of 5 EAN-8 UPCE Trioptic 39 Composite AB PDF-417 QR Code US Postnet* Australian 4-state Dutch Kix GS1 DataBar Limited GS1 DataBar

MC75A アクセサリの仕様

シングル スロット USB/シリアル クレードル

表 A-3 シングル スロット USB/シリアル クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	長さ: 14.54cm (5.72 インチ) 幅: 11.05cm (4.35 インチ) 高さ: 9.10cm (3.58 インチ)
重量	196g (6.9 オンス)
入力電力	12VDC
消費電力	30W
インタフェース	USB、シリアル
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電時の温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット イーサネット クレードル

表 A-4 4 スロット イーサネット クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	長さ: 46.80cm (18.42 インチ) 幅: 10.90cm (4.29 インチ) 高さ: 13.70cm (5.39 インチ)
重量	1079g (2.38 ポンド)
入力電力	12VDC
消費電力	100W
インタフェース	イーサネット
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電時の温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)

表 A-4 4 スロット イーサネット クレードルの技術仕様 (続き)

特徴	説明
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット 充電専用クレードル

表 A-5 4 スロット 充電専用クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	長さ: 46.80cm (18.42 インチ) 幅: 10.90cm (4.29 インチ) 高さ: 13.70cm (5.39 インチ)
重量	1079g (2.38 ポンド)
入力電力	12VDC
消費電力	100W
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電時の温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット バッテリ充電器

表 A-6 4 スロット バッテリ充電器の技術仕様

特徴	説明
寸法	長さ: 21.0cm (8.27 インチ) 幅: 15.50cm (6.10 インチ) 高さ: 3.47cm (1.37 インチ)
重量	386g (13.6 オンス)
入力電力	12VDC
消費電力	30W
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)

表 A-6 4 スロット バッテリー充電器の技術仕様 (続き)

特徴	説明
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電時の温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

磁気ストライプリーダー

表 A-7 磁気ストライプリーダー (MSR) の技術仕様

特徴	説明
寸法	長さ: 7.87cm (3.1 インチ) 幅: 8.38cm (3.3 インチ) 高さ: 3.56cm (1.4 インチ)
重量	48g (1.7 オンス)
インタフェース	シリアル、最大ボーレート 19,200
形式	ANSI、ISO、AAMVA、CA DMV、ユーザー設定可能な汎用形式
スワイプ速度	5 ~ 50 インチ (127 ~ 1270mm) / 秒、双方向
デコーダ	汎用、Raw データ
モード	バッファ付き、バッファ無し
トラック読み取り機能	トラック 1、3: 210 bpi トラック 2: 75 および 210 bpi、自動検出
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	1.22m (4 フィート) の高さからコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

付録 B キーパッド

はじめに

MC75A には、数字、DSD、QWERTY、AZERTY、QWERTZ という 5 種類のキーパッド構成があります。

数字キーパッド構成

数字キーパッドには、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーが含まれます。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー（ブルー）の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変更されることがあるため、MC75A のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[表 B-1](#) を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[B-3 ページの表 B-2](#) を参照してください。

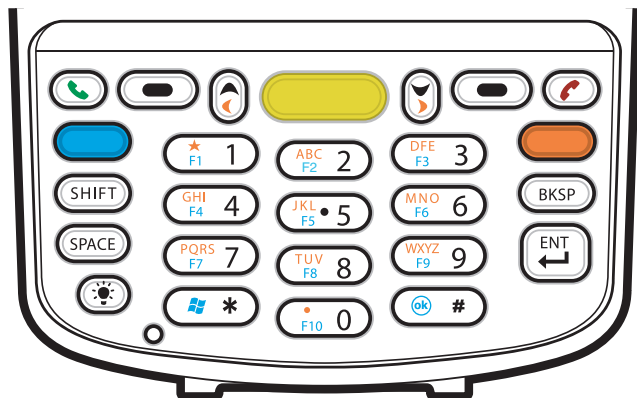


図 B-1 MC75A 数字キーパッド

表 B-1 MC75A 数字キーパッドの説明








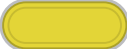






キー	説明
ブルー キー (左) 	<p>アプリケーションを起動したり、項目 (キーパッドに青で示されている項目) にアクセスするには、このキーを使用します。</p> <p>このモードをアクティブにするには、ブルー キーを 1 回押して別のキーを押します。</p> <p>1 回押すと、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコンが表示されます。</p>
オレンジ キー 	<p>文字と操作の第 2 階層 (キーパッドにオレンジで示されている項目) にアクセスするには、このキーを使用します。オレンジ キーを 1 回押すと、キーパッドが文字入力モードに切り替わります。</p> <p>1 回押すと、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p> <p>オレンジ キーをもう一度押すと、通常のモードに戻ります。</p> <p>オレンジ キーを押して Shift キーを押すと、オレンジ キーにロックされた状態で一時的にシフト状態になります (次の押したキーにのみ適用されます)。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p>
通話 / 終了  	<p>通話 (緑色の電話): 電話キーパッド ウィンドウを表示したり、電話キーパッド ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。</p> <p>終了 (赤色の電話): 電話キーパッド ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。</p>
スキャン (黄色) 	<p>スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。</p>
上 / 下へスクロール 	<p>1 つ上の項目へ移動します。</p> <p>オレンジ キーとともに押すと、1 つ左の項目へ移動します。</p>
左 / 右へスクロール 	<p>1 つ下の項目へ移動します。</p> <p>オレンジ キーとともに押すと、1 つ右の項目へ移動します。</p>
ソフト キー 	<p>画面上のコマンドやメニューにアクセスします。</p>
アスタリスク 	<p>デフォルトの状態では、アスタリスクが入力されます。</p> <p>ブルー キーを押して放し、アスタリスク キーを押すと、[Start] (スタート) メニューが開きます。</p>
英数字 	<p>デフォルトの状態では、キーに示されている数値が入力されます。</p> <p>英字モードの場合は、キーに示されている英字が小文字で入力されます。キーを押すたびに、次の英字に切り替わります。たとえば、オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「g」が入力されます。オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「i」が入力されます。</p> <p>英字モードで SHIFT キーを押すと、キーに示されている英字が大文字で入力されます。たとえば、オレンジ キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「G」が入力されます。オレンジ キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「I」が入力されます。</p>
SPACE 	<p>スペースが入力されます。</p>

表 B-1 MC75A 数字キーパッドの説明 (続き)







キー	説明
BACKSPACE 	カーソルの前にある 1 文字を削除します。
SHIFT 	<p>キーパッドの代替 SHIFT 機能を有効にするには、SHIFT キーを押して放します。</p> <p>1 回押すと、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコンが表示されます。</p> <p>オレンジ キーを押して Shift キーを押すと、オレンジ キーにロックされた状態で一時的にシフト状態になります (次の押したキーにのみ適用されます)。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p>
ENT (Enter) 	選択した項目または機能を実行します。
シャープ 	<p>シャープ / 数字記号が入力されます。</p> <p>ブルー キーを押して放してから、シャープ キーを押すと、[OK] が入力されます。</p>

表 B-2 数字キーパッドの入力モード

キー	数値モード			オレンジ キー (英字小文字モード)				オレンジ キー + Shift キー (英字大文字モード)			
		ブルー キー + キー	SHIFT + キー	1 回押した 場合	2 回 押した 場合	3 回 押した 場合	4 回 押した 場合	1 回押した 場合	2 回 押した 場合	3 回 押した 場合	4 回 押した 場合
1	1	F1	!	*	*	*	*	*	*	*	*
2	2	F2	@	a	b	c		A	B	C	
3	3	F3	#	d	e	f		D	E	F	
4	4	F4	\$	g	h	i		G	H	I	
5	5	F5	%	j	k	l		J	K	L	
6	6	F6	^	m	n	o		M	N	O	
7	7	F7	&	p	q	r	s	P	Q	R	S
8	8	F8	*	t	u	v		T	U	V	
9	9	F9	(w	x	y	z	W	X	Y	Z
0	0	F10)	.				>			

注：アプリケーションによってキーの機能が変換することがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 B-2 数字キーパッドの入力モード (続き)

キー	数値モード			オレンジ キー (英字小文字モード)				オレンジ キー + Shift キー (英字大文字モード)			
		ブルー キー + キー	SHIFT + キー	1 回押した 場合	2 回 押した 場合	3 回 押した 場合	4 回 押した 場合	1 回押した 場合	2 回 押した 場合	3 回 押した 場合	4 回 押した 場合
上	上	上	上を強調 表示	左				左			
下	下	下	下を強調 表示	右				右			
Enter	アク ション	アクシ ョン	アク ション	アク ション				アクシ ョン			

注 : アプリケーションによってキーの機能が変わることがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

DSD キーパッド構成

DSD キーパッドには、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーが含まれます。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー (ブルー) の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変わることがあるため、MC75A のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、表 B-3 を参照してください。キーパッドの特殊機能については、B-6 ページの表 B-4 を参照してください。

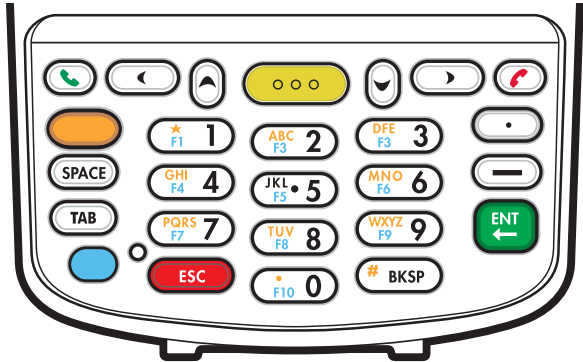


図 B-2 MC75A DSD キーパッド

表 B-3 MC75A DSD キーパッドの説明









キー	説明
ブルー キー (左) 	<p>アプリケーションを起動したり、項目 (キーパッドに青で示されている項目) にアクセスするには、このキーを使用します。</p> <p>このモードをアクティブにするには、ブルー キーを 1 回押して別のキーを押します。</p> <p>1 回押すと、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコンが表示されます。</p>
オレンジ キー 	<p>文字と操作の第 2 階層 (キーパッドにオレンジで示されている項目) にアクセスするには、このキーを使用します。オレンジ キーを 1 回押すと、キーパッドが文字入力モードに切り替わります。</p> <p>1 回押すと、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p> <p>オレンジ キーをもう一度押すと、通常のモードに戻ります。</p> <p>オレンジ キーを押して Shift キーを押すと、オレンジ キーにロックされた状態で一時的にシフト状態になります (次の押したキーにのみ適用されます)。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p>
通話 / 終了  	<p>通話 (緑色の電話): 電話キーパッド ウィンドウを表示したり、電話キーパッド ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。</p> <p>終了 (赤色の電話): 電話キーパッド ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。</p>
スキャン (黄色) 	<p>スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。</p>
Scroll Up (上にスクロール) 	<p>1 つ上の項目へ移動します。</p>
Scroll Left (左にスクロール) 	<p>1 つ左の項目へ移動します。</p>
Scroll Down (下にスクロール) 	<p>1 つ下の項目へ移動します。</p>
Scroll Right (右にスクロール) 	<p>1 つ右の項目へ移動します。</p>
英数字    	<p>デフォルトの状態では、キーに示されている数値が入力されます。</p> <p>英字モードの場合は、キーに示されている英字が小文字で入力されます。キーを押すたびに、次の英字に切り替わります。たとえば、オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「g」が入力されます。オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「i」が入力されます。</p> <p>英字モードで SHIFT キーを押すと、キーに示されている英字が大文字で入力されます。たとえば、オレンジ キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「G」が入力されます。オレンジ キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「I」が入力されます。</p>

表 B-3 MC75A DSD キーパッドの説明 (続き)







キー	説明
SPACE 	スペースが入力されます。
BACKSPACE 	カーソルの前にある 1 文字を削除します。
ESC 	操作またはアクションをキャンセルします。
ENT (Enter) 	選択した項目または機能を実行します。
ピリオド 	ピリオド文字を入力します。
ダッシュ 	ダッシュ文字を入力します。

表 B-4 DSD キーパッドの入力モード

キー	数値モード			オレンジ キー (英字小文字モード)				オレンジ キー + Shift キー (英字大文字モード)			
		ブルー キー + キー	SHIFT + キー	1 回押した 場合	2 回 押した 場合	3 回 押した 場合	4 回 押した 場合	1 回押した 場合	2 回 押した 場合	3 回 押した 場合	4 回 押した 場合
1	1	F1	!	*	*	*	*	*	*	*	*
2	2	F2	@	a	b	c		A	B	C	
3	3	F3	#	d	e	f		D	E	F	
4	4	F4	\$	g	h	i		G	H	I	
5	5	F5	%	j	k	l		J	K	L	
6	6	F6	^	m	n	o		M	N	O	
7	7	F7	&	p	q	r	s	P	Q	R	S
8	8	F8	*	t	u	v		T	U	V	
9	9	F9	(w	x	y	z	W	X	Y	Z
0	0	F10)	.				>			

注：アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 B-4 DSD キーパッドの入力モード (続き)

キー	数値モード			オレンジ キー (英字小文字モード)				オレンジ キー + Shift キー (英字大文字モード)			
		ブルー キー + キー	SHIFT + キー	1 回押した 場合	2 回 押した 場合	3 回 押した 場合	4 回 押した 場合	1 回押し た場合	2 回 押した 場合	3 回 押した 場合	4 回 押した 場合
.	.	.	.								
-	-	-	-								
上	上	上	上を強調 表示								
下	下	下	下を強調 表示								
左	左	左	左を強調 表示								
右	右	右	右を強調 表示								
Enter	アク ション	アク ション	アク ション	アク ション				アク ション			
ESC	ESC	ESC	ESC	ESC				ESC			

注：アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

英数字キーパッド構成

3 種類の英数字キーパッドで、26 文字の英字 (A ~ Z、大文字と小文字)、数字 (0 ~ 9)、および各種文字を入力できます。キーパッドは色分けされており、特定の文字を入力したり機能を実行するのに必要な修飾キーが示されています。キーパッドのデフォルトの文字は、英字の小文字です。キーとボタンの説明については、表 B-5 を参照してください。キーパッドの特殊機能については、B-10 ページの表 B-6 を参照してください。



図 B-3 QWERTY キーパッド構成



図 B-4 AZERTY キーボード構成

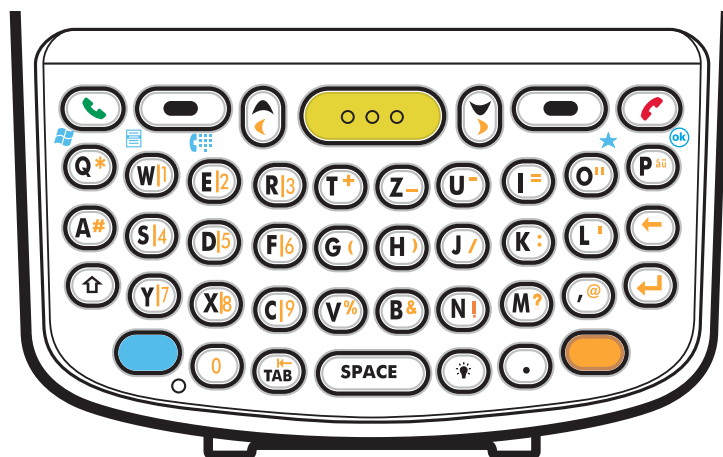


図 B-5 QWERTZ キーボード構成

表 B-5 英数字キーパッドの説明


キー	アクション
ブルー キー 	<p>キーパッドに青で示されているアプリケーションを起動します。 このモードを一時的にアクティブにするには、ブルー キーを 1 回押して別のキーを押します。</p> <p>2 番目のキーを押すまで画面の下部に次のアイコンが表示されます。</p> <p>このモードをロックするには、ブルー キーを 2 回押します。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p> <p>ブルー キーを 3 回押すと、ロックが解除されます。 このモードを一時的にアクティブにするには、ブルー キーを押しながら一連のキーを押します。キーを押している限り、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p>
オレンジ キー 	<p>文字と操作の第 2 階層 (キーパッドにオレンジで示されている項目) にアクセスします。 このモードを一時的にアクティブにするには、オレンジ キーを 1 回押して別のキーを押します。2 番目のキーを押すまで画面の下部に次のアイコンが表示されます。</p> <p>このモードをロックするには、オレンジ キーを 2 回押します。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p> <p>オレンジ キーを 3 回押すと、ロックが解除されます。 このモードを一時的にアクティブにするには、オレンジ キーを押しながら一連のキーを押します。キーを押している限り、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p>
通話 / 終了  	<p>通話 (緑色の電話): 電話キーパッド ウィンドウを表示したり、電話キーパッド ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。</p> <p>終了 (赤色の電話): 電話キーパッド ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。</p>
上 / 左ヘスクロール 	<p>1 つ上の項目へ移動します。 オレンジ キーとともに押すと、1 つ左の項目へ移動します。</p>
下 / 右ヘスクロール 	<p>1 つ下の項目へ移動します。 オレンジ キーとともに押すと、1 つ右の項目へ移動します。</p>
ソフト キー 	<p>画面上のコマンドやメニューにアクセスします。</p>
Shift 	<p>英字小文字モードを英字大文字モードに切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> このモードを一時的にアクティブにするには、Shift キーを 1 回押して別のキーを押します。2 番目のキーを押すまで画面の下部に次のアイコンが表示されます。 このモードをロックするには、Shift キーを 2 回押します。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。 ロックを解除するには、Shift キーをもう一度押します。

表 B-5 英数字キーパッドの説明 (続き)









キー	アクション
バックライト 	ディスプレイのバックライトのオン/オフを切り替えます。
Backspace 	カーソルの前にある 1 文字を削除します。
Enter 	選択した項目または機能を実行します。
アスタリスク 	アスタリスクを入力するには、このキーとブルー キーと一緒に押します。
OK 	このキーとブルー キーと一緒に押すと、OK ボタンまたは閉じるボタンとして機能します。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。
[スタート] メニュー 	このキーとブルー キーと一緒に押すと、画面をタップすることなく、あらゆるアプリケーションから [Start] (スタート) メニューを瞬時に表示できます。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。
メニュー 	このキーとブルー キーと一緒に押すと、画面をタップすることなく、あらゆるアプリケーションからコンテキスト メニューを瞬時に表示できます。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。
フォンパッド 	このキーとブルー キーと一緒に押すと、画面をタップすることなく、フォンパッド アプリケーションを瞬時に表示できます。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。

表 B-6 QWERTY キーパッドの入力モード

キー	標準	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
Q	q	Q	*	[スタート] メニュー
W	w	W	1	メニュー
E	e	E	2	電話
R	r	R	3	
T	t	T	+	
Y	y	Y	-	
U	u	U	-	
I	i	I	=	

注 : アプリケーションによってキーの機能が変換することがあるため、キーパッドがここで説明しているとおり機能しない場合があります。

表 B-6 QWERTY キーパッドの入力モード (続き)

キー	標準	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
O	o	O	“	*
P	p	P	áû	OK
A	a	A	#	
S	s	S	4	
D	d	D	5	
F	f	F	6	
G	g	G	(
H	h	H)	
J	j	J	/	
K	k	K	:	
L	l	L	'	
Backspace	Backspace			
Shift	Shift			
Z	z	Z	7	
X	x	X	8	
C	c	C	9	
V	v	V	%	
B	b	B	&	
N	n	N	!	
M	m	M	©	
,	,	<	@	
ENTER	Enter			
0	0	0	0	0
TAB	Tab	Tab	バック タブ	Tab
SPACE	Space	Space	Space	Space
バックライト	バックライト	バックライト	バックライト	バックライト
アスタリスク	*	*	*	*
.	.	>	.	.

注 : アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 B-7 AZERTY キーボードの入力モード

キー	標準	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
A	a	A	*	[スタート] メニュー
Z	z	Z	1	メニュー
E	e	E	2	電話
R	r	R	3	
T	t	T	+	
Y	y	Y	-	
U	u	U	-	
I	i	I	=	
O	o	O	"	*
P	p	P	áu	OK
Q	q	Q	#	
S	s	S	4	
D	d	D	5	
F	f	F	6	
G	g	G	(
H	h	H)	
J	j	J	/	
K	k	K	:	
L	l	L	'	
M	m	M	?	
Shift	Shift			
W	w	W	7	
X	x	X	8	
C	c	C	9	
V	v	V	%	
B	b	B	&	
N	n	N	!	
,	,	<	@	
Backspace	バックスペース			
Enter	Enter			

注：アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーボードがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 B-7 AZERTY キーパッドの入力モード (続き)

キー	標準	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
0	0	0	0	0
TAB	Tab	Tab	バック タブ	Tab
SPACE	Space	Space	Space	Space
バックライト	バックライト	バックライト	バックライト	バックライト
.	.	>	.	.

注：アプリケーションによってキーの機能が変わることもあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 B-8 QWERTZ キーパッドの入力モード

キー	標準	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
Q	q	Q	*	[スタート] メニュー
W	w	W	1	メニュー
E	e	E	2	電話
R	r	R	3	
T	t	T	+	
Z	z	Z	—	
U	u	U	-	
I	i	I	=	
O	o	O	“	*
P	p	P	âû	OK
A	a	A	#	
S	s	S	4	
D	d	D	5	
F	f	F	6	
G	g	G	(
H	h	H)	
J	j	J	/	
K	k	K	:	
L	l	L	‘	
Backspace	Backspace			
Shift	Shift			

注：アプリケーションによってキーの機能が変わることもあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 B-8 QWERTZ キーボードの入力モード (続き)

キー	標準	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
Y	y	Y	7	
X	x	X	8	
C	c	C	9	
V	v	V	%	
B	b	B	&	
N	n	N	!	
M	m	M	©	
,	,	<	@	
ENTER	Enter			
0	0	0	0	0
TAB	Tab	Tab	バック タブ	Tab
SPACE	Space	Space	Space	Space
バックライト	バックライト	バックライト	バックライト	バックライト
.	.	>	.	.

注：アプリケーションによってキーの機能が変換することがあるため、キーボードがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

特殊文字キー



注 特殊文字は、英数字キーボード構成でのみ入力することができます。

MC75A áü キーを使用して特殊文字を追加するには、まず関連する文字を入力し、オレンジ キーを 2 回押して、áü (P) キーを押します。特殊文字が表示されるまで、áü キーを押し続けます。既存の文字を変更するには、文字の右側にカーソルを移動してオレンジ キーを 2 回押し、元の文字が特殊文字に置き換わるまで áü キーを押します。表 B-9 に、入力可能な特殊文字を示します。

表 B-9 特殊文字

キー	特殊文字		キー	特殊文字
a	à á â ã ä å æ		A	À Á Â Ã Ä Å Æ
c	ç é ċ ©		C	Ç Ó Ć ©
d	ð		D	Ð
e	è é ê ë ě		E	È É Ê Ë Ě
i	ì í î ï		I	Ì Í Î Ï
l	ł		L	Ł Ł
n	ñ		N	Ñ
o	ò ó ô õ ö ø œ		O	Ò Ó Ô Õ Ö Ø Æ
p	þ ¶		P	þ ¶

表 B-9 特殊文字 (続き)

キー	特殊文字		キー	特殊文字
r	®		R	®
s	§ š ß		S	§ Š ß
t	‡		T	‡
u	ù ú û ü		U	Ù Ú Û Ü
y	ý		Y	Ý
z	ž ž		Z	Ž Ž
\$	€ £ ¥		/	\
"	' « ' »		([{ < «
)] } > »		+	± & - _
!,	¡ ? ¿		.	¡ , ;
*	#		@	~ %
%	^		,	; , :
#	*		&	- _ + ±
_	+ ± & -		'	« » "
©	¿ ! ¡		:	, , :
-	_ + ± &			

付録 C Voice Quality Manager

はじめに

Voice Quality Manager (VQM) は、MC75A に搭載されているソフトウェア パッケージです。VQM により、Voice over WiFi (VoWiFi) での通話に関する機能セットと、携帯電話回線 (GSM または CDMA) での通話に関する機能サブセットが可能になります。VQM ユーザー インターフェイスは直感的で使いやすいように設計されているため、通話中に音響エコー キャンセラ (AEC) を有効にしたり、VoWiFi 通話のオーディオ様式を自動的に切り替えたり、VoWiFi に適切なオーディオ ゲインを設定したりといった複雑なタスクも、ユーザーがまったくあるいはほとんど介入しないで実行できます。

特徴

VQM ソフトウェアには、次のような特徴があります。

- 追加のバッテリーを使用せずに、音声の転送品質を向上します。
- ユーザーが操作しなくても、VoWiFi コール用の AEC の電源を自動的にオンにします。
- VoWiFi 通話および WAN 通話の特定のプロファイルで、VoWiFi 通話に正しいオーディオ ゲインを自動的に設定します。
- 通話を開始した後または通話を受けた後、音声モードをスピーカーフォン モードからヘッドセット モードに自動的に切り替えることができます。
- 送信側の音声 IP パケットの優先順位を決定します。
- VQM アイコンを 1 度タップするだけで、音声モード (スピーカーフォンとハンドセット) を選択できます。MC75 のタイトル バーにある VQM アイコンは、現在使用中の音声モードを示します。
- NDIS 5.1 準拠。

VQM の有効化

VQM を有効にするには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[File Explorer]** (ファイル エクスプローラ) の順にタップします。
2. **[Windows]** フォルダに移動します。
3. **VQMAudioNotify** ファイルを探します。
4. ファイル名をタップすると VQM が有効になります。

音声モード








MC75A には、7 種類の音声モードがあります。モードはタイトル バーの VQM アイコンとして表示されます。



図 C-1 タイトル バーの VQM アイコン

この VQM アイコン (淡色表示) は、MC75 が音響エコー キャンセルなしのスピーカーフォン モードであることを示しています。音声モードとそれに対応する VQM タイトル バー アイコンは次のとおりです。

表 C-1 VQM アイコン

アイコン	説明
	音響エコー キャンセル付きのスピーカーフォン
	音響エコー キャンセルなしのスピーカーフォン
	音響エコー キャンセル付きヘッドセット (デバイスは、VoWiFi 通話または WAN 通話でのみヘッドセット モードに移行できます)。
	通話中のヘッドセット (有線または Bluetooth ヘッドセットでは音響エコー キャンセルは無効)
	通話中でないヘッドセット
	通話中の Bluetooth ヘッドセット (有線または Bluetooth ヘッドセットでは音響エコー キャンセルは無効)。白いアイコン。
	通話中でない Bluetooth ヘッドセット。グレーのアイコン。

音声モードの変更

タイトル バーの VQM アイコンをタップすると、使用中の音声モードに応じてモードを変更できます。音声モードを変更できるのは、ユーザーが通話中でないときのみです。VQM アイコンは、WAN 通話の音声モードの切り替えに使用できます。

次の表では、現在の音声モードと、VQM アイコンをタップすると次に現れる音声モードを示します。

表 C-2 音声モードの変更

VQM アイコンをタップする前の音声モード	VQM アイコンをタップした後の音声モード
スピーカーフォン	ハンドセット
ハンドセット	スピーカーフォン
有線ヘッドセット	有線ヘッドセット
Bluetooth ヘッドセット	Bluetooth 接続の直前に使用したプロファイルに戻ります。

音声モードがスピーカーフォンに設定されているときに VQM アイコンをタップすると、音声モードがハンドセットに変わります。

BTE Explorer で Bluetooth ヘッドセットを使用する場合、ヘッドセットのプロファイルを有効にして、デバイスが接続可能であることを確認します。ヘッドセットのボタンを押すと、ヘッドセットが再び MC75A とペアリングされます。ヘッドセットのボタンを 2 回目のクリックで、音声は Bluetooth ヘッドセットに送信されます。

MC75A と Bluetooth ヘッドセットがペアリングされていない場合、VQM アイコンを使用して Bluetooth ヘッドセットに戻る方法はありません。Bluetooth ヘッドセットをデバイスに再接続する唯一の方法は、BTE Explorer アプリケーションを使用することです。

有線ヘッドセットが MC75A に接続されているときに VQM アイコンをタップしても、音声モードは変わりません。音声は引き続き有線ヘッドセットに流れます。

通話中でないときに VQM アイコンをタップしても、音声モードは変わりません。

VQM のバージョン番号を表示するには、[Start] (スタート) > [File Manager] (ファイル マネージャ) をタップします。Windows フォルダに移動し、VQMAudioNotify.exe ファイルを探します。

ダイアログ ボックスに、バージョン番号の一覧が表示されます。



図 C-2 [VQM Audio Control] ダイアログ ボックス

音声パケットの優先

IP ソフトフォンは、ネットワーク上でデータを送信する他のアプリケーションと同じ方法で音声パケットを転送します。さまざまなトラフィックが存在するネットワークでは、音声パケットには他のトラフィックと同じ優先度が割り当てられているため、遅延が発生する場合があります。

WiFi Multi-media (WMM) は、このような問題を解決します。WMM は、トラフィックの優先順位の決定をサポートし、「優先度の高い」パケットを優先することができます。

WMM を活用するには、トラフィックを生成するデバイスの IP パケット内の Differentiated Services Code-Point (DSCP) というフィールドで、パケットを高い優先度または普通の優先度にマークする必要があります。無線インフラストラクチャを WMM をサポートするように設定すると、トラフィックを生成するデバイスの DSCP マーキングによって高い優先度とマークされているパケットが優先されます。

VQM は進行中の Voice over WiFi (VoWiFi) コールが存在するかどうかを検出し、コールが存在すれば、DSCP を使用して送信音声パケットを高い優先度にマークします (送信音声パケットのみがマーク可能です。受信音声パケットは既にネットワークを通過しているため、マークしても無意味です)。このようにすると、WMM と互換性のある無線インフラストラクチャで、音声パケットを優先させることができます。その結果、音声パケットの遅延が減少し、通話の品質が改善されます。

音響エコー キャンセル

音響エコーは、音声通話中に、イヤフォンから出る音声と同じデバイスのマイクに入ると発生します。その結果、通話相手には自分の声が遅れて聞こえてきます (これを「エコー」と読みます)。言うまでもなく「エコー」は望ましいものではないので、抑制する必要があります。これが、音響エコー キャンセラ (AEC) の機能です。エコーを抑制する手法には、次の 2 つがあります。

- 音響エコー キャンセラ (AEC) を常時オンにします。AEC がオンになっているとデバイスの消費電力が増えるため、これはあまり効率の良い方法ではありません。
- 進行中の通話があるときのみ音響エコー キャンセラ (AEC) をオンにします。

VQM は、前述の 2 つ目の方法に従います。

VQM では、モバイル デバイスが VoWiFi 通話状態になると、音響エコー キャンセラ (AEC) が自動的にオンになります。通話が終了すると、AEC がオフになります。スピーカーフォン モードとハンドセット モードでは AEC がオンになり、有線ヘッドセット モードと Bluetooth ヘッドセット モードではオンにならないことに注意してください。有線ヘッドセットでは (イヤフォンと耳の距離が近い) 音量がかなり低く、イヤフォンから出る音声が入ることはほとんど考えられないため、AEC は不要です。Bluetooth には通常、エコー キャンセラが内蔵されています。通話中のみ AEC をオンにすれば、常時 AEC をオンにしておくよりもバッテリーの電力を節約できます。

WWAN 電話アプリケーションにはエコー キャンセラが内蔵されているため、携帯電話の通話では AEC はオンになりません。

制限

- VQM では VPN はサポートされていません。
- Avaya ソフトフォンのみがサポートされています。

VQM の無効化

VQM を無効化するにはウォーム ブートを実行します。

用語集

A

API. あるソフトウェア コンポーネントが他のコンポーネントと通信したり、他のコンポーネントを制御したりする際に使用するインタフェース。通常は、あるソフトウェア コンポーネントによって、ソフトウェアの割り込みや機能の呼び出しによって、他のコンポーネントに提供されるサービスを指します。

ASCII. American Standard Code for Information Interchange。128 文字、数字、句読点および制御文字を表す、7 ビット + パリティビットのコード。アメリカでの標準的なデータ転送コードです。

B

bps. 「ビット/秒」を参照してください。

C

CDMA. Code Division Multiple Access (符号分割多重接続) は、多重化の 1 形式であり、複数のアクセスを行うための方法です。TDMA のようにチャンネルを時間で分割したり、FDMA のように周波数でチャンネルを分割したりしない代わりに、各チャンネルに関連する特殊なコードでデータをエンコードし、その特殊なコードの構造的な干渉特性を利用して多重化を実行します。

CDRH. Center for Devices and Radiological Health (医療機器・放射線保健センター) の略。レーザ製品の安全性に関する規制を行う連邦政府機関。この機関は、レーザ操作時の電源出力に基づいて各種レーザ操作クラスを規定しています。

CDRH Class 1. 最も低いパワーの CDRH レーザ分類です。このクラスは、すべてのレーザ出力が目の瞳孔に向けられた場合でも本質的に安全であると見なされます。このクラスでは特別な操作手順は規定されていません。

CDRH Class 2. この制限に準拠するために追加のソフトウェアメカニズムを用意する必要はありません。このクラスのレーザは、人体に意図的に直接照射しない限り、特に危険性はありません。

COM ポート. 通信ポート。ポートは COM1 や COM2 など、数字で識別されます。

D

DRAM. Dynamic random access memory (ダイナミック ランダム アクセス メモリ) の略。

E

EMDK. Enterprise Mobility Developer's Kit の略。

ENQ (RS-232). ホストへ送信されるデータ用に、ENQ ソフトウェアによるハンドシェイキングもサポートされています。

ESD. Electro-Static Discharge (静電気放電) の略。

EvDO、1xEV-DO. 多くの CDMA 携帯電話サービス プロバイダが採用している、無線ブロードバンド データ標準。CDMA2000 ファミリの標準の一部として、3GPP2 によって標準化されています。

F

FTP.「ファイル転送プロトコル」を参照してください。

H

Hz. ヘルツ。1 秒あたり 1 サイクルと同等の周波数の単位です。

High-Speed Downlink Packet Access (HSDPA). High-Speed Packet Access (HSPA) ファミリー内の 3G (第 3 世代) 携帯電話通信プロトコル。Universal Mobile Telecommunications System (UMTS) を基礎とするネットワークによる、より高速かつ大容量のデータ転送が可能になります。

I

IDE. Intelligent Drive Electronics の略。ソリッドステート ハード ドライブのタイプを指します。

IEC. International Electrotechnical Commission (国際電気標準会議) の略。この国際機関は、レーザ操作時の電源出力に基づいて各種レーザ操作クラスを規定することによって、レーザの安全性を規制しています。

IEC (825) Class 1. 最も低いパワーの IEC レーザ分類です。この規格に準拠しているかどうかは、1000 秒の時間枠でレーザ操作が 120 秒間に制限されていることと、スキャナの振動ミラーが故障した場合にレーザが自動シャットダウンされることによって確認されます。

IEEE アドレス.「MAC アドレス」を参照してください。

Interleaved 2 of 5. 5 本のバーと 5 本のインターリーブスペースで構成されるグループ内の、キャラクタのペアを表す 2 進数のバーコードの記号体系。インターリーブにより、情報の高密度化が可能になります。各グループ内の太いエレメント (バー / スペース) の位置は、エンコードされるキャラクタによって決まります。このコンティニアス コード タイプは、キャラクタ間スペースを使用しません。数字 (0 ~ 9) と、スタートまたはストップ キャラクタのみがエンコード可能です。

IP. インターネット プロトコル (Internet Protocol) の略。TCP/IP 通信プロトコルの IP 部分。IP はプロトコルのネットワーク層 (第 3 層) を実装しています。ネットワーク層にはネットワーク アドレスが含まれており、ネットワーク層を使用して別のネットワークやサブネットワークにメッセージをルーティングします。IP では、第 4 層の転送プロトコル (TCP または UDP) からの「パケット」を受け取り、独自のヘッダを追加して、第 2 層のデータ リンク プロトコルに「データグラム」を渡します。また、ネットワークの最大転送単位 (MTU) をサポートするため、パケットをいくつかの断片に分解する場合があります。

IP アドレス. (インターネット プロトコル アドレスの略) IP ネットワークに接続されたコンピュータのアドレス。すべてのクライアントおよびサーバー ステーションは、固有の IP アドレスを持っている必要があります。IP ネットワーク上のコンピュータでは、32 ビット アドレスが使用されます。クライアント ワークステーションには、固定アドレスか、セッションごとに動的にワークステーションに割り当てられるアドレスを設定します。IP アドレスは、ピリオドで分割された 4 セットの数字で記述されます。たとえば、204.171.64.2 などとなります。

IS-95. Interim Standard 95 (暫定標準-95) の略。CDMA 携帯電話サービスの運用を規定する EIA/TIA 標準です。IS-95A と IS-95B のバージョンがあります。「CDMA」を参照してください。

L

LCD. 「液晶ディスプレイ」を参照してください。

LED インジケータ. インジケータとして使用される半導体ダイオード (LED は発光ダイオード)。多くはデジタル ディスプレイに使用されます。この半導体は、印加電圧を使用して、ある特定の周波数の光を発生します。周波数は半導体の化学組成によって決定されます。

M

MC. Mobile Computer (モバイル コンピュータ) の略。

MDN. Mobile Directory Number (モバイル ディレクトリ番号) の略。モバイル装置につなぐために (通常は POTS を使用して) ダイアルする電話番号の一覧を表示するディレクトリ。MDN は通常、携帯電話の MIN と関連づけられており、米国とカナダでは、音声を使用する携帯電話のユーザーに対する MDN と MIN は同じ値になります。国際ローミングを考慮すると、MDN は MIN と異なる値になります。

MIN. Mobile Identification Number (モバイル識別番号) の略。携帯デバイスに関連付けられている固有のアカウント番号です。携帯電話システムへのアクセス時に、携帯デバイスによってブロードキャストされます。

N

NVM. Non-Volatile Memory (不揮発性メモリ) の略。

O

Open Data-Link Interface (ODI). ネットワーク ハードウェアと高レベル プロトコルの間のインタフェースに関する、Novell のドライバ仕様。1 つの NIC (ネットワーク インタフェース コントローラ) で複数のプロトコルをサポートします。他の ODI 互換プロトコルから送信されたネットワーク情報や要求を理解し、NetWare クライアントが理解および処理可能なデータに変換することができます。

P

PAN . Personal area network (パーソナル エリア ネットワーク) の略。Bluetooth 無線テクノロジーを使用して、複数のデバイスが無線で通信できるようになります。一般的に無線 PAN は、約 10m の範囲内で通信する 254 台までのデバイスの動的なグループで構成されます。通常は、この限定された領域の中にあるデバイスのみがネットワークに参加できます。

PING. Packet Internet Groper の略。特定の IP アドレスがオンラインであるかどうかを判断するために使用されるインターネット ユーティリティ。パケットを送信して応答を待つことで、ネットワークをテストしたりデバッグしたりするために使用されます。

Print Contrast Signal (PCS). シンボルのバーとスペースの間のコントラスト (明るさの違い) を測定した値。バーコードがスキャン可能になるには、最小限の PCS 値が必要です。PCS = (RL - RD) / RL と計算します。PL は背景の反射率、PD は暗いバーの反射率を表します。

Q

QWERTY. 北米と一部欧州の PC キーボードで一般的に使用される標準的なキーボード。"QWERTY" は、キーボードの上から 3 列目のキー配列を指します。

R

RAM. Random Access Memory (ランダム アクセス メモリ) の略。RAM 内のデータにはランダムな順序でアクセスでき、すばい読み書きが可能です。

RF. Radio Frequency (無線周波数) の略。

ROM. Read-Only Memory (読み出し専用メモリ) の略。ROM に格納されたデータを変更または削除することはできません。

RS-232. 米国電子工業会 (EIA) の標準で、デバイス間でのデータのシリアル転送に使用するコネクタ、コネクタ ピンおよび信号を定義しています。

S

SID. System Identification code (システム識別コード) の略。業界ごとに FCC が発行する識別子です。携帯デバイスでホーム サービスとローミング サービスを区別できるようにするため、携帯電話キャリアでも SID をブロードキャストします。

Space. バーコードで、バーの間の背景によって形成される明るいエレメント。

Symbol. 特定の記号体系の規則に従ってデータをエンコードする、スキャン可能な単位。通常はスタート/ストップ キャラクタ、クワイエット ゾーン、データ キャラクタおよびチェック キャラクタを含みます。

T

TCP/IP. Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。異種システム間をネットワーク接続するために使用される通信プロトコルです。この標準はインターネットのプロトコルであり、通信に関するグローバルな標準となっています。TCP は転送機能を提供します。これにより、送信された合計バイト数が相手側で正しく受信されるようになります。UDP は代替的な転送機能で、配信は保証されません。UDP は、異常なパケットが再送されないリアルタイムの音声および映像の転送に使用されます。IP はルーティングメカニズムを備えています。TCP/IP はルーティング可能なプロトコルです。これは、すべてのメッセージに、宛先ステーションのアドレスだけでなく宛先ネットワークのアドレスも含まれていることを意味します。これにより組織内や世界中の複数のネットワークに TCP/IP メッセージを送信できるため、TCP/IP は世界中のインターネットで使用されています。TCP/IP ネットワーク内のすべてのクライアントとサーバーには、固定 IP アドレス、または起動時に動的に割り当てられる IP アドレスが必要です。

Telnet. インターネットや TCP/IP ベースのネットワークで一般的に使用される、ターミナル エミュレーション プロトコル。これにより、ターミナルやコンピュータを使用するユーザーがリモート デバイスにログオンし、プログラムを実行することができます。

TFTP. Trivial File Transfer Protocol (簡易ファイル転送プロトコル) の略。TCP/IP FTP (ファイル転送プロトコル) のバージョンの 1 つで、ディレクトリやパスワードの機能はありません。ファームウェアのアップグレード、ソフトウェアのダウンロード、およびディスクレス デバイスのリモート ブートに使用されるプロトコルです。

Transmission Control Protocol/Internet Protocol. 「TCP/IP」を参照してください。

U

UDP. User Datagram Protocol (ユーザー データグラム プロトコル) の略。IP プロトコル セットに含まれるプロトコルのひとつで、信頼性の高い配信が必要でない場合に、TCP に代わって使用されます。たとえば、再転送する時間がないためにパケットが失われても単純に無視されるようなリアルタイムの音声および映像のトラフィックに対して、UDP が使用されます。UDP を使用して信頼性の高い配信を行う必要がある場合は、パケット シーケンスのチェックとエラー通知をアプリケーション内に記述する必要があります。

UPC. Universal Product Code (ユニバーサル プロダクト コード) の略。比較的複雑な数字の記号体系です。各キャラクタは 2 つのバーと 2 つのスペースで構成され、そのそれぞれが 4 種類の幅のいずれかになります。米国での小売の食品パッケージで標準的に使用される記号体系です。

あ

アプリケーション プログラミング インタフェース. 「API」を参照してください。

い

インターネット プロトコル アドレス. 「IP」を参照してください。

う

ウォーム ブート. ウォーム ブートは、実行中の全プログラムを終了してモバイル コンピュータを再起動します。フラッシュ メモリに保存されていないデータはすべて失われます。

え

液晶ディスプレイ (LCD). 2 枚のガラス板の間に封入された液晶を使用したディスプレイ。液晶は電圧を正確にかけることによって励起し、そのバイアスに従って光を外側に反射させます。消費電力が少なく、比較的高速で応答します。液晶の情報をユーザー側に反射するには、外光が必要となります。

エンコード領域. コード パターンのすべてのキャラクタ (スタート/ストップ キャラクタとデータを含む) が占める、全体的な長さの寸法。

お

オープン システム認証. オープン システム認証は、null 認証アルゴリズムです。

か

解像度. 特定の読み取りデバイスによって識別される、または特定のデバイスや方法で印刷される、最も幅の狭いエレメントの寸法。

可視半導体レーザ (VLD). 可視レーザ光を発生する、半導体素子を使用したデバイス。

簡易ファイル転送プロトコル. 「TFTP」を参照してください。

き

キー. データの暗号化や復号を行うためのアルゴリズムによって使用される特定のコード。「暗号化」と「復号」も参照してください。

記号体系. 特定のバーコード タイプ (UPC/EAN、Code 39、PDF417 など) のデータを表すための構造的なルールと規約。

基板. 実体やイメージが配置される基板の素材。

キャラクタ. バーとスペースで構成されるパターン。データを直接的に表現するか、数字や文字、句読点、メッセージ内の通信制御など、特定の制御機能を示します。

鏡面反射. 平面から鏡のように直接反射される光。これによってバーコードのデコードが困難になる場合があります。

共有キー. 共有キーによる認証は、AP と MU の両方で認証キーを共有するアルゴリズムです。

許容範囲. バーまたはスペースの幅の公称値からの許容される誤差。

く

クレードル. ターミナルのバッテリーの充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。使用していないときは、ターミナルの保管場所となります。

クワイエットゾーン. バーコードのスタート キャラクタの前とストップ キャラクタの後ろにある、暗いマークが存在しない空白の部分。

こ

公称値. 特定のパラメータの正確な (または理想的な) 目標値。この値からの正と負の誤差として、許容範囲が指定されます。

公称サイズ. バーコードの標準サイズ。多くの UPC/EAN コードは、一定の倍率の範囲 (公称値の 0.80 ~ 2.00) で使用されます。

コード長. バーコードの、スタート キャラクタとストップ キャラクタの間にあるデータ キャラクタの数 (スタート キャラクタとストップ キャラクタは含まない)。

コールド ブート. コールド ブートは、モバイル コンピュータを再起動し、ユーザーが保存したすべてのレコードやエントリを消去します。

コンティニアス コード. シンボル内のすべてのスペースがキャラクタの一部になるようなバーコードまたはシンボル。コンティニアス コードにはキャラクタ間ギャップがありません。ギャップがない分、情報密度が高くなります。

さ

サブネット. 1 つのネットワーク上で、同じルータのサービスを受ける複数のノードのサブセット。「ルータ」を参照してください。

サブネット マスク. IP アドレスのネットワーク部分とホスト部分を分離するために使用される 32 ビットの数字。カスタム サブネット マスクは、IP ネットワークをさらに小さなサブセクションに分割します。マスクはバイナリパターンであり、IP アドレスと組み合わせることで、ホスト ID アドレス フィールドの一部をサブネットのフィールドに置き換えます。多くの場合、デフォルトは 255.255.255.0 です。

し

自動識別. スキャンされたバーコードのコード タイプを判別する、インタフェース コントローラの機能。この識別を行ってから、情報コンテンツを読み取ります。

シンボル アスペクト比率. シンボルの幅に対する高さの比率。

シンボルの高さ. 最初の行と最後の行の、クワイエット ゾーンの外側の端の間の距離。

シンボルの長さ. スタート キャラクタに隣接するクワイエット ゾーン (マージン) の最初から、ストップ キャラクタに隣接するクワイエット ゾーン (マージン) の最後までを計測した、シンボルの長さ。

す

スキャナ. バーコードをスキャンし、シンボルのバーとスペースに対応するデジタル化されたパターンを作成するための電子デバイス。主なコンポーネントは次の 3 つです。1) 光源 (レーザまたは光電セル) - バーコードに光を照射する 2) 光検出器 - 反射光の差異を登録する (スペースからより多くの光が反射される) 3) 信号処理回路 - 光検知器の出力をデジタル化されたバーのパターンに変換する。

スキャン シーケンス. バーコード メニューをスキャンすることにより、バーコード読み取りシステムのパラメータをプログラミングまたは設定する方法。

スキャン モード. スキャナが通電され、プログラミングされてバーコードを読み取れる状態になっていること。

せ

セルフチェック機能付きコード. チェック アルゴリズムを使用して、バーコードのキャラクタ内にあるエンコードのエラーを検出する記号体系。

そ

ソフト リセット. 「ウォーム ブート」を参照してください。

た

ターミナル. 「モバイル コンピュータ」を参照してください。

ターミナル エミュレーション. "ターミナル エミュレーション" では、メインフレーム以外のリモート ターミナルで、キャラクタベースのメインフレーム セッション (すべての表示機能、コマンドおよびファンクション キーを含む) をエミュレートします。VC5000 シリーズでは、3270、5250 および VT220 でターミナル エミュレーションをサポートしています。

ち

チェック デジット. シンボルが正しく読み取られているかどうかを検証するために使用する数字。スキャナは読み取ったデータを演算式に代入し、その結果算出された数字が、エンコードされていたチェック デジットと一致するかどうかを確認します。チェック デジットは、UPC では必須ですが、他の記号体系では省略可能です。チェック デジットを使用すると、シンボルを読み取ったときに代入エラーが発生する可能性が小さくなります。

て

デコード. バーコードの記号体系 (UPC/EAN など) を識別し、スキャンしたバーコードの内容を分析すること。

デコード アルゴリズム. パルス幅を、バーコード内でエンコードされた文字や数字のデータ表示に変換する読み取りスキーム。

に

入出力ポート. I/O ポートは主に、ターミナルのメモリで情報を入力または出力するためのみに使用されます。9000 シリーズのモバイル コンピュータには、シリアル ポートと USB ポートが付いています。

は

バー. 印刷されたバーコードの黒い部分。

バーコード. さまざまな幅のバーとスペースのパターン。数字や英数字のデータを機械が読み取れる形式で表します。一般的なバーコードの形式は、先頭マージン、スタート キャラクタ、データ キャラクタ (またはメッセージ キャラクタ)、チェック キャラクタ (あれば)、ストップ キャラクタ、および末尾マージンで構成されます。この枠組みの中で、認識可能な記号体系それぞれが独自の形式を使用します。「記号体系」を参照してください。

バーコードの密度. 測定単位あたりの表示されるキャラクタ数 (インチあたりのキャラクタ数など)。

ハード リセット. 「コールド ブート」を参照してください。

バーの高さ. バーの幅に対して直角に測定したバーの寸法。

バーの幅. シンボルのスタート キャラクタにもっとも近い端から、同じバーの末尾の端までを測定したバーの太さ。

バイト. アドレス指定可能な境界上で、特定の文字や数値を表すパターン内で組み合わせられた、隣接した 8 桁の 2 進数 (0 と 1)。ビットには右から 0 ～ 7 の番号が付いており、ビット 0 が下位のビットです。メモリ内では、1 バイトを使用して 1 つの ASCII 文字を格納します。

発光ダイオード. 「LED」を参照してください。

パラメータ. さまざまな値を割り当てられた変数。

反射率. 照射された面から反射される光の量。

半導体レーザ. 電源に接続してレーザ光線を発生する、ガリウム砒素半導体タイプのレーザ。このタイプのレーザは、コヒーレント光のコンパクトな光源です。

ひ

ビット. 1 桁の 2 進数。1 ビットが、バイナリ情報の基本単位です。一般的には、連続した 8 ビットが 1 バイトのデータを構成します。バイト内の 0 と 1 の値のパターンによって、そのバイトの意味が決定されます。

ビット/秒 (bps). 送信または受信されるビット数。

ふ

ファイル転送プロトコル (FTP). ネットワークや電話回線を介したファイル転送を支配する TCP/IP アプリケーション プロトコル。「TCP/IP」を参照してください。

ブートまたはブートアップ. コンピュータが起動時に実行するプロセス。ブートアップ中、コンピュータは自己診断テストを実行したり、ハードウェアやソフトウェアを設定したりすることができます。

復号. 受信した暗号データをデコードおよびスクランブル解除すること。「暗号化」と「キー」も参照してください。

フラッシュ ディスク. アプリケーションや設定ファイルを格納するために、不揮発性のメモリを補助する追加ストレージ。

フラッシュ メモリ. 半永久的な不揮発性のストレージ。回線内で電氣的に消去したり、プログラミングしなおしたりすることが可能です。MC75A のモバイル コンピュータでは、フラッシュ メモリを使用してオペレーティング システムやターミナル エミュレータ、クライアントを格納しています。

ほ

ホスト コンピュータ. ネットワーク内の他のターミナルに、演算やデータベース アクセス、監視プログラム、ネットワーク制御などのサービスを提供するコンピュータ。

も

文字セット. 特定のバーコード記号体系で実行されるエンコードで利用可能なキャラクタ。

モバイル コンピュータ. 本書では、モバイル コンピュータは MC75A を指します。スタンドアロン型のデバイスとして使用するようセットアップすることも、無線テクノロジーを使用してネットワーク通信するようセットアップすることも可能です。

よ

読み取り幅. スキャナがある一定の最小光源幅でシンボルを読み取れる最短距離と最長距離の間の範囲。

る

ルータ. ネットワークに接続して、パケットのフィルタリングに必要なプロトコルをサポートするデバイス。一般的には、配線の範囲を広げたり、ネットワークのトポロジをサブネットにまとめたりするために使用されます。「サブネット」を参照してください。

れ

レーザ (LASER). Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation の略。強い光源です。白熱灯バルブから出力される光と異なり、レーザからの光はすべて同じ周波数です。レーザ光は一般的にコヒーレントであり、高いエネルギー密度を持っています。

レーザ スキャナ. レーザ光のビームを使用するタイプのバーコード リーダー。

索引

数字

1-D バーコード	3-1
2-D バーコード	3-3
3 者通話	4-21, 4-22
4 スロット イーサネット クレードル	7-5
充電	7-5, 7-6
充電インジケータ	7-6, 7-7
4 スロット充電専用クレードル	7-6
4 スロット バッテリ充電器	7-1, 7-11
充電	7-12
4 スロットバッテリ充電器	
充電インジケータ	7-12
4 スロット予備バッテリ充電器	
シムの取り付け	7-11
接続	7-12

A

ActiveSync	2-8
アイコン	2-6
AFH	6-1
AirBEAM	2-8
AZERTY	B-8

B

Bluetooth	6-1
アイコン	2-6
オフ	6-5, 6-17
オン	6-5, 6-17
結合	6-34
結合されたデバイスの削除	6-36
セキュリティ	6-2
適応型周波数ホッピング	6-1
bluetooth	
オン/オフの切り替え	6-5, 6-17

デバイスの検出	6-6, 6-18
Bluetooth 結合の削除	6-36
Bluetooth ヘッドセット	4-4
Bluetooth ヘッドセットの使用	4-4
BTE Explorer	2-9

C

camera	xii
--------	-----

D

DEX ケーブル	7-1, 7-24
DSD キーパッド	B-4
キーの説明	B-5

E

enterprise mobility developer kit	7-2
ESD	1-8
EVDO	xii
Evolution Data-Optimized	4-1

G

GPS	5-1
-----	-----

H

High-Speed Downlink Packet Access	4-1
-----------------------------------	-----

I

Internet Explorer Mobile	2-7
internet sharing	2-8
IrDA	2-10

L

LED

インジケータ	2-16
充電	2-16, 7-4, 7-6, 7-7, 7-10, 7-12, 7-25
スキャンと読み取り	2-16, 3-2, 3-4, 3-5
バッテリー状態	2-16

M

MC75A のロック	2-19
Media Player	2-7
microSD	1-8
MMC	7-23
MSP Agent	2-9
MSR	7-2, 7-13, 7-23
磁気ストライプ リーディング	7-13
取り付け	7-13

O

O'Neil プリンタ ケーブル	7-24
------------------	------

P

PC との同期	
Bluetooth の使用	6-13
PDA のウェイクアップ	2-18

Q

QWERTY キーパッド	
入力モード	B-11, B-12, B-13
QWERTZ	B-8

R

rapid deployment	2-9
RS232 充電ケーブル	7-24

S

SDK	
EMDK を参照	7-2
SIM Toolkit	2-9
SIM カード	
アクセサリ	1-3
取り付け	1-3
SiRF III	5-1
subscriber identification module	1-3

T

[Today] (今日) 画面	2-1
-------------------	-----

U

USB クライアント充電ケーブル	7-24
USB 充電	7-2
USB 充電ケーブル	7-1

V

Voice Quality Manager	C-1
VQM	C-1
無効化	C-4
有効化	C-2

W

Windows Live	2-8
Windows Live Messenger	2-7
Wireless	1-12, 4-2
Wireless Manager	1-12, 4-2
wireless manager	2-10
WLAN 802.11a/b/g	xii
WPAN Bluetooth	xii

Z

Zebra プリンタ ケーブル	7-24
通信	7-24

あ

アイコン

ActiveSync	2-6
Bluetooth	2-6
ステータス	2-2
スピーカ	2-12
タスクトレイ	2-6
バッテリー	2-3, 2-13
無線ステータス	2-6
アクションボタン	2-21
アクセサリ	
4 スロット イーサネット クレードル	7-1, 7-3, 7-5
4 スロット 充電専用クレードル	7-6
4 スロット バッテリー充電器	7-1, 7-11
DEX ケーブル	7-1
EMDK	7-2
microSD カード	1-8
MSR	7-2, 7-13
磁気ストライプ リーディング	7-13
取り付け	7-13
O'Neil プリンタ ケーブル	7-2
SIM カード	1-3
USB 充電ケーブル	7-1, 7-2
Zebra プリンタ ケーブル	7-2
zebra プリンタ ケーブル	7-2

ケーブル	7-2, 7-24
磁気ストライプリーダー	7-2, 7-13, 7-23
車載用クレードル	7-1, 7-7
車用充電ケーブル	7-1
充電ケーブル	7-1
仕様	A-5
シリアル充電ケーブル	7-1
シングル スロット USB/シリアル クレードル	7-3
シングル スロット USB クレードル	7-1
スタイラス	7-2
通信/充電ケーブル	
LED インジケータ	7-25
バッテリーの充電	7-25
壁面用マウント キット、クレードル	7-2
ヘッドセット	7-2, 7-23
ホルスタ	7-2
モデム インバータ ケーブル	7-2
モデム ケーブル	7-2
モデム ドングル	7-2
予備バッテリー	7-2
アシスト GPS	5-3

い

イーサネット クレードル	7-1, 7-3, 7-5
イメージャー	3-3
インジケータ	2-16
電波受信状況	2-16

う

上/下ボタン	2-21
ウェイクアップ条件	2-18
ウォーム ブート	2-17, 6-4

え

英数字キーパッド	B-8
キーの説明	B-9
エンタープライズPDAの起動	1-3, 1-7
エンドキー	B-2, B-5, B-9

お

オペレーティング システム	xii
オレンジ キー	B-2, B-5, B-9
音響エコー キャンセル	C-2
温度	A-2
充電	1-7, 7-4
温度通知	2-14
音量の調節	2-12

か

画像	2-7
カメラ	xii
カレンダー	2-7

き

技術仕様	A-1
アクセサリ	A-5
規則	
表記	xvi
機能ボタン	2-21
キーの説明	
DSD キーパッド	B-5
英数キーパッド	B-9
数字キーパッド	B-2
キーパッド	xii
DSD	B-4
QWERTY	B-8
キーの説明	B-2, B-5, B-9
種類	B-1
数字	B-1
電話	4-1
特殊文字キー	B-15
入力モード	B-4, B-7, B-11, B-12, B-13
緊急通話	2-21, 4-7

く

クリーニング	8-1
クレードル	
4 スロット イーサネット	7-1, 7-3, 7-5, 7-6
4 スロット 充電専用クレードル	7-6
4 スロット バッテリー充電器	7-11
車載用	7-1, 7-7
シングル スロット USB/シリアル	7-3
グローバル ポジショニング システム	5-1

け

結合	
Bluetooth	6-34
ケーブル	7-2, 7-24
DEX ケーブル	7-1
USB 充電	7-1, 7-2
車用充電ケーブル	7-1
充電専用	7-1
シリアル充電	7-1
接続	7-25
モデム	7-2
モデム インバータ	7-2
モデム ドングル	7-2

こ

構成	xii, 1-3
コマンド バー	
アイコン	2-6
コールド ブート	2-17, 6-4

さ

再開	6-4
サスペンド	2-21, 6-4
サービスに関する情報	xvii

し

磁気ストライプ リーダー	7-2, 7-13, 7-23
磁気ストライプ リーディング	7-13
取り付け	7-13
シムの取り付け	7-11
車載用クレードル	7-1, 7-7
充電インジケータ	7-10
車用充電ケーブル	7-1, 7-24
充電	2-16
4 スロット イーサネット クレードルの使用	7-5, 7-6
4 スロット バッテリー充電器の使用	7-12
車載用クレードルの使用	7-8
シングル スロット USB/シリアル クレードルの 使用	7-3
予備バッテリー	1-7, 7-4, 7-9, 7-12
シングル スロット USB/シリアル クレードルの使用	7-4
充電インジケータ	7-25
4 スロット イーサネット クレードル	7-6, 7-7
4 スロット バッテリー充電器	7-12
車載用クレードル	7-10
シングル スロット USB/シリアル クレードル	7-4
充電時の温度	1-7, 7-4
充電専用ケーブル	7-1
情報、サービスに関する	xvii
初期位置算出時間	5-3
シリアル充電ケーブル	7-1, 7-24
シングル スロット USB/シリアル クレードル	7-3
充電	7-3
クレードル	
シングル スロット USB/シリアル クレードル 充電	7-3
シングル スロット USB クレードル	7-1

す

数字キーパッド	B-1
キーの説明	B-2
入力モード	B-4, B-7
スキャン	

データ収集を参照	3-1
イメージング	3-3
ボタン	2-21
スキャン/読み取り	2-16
スキャン キー	B-2, B-5
スキャン ボタン	2-21
スクリーン	
調整	1-8
スクリーンの調整	1-8
スクリーン保護シート	8-2
スタイラス	1-2, 2-22, 7-2
スタイラスの使用	2-22
ステータス アイコン	2-2
スピーカ	2-12
バッテリー	2-3, 2-13
ストラップ	1-2
スピーカ アイコン	2-12
スピーカ モード	4-3
スマート ダイアル	4-9

せ

セキュリティ	
Bluetooth	6-2
設定	2-10
USB - PC	2-10
Wi-Fi	2-10
wireless manager	2-10
暗号化	2-11
エラー報告	2-11
オーナー情報	2-11
画面	2-12
キーライト	2-11
サウンドと通知	2-10
システム情報	2-12
証明書	2-11
接続	2-10
地域設定	2-11
電源	2-10
入力	2-11
バージョン情報	2-11
バックライト	2-11
ビーム	2-10
プログラムの削除	2-12
ボタン	2-11
メモリ	2-11
ユーザー フィードバック	2-11
ロック	2-10

そ

ソフト リセット	2-17, 6-4
----------------	-----------

た

タスク	2-8
タスクトレイアイコン	2-6
短縮ダイヤル	4-7, 4-11

ち

着信への応答	4-8
--------	-----

つ

通信/充電ケーブル	7-24
LEDインジケータ	7-25
バッテリーの充電	7-25
通話のミュート	4-10
通話履歴	4-10, 4-15

て

ディスプレイ	xii
適応型周波数ホッピング	6-1
データ収集	xii
一次元バーコード	3-1
イメージャー動作モード	
画像読み取りモード	3-3
ピックリストモード	3-3
読み取りモード	3-3
イメージング	3-3
スキャン	3-2, 3-3, 3-4
スキャン角度	3-2
スキャン距離	3-1
スキャンボタン	2-21
二次元バーコード	3-3
リニアスキャン	3-1
データ収集、イメージング、イメージャー	
サンプルを参照	
データの入力	2-22
デュアル回線SIM	4-26
電源ボタン	1-7, 2-17, 2-21, 2-22
電卓	2-8
電話	2-8
3者通話	4-21, 4-22
オン/オフの切り替え	4-2
会議通話	4-21, 4-22
キーパッド	4-1
キーパッドの使用	4-5
短縮ダイヤル	
エントリの削除	4-14
エントリの追加	4-11
エントリの編集	4-14
発信	4-7
着信への応答	4-8
通話の切り替え	4-18, 4-20

通話のミュート	4-10
通話履歴	4-15
テキストメッセージ	4-23
メモの作成	4-10
連絡先	4-6
電話会議	4-21, 4-22

と

動作環境	A-1
トークキー	B-2, B-5, B-9
特殊文字キー	B-15
時計とアラーム	2-10
トラブルシューティング	8-5

な

中黒	xvi
ナビゲーションバー	
アイコン	2-2

は

バーコード	
一次元	3-1
二次元	3-3
パスワード	2-19
ヒント	2-20
バックアップバッテリー	
充電	1-6
パッケージの開梱	1-2
バッテリー	
充電	1-6, 7-3, 7-5, 7-6, 7-8, 7-12
状態の確認	1-8
取り付け	1-5
取り外し	1-10
バッテリーアイコン	2-3, 2-13
バッテリー確保オプション	2-13
バッテリー充電器	
4スロット	7-11
充電	7-12
充電インジケータ	7-12
通信/充電ケーブル	7-25
LEDインジケータ	7-25
バッテリーの充電	1-6
4スロットイーサネットクレードルの	
使用	7-5, 7-6
4スロットバッテリー充電器の使用	7-12
車載用クレードルの使用	7-8
シングルスロットUSB/シリアルクレードルの	
使用	7-3
通信/充電ケーブル	7-25
バッテリーの取り付け	1-5
ハードリセット	2-17, 6-4

ハンドストラップ	
調整	1-9
ハンドストラップの調整	1-9
ハンドセット	C-2
ハンドセット モード	4-3

ひ

ビデオ	2-7
表記規則	xvi

ふ

ファイル エクスプローラ	2-8
ブート	
ウォーム	2-17, 6-4
コールド	2-17, 6-4
フラッシュ カード	7-23
ブルー キー	B-2, B-5, B-9

へ

壁面用マウント キット、クレードル	7-2
ヘッドセット	4-3, 4-4, 7-2, 7-23
ヘッドセット モード	4-3

ほ

ボタン	
アクション	2-21
上/下	2-21
機能	2-21
スキャン	2-21
電源	1-7, 2-17, 2-21, 2-22
ホルスタ	7-2
ホルスタ (ソフト タイプ)	7-2
ホルスタ (ハード タイプ)	7-2

む

無線	xii
無線ステータス	2-6

め

メイン バッテリ	
充電	1-3, 1-6
取り付け	1-3
メイン バッテリの取り外し	1-10
メッセージング	2-7
メモ	2-8
メモ アプリケーション	4-10
メモリ	xii
メモリ カード	1-8
メンテナンス	8-1

も

モデム インバータ ケーブル	7-2
モデム ケーブル	7-2, 7-24

ゆ

有線ヘッドセット	4-3
有線ヘッドセットの使用	4-3

よ

予備バッテリー	7-2
充電	1-7, 7-4, 7-9, 7-12
予備バッテリー充電器	
接続	7-12

り

リセット	2-17
ソフト	2-17, 6-4
ハード	2-17, 6-4
リチウム イオン バッテリ	1-2

れ

レーザ スキャン	
データ収集を参照	3-1
連絡先	2-7
連絡先アプリケーション	4-6



モトローラ・ソリューションズ株式会社 <http://www.motorolasolutions.com/JP>
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目8番7号 アーク八木ヒルズ
TEL. (03)6365-7000 FAX. (03)3582-5673

MOTOROLA、Stylized Mロゴ、Symbol、Symbol ロゴは、米国 特許商標局に登録されています。
その他のすべての商品名とサービス名は、該当する各所有者が権利を有しています。
© Motorola, Inc. 2010